元総社蒼海遺跡群（39）

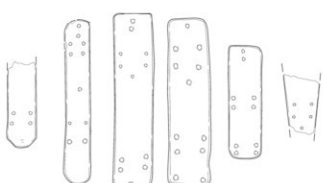
前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

２０１３．３

前橋市教育委員会

元総社蒼海遺跡群（39）

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書



２０１３.３

前橋市教育委員会

元総社蒼海遺跡群（39）遠景（上が南：上野国府推定域・蒼海城本丸方面）

H－９号住居跡小札出土状態（西から）

H－85 号住居跡貯蔵穴遺物出土状態（北から）

はじめに

前橋市は、関東平野の北西部に位置し、名山赤城山を背に利根川や広瀬川が市街地を貫流する、四季折々の風情に溢れる県都です。市域は豊かな自然環境に恵まれ、２万年前から人々が生活を始めました。そのため市内のいたる所に、人々の息吹を感ぜられる遺跡や史跡、多くの歴史遺産が存在します。

古代において前橋台地には、広大に分布する穀倉地帯を控え、前橋天神山古墳などの初期古墳をはじめ、王山古墳・天川二子山古墳といった首長墓が連綿と築かれ、上毛野国の中心地として栄えました。また、続く律令時代になってからは総社・元総社地区に山王廃寺、国分僧寺、国分尼寺、国府など上野国の中枢をなす施設が次々に造られました。

中世になると、戦国武将の長尾氏、上杉氏、武田氏、北条氏が鎬をけずった地として知られ、近世においては、譜代大名の酒井氏、松平氏が居城した関東三名城の一つに数えられる厩橋城が築かれました。

やがて近代になると、生糸の一大生産地であり、横浜港から前橋シルクの名前で遠く海外に輸出され日本の発展の一翼を担いました。

今回、報告書を上梓する元総社蒼海遺跡群（39）は古代上野国の中枢地域の調査であります。上野国府推定地域に隣接することから、調査成果に多くの注目を集めております。今回の調査では、国府そのものに関連する遺構の検出はかないませんでしたが、古墳～平安時代の竪穴住居跡が密集した状態で検出されました。住居跡からはたいへん貴重な鎧に使用された小札をはじめとする鉄器・鉄製品や石製品など特殊な遺物が多数検出されました。

今は一本の糸に過ぎない調査成果も織り上げて行けば、国府や国府のまちの姿を再現できるものと考えております。

残念ながら、現状のままでの保存が無理なため、記録保存という形になりましたが、今後、地域の歴史・前橋の歴史を解明する上で、貴重な資料を得ることができました。

最後になりましたが、この調査事業を円滑に進められたのは、関係機関や各方面のご配慮の結果といえます。また、寒風の中、直接調査に携わってくださった担当者・作業員のみなさんに厚くお礼申しあげます。

本報告書が斯学の発展に少しでも寄与できれば幸いに存じます。

平成 25 年３月

前橋市教育委員会

教育長　佐　藤　博　之

例　言

1．本報告書は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う元総社蒼海遺跡群（39）発掘調査報告書である。

2．調査主体は、前橋市教育委員会である。

3．発掘調査の要項は次のとおりである。

調　査　場　所	群馬県前橋市総社町総社 3097、3098
遺　跡　コ　ー　ド	23 A 130-39
発　掘　調　査　期　間	平成 24 年 3 月 10 日～平成 24 年 6 月 25 日
整理・報告書作成期間	平成 24 年 10 月 22 日～平成 25 年 3 月 22 日
発　掘　・　整　理　担　当　者	伊藤順一（有限会社毛野考古学研究所）

4．本遺跡に関わる遺構測量に関しては、小出拓磨（有限会社毛野考古学研究所）が担当した。

5．本書の編集は伊藤（有限会社毛野考古学研究所）が行った。原稿執筆はⅠを福田貴之（前橋市教育委員会）、他を伊藤が担当した。遺物写真撮影については長井正欣（有限会社毛野考古学研究所）、遺物実測については土器・石製品を日沖剛史（有限会社毛野考古学研究所）、鉄製品については伊藤が主に担当した。

6．出土した金属製品については津野仁氏（財団法人とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センター）にご教示を賜った。

7．現地調査については笹澤泰史氏（財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団）にご教示を賜った。

8．金属製品の保存処理については（有）武蔵野文化財修復研究所に委託して行った。

9．発掘調査・整理作業に関わった方々は次のとおりである。

【発掘調査】　大島郁美・小見得一・狩野友好・亀田浩子・北野進二・小関泰洋・斉藤清一・佐藤関雄
志村久子・下條真美代・鈴木浩・高橋道敏・竹生正明・永井述史・庭山晴正・橋元裕児・半澤利江
吉都孝一・森山孝男

【整理作業】　池内麻美・石岡雅晴・石原理久子・大塚規子・小野澤絹子・亀田浩子・合田幸子・瀬尾則子
菅谷万須美・武士久美子・竹中美保子・永井祐二・日沖剛史・深谷道子・真下弘美・山口昌子・山下奈邦子
山本千春・和久拓照

10．発掘調査で出土した遺物及び、図面等の資料は、前橋市教育委員会文化財保護課で保管されている。

11．以下の諸氏・機関に有益な御指導・御協力を賜った。記して感謝の意を表したい。（順不同、敬称略）
恋河内昭彦・小林朋恵・坂口　一・櫻井和哉・笹澤泰史・津野　仁・三浦京子・水谷貴之・元総社町自治会
山下工業株式会社・J・T空撮

凡　例

1．遺構図の縮尺は、平面図及び土層断面図を 1/60 縮尺で表現することを基本として掲載し、挿図中にはスケールを付してある。また、図中の北方位は座標北であり、座標値は日本測地系に基づいている。

2．遺物実測図の縮尺は、1/1 ～ 1/6 縮尺の範囲で掲載し、図中にスケールを付してある。遺物写真は遺物実測図とほぼ同縮尺である。

3．遺物実測図に使用しているトーンは図中に意味を示してある。

4．遺構及び遺構施設の略称は、次のとおりである。
H：住居跡　W：溝跡　D：土坑　P：ピット　I：井戸

5．遺構及び土器の色調観察は『新版　標準土色帖』（農林水産技術会議事務局　財団法人日本色彩研究所監修 2006）に従っている。

目　次

口絵写真

はじめに

例言・凡例

目次・図版目次・表目次・写真図版目次

Ⅰ　調査に至る経緯…… 1

Ⅱ　調査方針と経過…… 3

　1　調査方針…… 3

　2　調査経過…… 4

Ⅲ　標準堆積土層…… 4

Ⅳ　遺構と遺物 …… 5

　1　遺跡の概要…… 5

Ⅴ　まとめ…… 60

　1　H－9号住居跡出土小札について…… 60

写真図版

抄録

奥付

図版目次

Fig. 1　調査区域図……1
Fig. 2　遺跡の位置……2
Fig. 3　元総社蒼海遺跡群位置図……3
Fig. 4　標準堆積土層……4
Fig. 5　全体図……7
Fig. 6　古墳時代遺構全体図……8
Fig. 7　平安時代遺構全体図……9
Fig. 8　Ａｓ－Ｂ降下以降(1108年以降)遺構全体図 …10
Fig. 9　遺構実測図（１）……11
Fig. 10　遺構実測図（２）……12
Fig. 11　遺構実測図（３）……13
Fig. 12　遺構実測図（４）……14
Fig. 13　遺構実測図（５）……15
Fig. 14　遺構実測図（６）……16
Fig. 15　遺構実測図（７）……17
Fig. 16　遺構実測図（８）……18
Fig. 17　遺構実測図（９）……19
Fig. 18　遺構実測図（10）……20
Fig. 19　遺物実測図（１）……24
Fig. 20　遺物実測図（２）……25
Fig. 21　遺物実測図（３）……26
Fig. 22　遺物実測図（４）……27
Fig. 23　遺物実測図（５）……28
Fig. 24　遺物実測図（６）……29
Fig. 25　遺物実測図（７）……30
Fig. 26　遺物実測図（８）……31
Fig. 27　遺物実測図（９）……32
Fig. 28　遺物実測図（10）……33
Fig. 29　遺物実測図（11）……34
Fig. 30　遺物実測図（12）……35
Fig. 31　遺物実測図（13）……36
Fig. 32　遺物実測図（14）……37
Fig. 33　遺物実測図（15）……38
Fig. 34　遺物実測図（16）……39
Fig. 35　遺物実測図（17）……40
Fig. 36　遺物実測図（18）……41
Fig. 37　遺物実測図（19）……42
Fig. 38　遺物実測図（20）……43
Fig. 39　遺物実測図（21）……44
Fig. 40　遺物実測図（22）……45
Fig. 41　小札部位名称……61
Fig. 42　小札分類表……61

表目次

Tab. 1　遺構一覧表（１）……20
Tab. 2　遺構一覧表（２）……21
Tab. 3　遺構一覧表（３）……22
Tab. 4　遺構一覧表（４）……23
Tab. 5　出土遺物観察表（１）……46
Tab. 6　出土遺物観察表（２）……47
Tab. 7　出土遺物観察表（３）……48
Tab. 8　出土遺物観察表（４）……49
Tab. 9　出土遺物観察表（５）……50
Tab. 10　出土遺物観察表（６）……51
Tab. 11　出土遺物観察表（７）……52
Tab. 12　出土遺物観察表（８）……53
Tab. 13　出土遺物観察表（９）……54
Tab. 14　出土遺物観察表（10）……55
Tab. 15　出土遺物観察表（11）……56
Tab. 16　出土遺物観察表（12）……57
Tab. 17　出土遺物観察表（13）……58
Tab. 18　出土遺物観察表（14）……59
Tab. 19　出土遺物観察表（15）……60

写真図版目次

ＰＬ.1
調査区全景
Ｈ－４号住居跡全景
Ｈ－４号住居跡カマド全景
Ｈ－５号住居跡全景
Ｈ－６号住居跡全景
ＰＬ.2
Ｈ－６号住居跡遺物出土状態
Ｈ－９号住居跡全景
Ｈ-14号住居跡全景
Ｈ-14号住居跡Ｐ１全景
Ｈ-14号住居跡Ｐ２全景
Ｈ-15号住居跡全景
Ｈ-19号住居跡全景
Ｈ-19号住居跡遺物出土状態
ＰＬ.3
Ｈ-21号住居跡全景
Ｈ-27号住居跡全景
Ｈ-27号住居跡カマド全景
Ｈ-28号住居跡全景
Ｈ-28号住居跡カマド全景
Ｈ-30号住居跡全景
Ｈ-31号住居跡カマド全景
Ｈ-36号住居跡全景
ＰＬ.4
Ｈ-36号住居跡遺物出土状態
Ｈ-39号住居跡全景
Ｈ-44号住居跡全景
Ｈ-44号住居跡遺物出土状態
Ｈ-52号住居跡全景
Ｈ-52号住居跡カマド全景
Ｈ-54号住居跡全景
Ｈ-54号住居跡カマド全景
ＰＬ．5
Ｈ-54号住居跡遺物出土状態
Ｈ-61号住居跡全景
Ｈ-61号住居跡遺物出土状態
Ｈ-78号住居跡全景
Ｈ-78号住居跡カマド全景
Ｈ-80号住居跡全景
Ｈ-80号住居跡遺物出土状態
Ｈ-82号住居跡全景
ＰＬ.6
Ｈ-82号住居跡カマド全景
Ｈ-85号住居跡全景
Ｈ-85号住居跡遺物出土状態
Ｈ-91号住居跡全景
Ｈ-91号住居跡カマド全景
Ｈ-92号住居跡全景
Ｈ-98号住居跡全景
Ｈ-98号住居跡カマド全景
ＰＬ.7
Ｈ-100号住居跡全景
Ｈ-100号住居跡遺物出土状態
Ｄ-35号土坑全景
Ｄ-42号土坑全景
Ｄ-49号土坑全景
Ｉ－１号井戸断ち割り状態
Ｗ－５・６号溝全景
Ｗ－５・６号溝馬骨検出状態
ＰＬ.8
出土遺物（１）
ＰＬ.9
出土遺物（２）
ＰＬ.10
出土遺物（３）
ＰＬ.11
出土遺物（４）
ＰＬ.12
出土遺物（５）
ＰＬ.13
出土遺物（６）
ＰＬ.14
出土遺物（７）
ＰＬ.15
出土遺物（８）
ＰＬ.16
出土遺物（９）
ＰＬ.17
出土遺物（10）
ＰＬ.18
出土遺物（11）
ＰＬ.19
出土遺物（12）
ＰＬ.20
出土遺物（13）
ＰＬ.21
出土遺物（14）

Ⅰ　調査に至る経緯

本発掘調査は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴い実施され、13年目にあたる。本調査地は、周辺で埋蔵文化財調査が長年にわたって行われていることから、遺跡地であることが確認されている。

平成23年12月19日付けで前橋市長 高木政夫（区画整理第二課）より前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査業務依頼が前橋市教育委員会に提出された。教育委員会では既に直営による発掘調査を実施しており、直営による調査の実施が困難であるため、民間調査組織に業務を委託するよう前橋市に回答をした。民間調査組織の導入については、依頼者である前橋市の合意も得られ、市教委の作成する調査仕様書に基づく監理・指導の下に発掘調査を実施することになり、平成24年2月16日付けで前橋市と民間調査組織である有限会社毛野考古学研究所との間で発掘調査業務契約を締結し調査を開始した。平成24年8月17日付けで前橋市長　山本　龍（区画整理第二課）より埋蔵文化財整理業務依頼が提出されたが、直営での整理業務は困難であるため、民間調査組織に業務を委託するよう回答し、平成24年10月22日付けで前橋市と民間調査組織である有限会社毛野考古学研究所との間で埋蔵文化財整理業務委託契約書を締結し、整理業務が開始された。

なお、遺跡名称「元総社蒼海遺跡群(39)」（遺跡コード：23A130-39）の「元総社蒼海」は区画整理事業名を採用し、数字の「(39)」は過年度に実施した調査と区別するために付したものである。

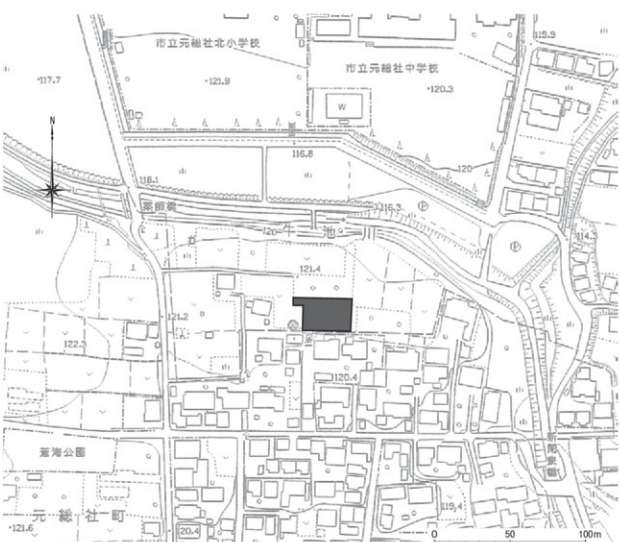


Fig. 1　調査区域図（前橋市役所発行『前橋市現形図52-1・52-3』1/2,500）

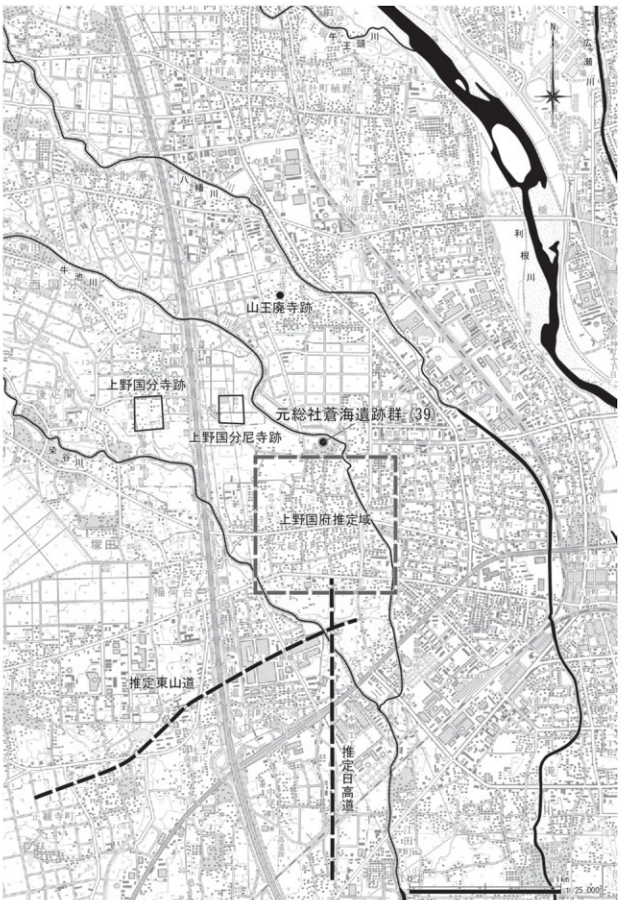


Fig. 2　遺跡の位置（国土地理院発行『前橋』1/25,000）

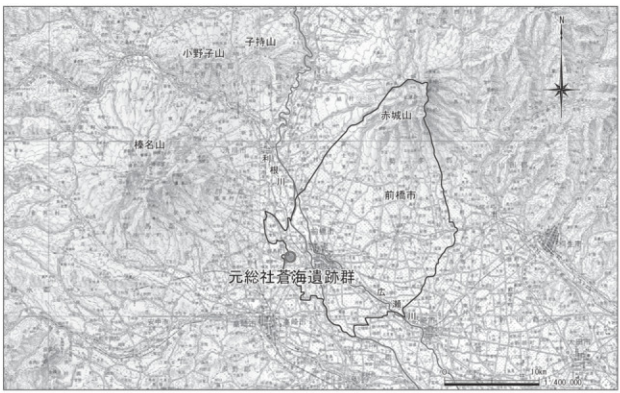


Fig. 3　元総社蒼海遺跡群位置図（国土地理院発行『宇都宮』・『長野』1/200,000 を 50%縮小）

Ⅱ　調査方針と経過

1　調査方針

委託調査箇所は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う道路用地で、調査面積は 793 ㎡である。調査区に被せる方眼は 2000 年に行われた上野国分尼寺寺域確認調査から用いられている 4 m ごとの方眼（日本測地系）を基準とし、近隣調査との整合性を取りやすくした。グリッドは北西杭の名称を使用し、西から東へX：204、X：205、X 206･･･、北から南へY：105、Y 106、Y 107･･･、と設定した。本遺跡 39 地点のX：210、Y：110 の公共座標は以下のとおりである。

・元総社蒼海遺跡群（39）　**測点**　X：210　　Y：110

日本測地系：X =43560.000　Y =-71360.000　　世界測地系：X =43914.903　Y =-71651.761

調査方法は、基本的に表土除去→遺構確認→遺構検出→遺構完掘の順に行い、測量及び写真撮影による記録保存は、調査の進捗に合わせて随時行っている。表土除去は 0.45 バックホーを用いて遺構確認面であるＡｓ－Ｃ軽石が混入する黒褐色土層（Ⅳ層上面）まで掘り下げることとした。遺構確認は重複が著しいことから、調査区を 4 m ごとの方眼に区画し、遺構プランが把握されるまでジョレンを使用して掘り下げることとした。また、その際には方眼の区画ラインを土層観察用のベルトとした。遺構が確認された段階で遺構プランに応じたベルトを設定し、基本的に移植ゴテを使用して遺構の掘削を行ったが、規模の大きな溝に限り底面・壁面を除きジョレンを使用した。遺構掘削の際にはベルトないし半截により遺構の埋没状態を観察し、出土遺物は可能な限りトータルステーションで出土位置及び標高を記録した後に取り上げを行った。

検出された遺構は、平面・断面測量及び写真撮影にて記録保存を行った。遺構図面は平面・断面図とも 1/20 縮尺を基本として作成し、平面図をトータルステーション、断面図を手実測で測量している。遺構写真は 35㎜ 白黒・35㎜ カラーリバーサルフィルムを使用して撮影し、補助として 1000 万画素相当のデジタルカメラも利用した。また、完掘後はラジコンヘリコプターによる空撮を行っている。

2　調査経過

現地での発掘調査は平成24年3月10日から平成24年6月25日まで、整理業務は平成24年10月22日～平成25年3月22日まで行った。調査経過は以下のとおりである。

【発掘調査】

平成24年3月10日：プレハブ・簡易トイレ・発掘器材の搬入。**3月12日**：重機による表土除去開始。**3月13日**：基準杭・ベンチマークの移設。**3月14日**：発掘補助員動員。遺構確認作業を開始する。**4月26日**：笹澤泰史氏（財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団）来跡。Ｈ－14号住居跡についてご教示いただく。**5月2日**：連休に備え安全対策を講じる。**5月7日**：連休中の降雨により調査区壁の崩落が認められたため復旧作業及び安全対策を講じる。**6月15日**：遺構掘削が概ね終了する。一部発掘機材の撤収を開始する。**6月18日**：ラジコンヘリコプターによる空撮を行う。**6月19日**：遺構平面・断面測量を行う。**6月20日**：プレハブ内の機材撤収を行う。**6月21日**：プレハブ・仮設トイレの撤去を行う。**6月23日**：調査区の埋め戻しを開始する。**6月25日**：調査区の埋め戻しを終了し、現地での発掘調査を終了する。

【報告書作成】

平成24年10月22日：出土遺物の洗浄・注記を開始。**10月24日**：図面修正・写真図版作成。**11月12日**：洗浄・注記の済んだ遺物から、分類及び接合作業を開始。**12月3日**：遺構原稿執筆及び遺物実測開始。**12月7日**：出土した鉄製品について津野仁氏（財団法人とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センター）にご教示いただく。**平成25年1月8日**：遺物・遺構トレース開始。**2月12日**：版組みを開始する。**2月26日**：入稿・校正。**3月18日**：印刷・製本。**3月22日**：報告書発行。

Ⅲ　標準堆積土層

本調査区は染谷川と牛池川に挟まれた台地上に立地している。周辺ではすでに発掘調査が行われており、標準堆積土層については層厚の差は見られるもののほとんど齟齬は見受けられない。今回の調査では総社砂層（第Ⅵ層）までを標準堆積土として捉えている。総社砂層は前橋泥炭層上位に認められる砂層で、近隣の調査から2.5m以上もの層厚が認められている。なお、総社砂層より下位にはＡｓ－Ｓｊ（浅間－総社軽石、11,000年前降下）、Ａｓ－ＹＰ（浅間－板鼻黄褐色軽石、13,000～14,000年前降下）が堆積していることが指摘されている。Ａｓ－Ｓｊについては前橋泥炭層中に含まれていることから、Ａｓ－Ｓｊ降下時（縄文時代早期）には本遺跡地周辺は湿地であった可能性が考えられている。本遺跡周辺が台地を形成し始めるのは洪水を起因とする総社砂層の度重なる堆積によることが指摘されており、台地上に集落が営まれ始めるのは周辺の調査成果から縄文時代前期後半と考えられている。

Ⅰ層はＡｓ－Ａ（浅間Ａ軽石、1783年降下）が大量に混入する現代の耕作土である。Ⅱ層はⅠ層と同様Ａｓ－Ａの混入が認められる旧耕作土と考えられる層位である。Ⅰ・Ⅱ層からはガラス瓶などが出土した。Ⅲ層はＡｓ－Ｂ（浅間Ｂ軽石、1108年降下）が大量に混入する暗灰色土である。Ⅳ層はＡｓ－Ｃ（浅間Ｃ軽石、３世紀後半降下）が多量に混入する黒褐色土である。Ⅴ層はにぶい黄褐色土でⅣ層とⅥ層の漸移層と考えられる。Ⅵ層は総社砂層でⅥ層より下位では遺構・遺物の検出は認められない。今回の調査ではⅣ層上面で遺構の確認を行った。なお、各層位で認められたテフラについては一次堆積層は確認することはできなかった。

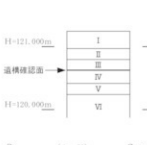


Fig. 4　標準堆積土層

【参考文献】

日沖剛史　2012　元総社蒼海遺跡群（37）　前橋市教育委員会

Ⅳ　遺構と遺物

1　遺跡の概要

今回の調査では竪穴住居跡93軒、土坑39基、井戸1基、溝10条、ピット54基が検出された。遺構の密集度が高く遺構プラン及び切り合い関係の把握に困難を要するものが多かった。各遺構の計測値については Tab. 1 遺構一覧表（1）～ Tab. 4 遺構一覧表（4）に示してある。

竪穴住居跡

古墳時代前期：H-61号住居跡が検出された。埋没土や出土した炭化材の状況から焼失住居跡と想定される。炉跡は北壁寄りに検出された。主柱穴はP1・3と考えられ、P2・4は上屋を支えるための束柱的な役割を果たしていたものと推測される。遺物は床面において特殊器台が1点出土したほか、S字口縁台付甕の破片が少量出土した。本調査区において当該期の遺構は本遺構のみであった。

古墳時代後期：総軒数の6割ほどが本時期に帰属する。竈の付設箇所は、東・西・北の3箇所が認められた。東壁にカマドが付設される住居跡は主軸方位が北から約60°傾くものが多い傾向にある。H-36号住居跡では良好な一括資料が得られている。H36住-8はカマド構築材内より正位で出土した。カマドの芯材に用いられていたものと推測される。また、図示し得なかったが馬歯が1点出土しているほか、住居跡西壁中央付近では薄網石と考えられる多量の礫が集中して出土した。出土した遺物は多くが床面のレベルより高い位置で出土していることから住居廃絶後に投棄されたものと想定される。H-78号住居跡はH-74・95・97号住居跡と重複しており、切り合い関係から本遺構が最も新しい。カマドの遺存状態が良好であった。構築材には黄橙色粘質土を用いており、右袖の芯材には凝灰岩を、左袖には土師器甕を逆位で用いていた。また、焚口部には右袖に用いていたものと同様の凝灰岩を使用していた。H-80号住居跡のカマドは黄橙色粘質土のみで構築されていた。右袖において安山岩が1点出土しているため、焚口部には礫を用いていた可能性も考慮される。遺物は南壁に沿った状態で出土しており、住居廃絶後の埋没過程で棚状の施設から落下したことが想定される。また、床下の掘り方覆土中より耳環が1点出土している。H-82号住居跡は遺構・遺物の遺存状態が良好であった。特にカマドおよびその周辺の遺物出土状態は廃絶直後の状況を良好に示していた。カマドは東壁やや南寄りに付設されており焚口部の右袖には安山岩、左袖及び天井部には凝灰岩を用いていた。カマド袖は黄褐色粘質土を用いて構築されていた。カマド内からは灰や焼土が詰まった小型甕（H82住-4）が出土しており、内部からは焼けた骨片も検出された。カマド右側には壁・カマドに寄り掛かった状態で土師器甕（H82住-5・6）が出土した。貯蔵穴は南東コーナー部で検出されたが遺物の出土は認められなかった。

平安時代：当該期の住居跡において特筆すべき点は鉄製品、中でも武具の出土が多く認められたことである。H-4号住居跡は埋没土や出土した炭化材の状態から焼失住居跡と考えられる。カマドは東壁南寄りに付設されていたと想定される。左袖の芯材には河原石、右袖には瓦を用いていた。カマド内からは紡茎（H4住-14）や鉄製骸脚（H14-15・16）を始めとする鉄製品や土器が多量に出土した。支脚には須恵器坏（H4住-3）が被せられており、二次被熱が認められないことからカマド廃絶後に被せられたことが想定される。その他カマド内からは文字や記号が記された瓦（H4住9～11）も出土している。H4住-9・11には刻書でそれぞれ文字・記号が、H4住-10には指撫でで記号のようなものが記されていた。H-9号住居跡では小札が多量に出土した。出土した小札には鍛造剥片が付着しているものも認められた。土器類などの遺物はカマド内から少量出土したのみであった。南西コーナー部ではピットが1基検出されており、その南側には扁平な河原石（H9住-4）が出土している。H-14号住居跡では鉄製品製作に関連していたと想定される施設が2箇所（P1・P2）検出された。両ピットとも周辺に鉄のような物質が融解し床面に癒着している状態で検出されており、当初は小鍛冶跡と

想定していた。これについて現地でメタルチェッカーを用いて反応を確かめたところ、鉄としての反応が全く見られなかった。このため、小鍛冶以外の作業場であった可能性が指摘されている。本遺構からは鉄鏃や釘をはじめとする多数の鉄製品が出土しており、H－９号住居跡と同様、鉄製品製作に関わる施設であった可能性が想定される。H－28号住居跡は本調査区内においては当該期の住居跡としては最も大型の住居跡であった。埋没土中に焼土が多量に含まれていることと、炭化材が多量に出土していることから焼失住居跡と考えられる。カマドは東壁南寄りに付設されていた。カマド焚口部には両袖に安山岩を芯材として用いていた。また、燃焼部から煙道部へと至る箇所についても両脇に凝灰岩を据えて、さらにその上に凝灰岩を懸架して構築していた。焚口部左側の住居壁はスサ入りの焼土で補強されており、このような形態を示すものは本調査区ではH－28号住居跡のみであった。H－52号住居跡はカマドの芯材に瓦（H 52 住－４～６）を多用していた。燃焼部のほぼ中央には支脚が検出されており、須恵器塊が被せられた状態で出土した。これについてもH－４号住居跡と同様、二次被熱が認められないことからカマド廃絶後に被せられたことが想定される。H－54号住居跡はカマド内において大量の遺物が出土した。カマドは東壁南寄りに付設されており芯材には河原石・凝灰岩を用いていた。検出時には構築材に使用していたであろう粘質土は確認されなかった。支脚は燃焼部ほぼ中央で検出された。カマド内の土器は坏や塊などが重ねられた状態で出土するものや、支脚に据えられていたと想定される状態の羽釜（H 54 住－15）など廃絶時の状況を良好に示す出土状態が認められる。図示し得なかったがH－91号住居跡についても本遺構に近い状態でカマドが検出されている。

土坑

土坑は39基検出された。D－１～４・９・20～24・30・33号土坑は埋没土にＡｓ－Ｂを含むことからＡｓ－Ｂ降下以降（1108年以降）と考えられる。埋没土にＡｓ－Ｂを含まないＡｓ－Ｂ降下以前の土坑については遺物の出土量が少なく時期を特定するのが困難なものが多い。D－15号土坑からは刀装金具が出土した。H－９号住居跡と重複し切り合い関係から本遺構が古い。D－35・42号土坑は人骨の出土が認められたことから墓壙と考えられる。人骨の出土状態及び土坑の規模・平面形態から埋葬形態は伸展葬であった可能性が想定される。帰属時期は出土遺物から10世紀代と考えられる。D－37号土坑からは７世紀代の土師器坏とともに鎧金具が出土した。D－49号土坑では覆土上層において10世紀代の土器が一括出土した。坏３点が正位に重ねられた状態で出土したほか、塊を中心として３点の坏と１点の碗を周囲に配した状態で検出された。

井戸

１基の井戸を検出した。平面形態は円形、断面形態は漏斗状を呈する。掘削深度が相当深いことが予想されたため、1.8ｍほどを人力掘削し残りについては重機による裁ち割り調査を行った。確認面から4.5ｍほど掘削したが底面の検出には至らず、これ以上の掘削は危険と判断し調査を断念した。このため開削時期については不明であるが、最終的に埋没したのは埋没土上層にＡｓ－Ｂを含む土が堆積していたことからＡｓ－Ｂ降下以降と考えられる。

溝

10条の溝が検出された。W－10号溝以外の覆土にはＡｓ－Ｂが含まれていた。埋没土にＡｓ－Ｂを含む溝については、走行方向が南北もしくは東西を向いている点、また埋没土の状態において流水の痕跡が認められない点などから区画を目的とした溝であった可能性が考えられる。なおW－５号溝からは２頭分の馬骨が出土した。馬骨は出土状態から埋葬された可能性が高いものと考えられる。

ピット

ピットは54基検出された。埋没土にＡｓ－Ｂを含むものが９割以上を占める。断面形態から柱穴を想定できるものも含まれており掘立柱建物跡が数棟ある可能性も考慮されるが、ここでは調査範囲も限られていることからピットとして報告するに止めたい。

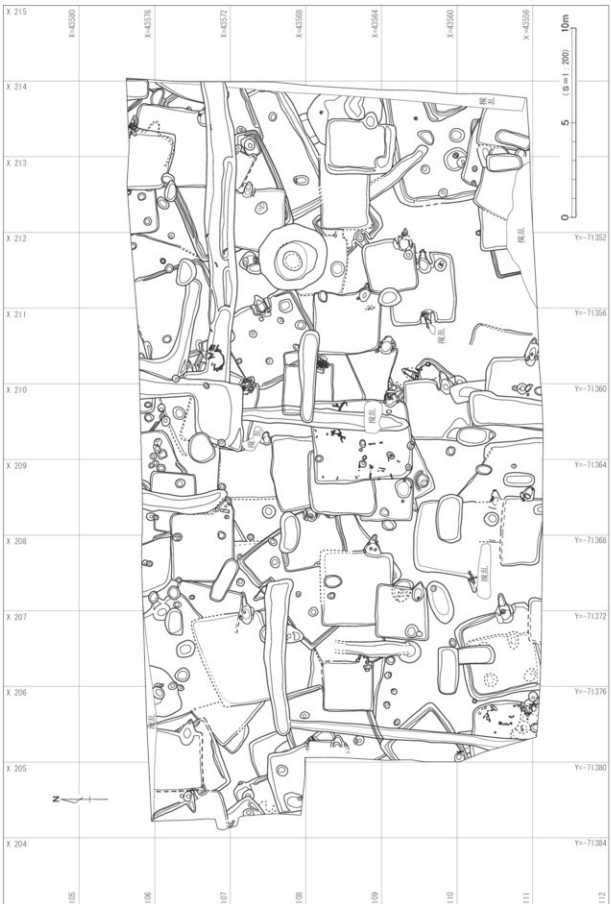
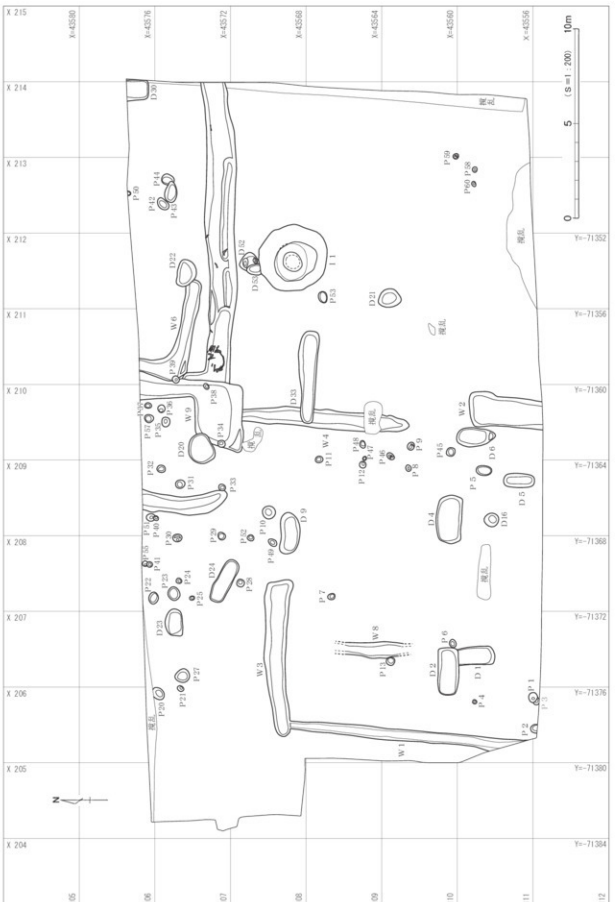
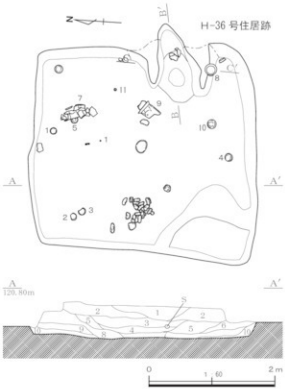

X 215
X 214
X 213
X 212
X 211
X 210
X 209
X 208
X 207
X 206
X 205
X 204
X=43380
X=43376
X=43372
X=43368
X=43364
X=43360
X=43356
Y=-71352
Y=-71356
Y=-71360
Y=-71364
Y=-71368
Y=-71372
Y=-71376
Y=-71380
Y=-71384
Y 105
Y 106
Y 107
Y 108
Y 109
Y 110
Y 111
Y 112
N
0
5
10m
(S=1:200)
掘込

Fig. 5　全体図

Fig. 6　古墳時代遺構全体図

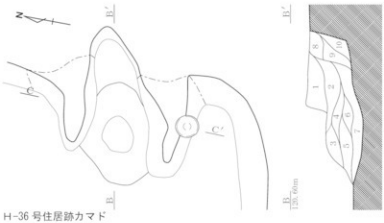
Fig. 7　平安時代遺構全体図


X 215
X 214
X 213
X 212
X 211
X 210
X 209
X 208
X 207
X 206
X 205
X 204
X=435580
X=435576
X=435572
X=435568
X=435564
X=435560
X=435556
Y=-71352
Y=-71356
Y=-71360
Y=-71364
Y=-71368
Y=-71372
Y=-71376
Y=-71380
Y=-71384
Y 105
Y 106
Y 107
Y 108
Y 109
Y 110
Y 111
Y 112
0
5
10m
(S=1：200)
N
W1
W2
W3
W4
W5
W6
W7
W8
W9
D1
D2
D3
D4
D5
D6
D7
D8
D9
D10
D11
D12
D13
D14
D15
D16
D17
D18
D19
D20
D21
D22
D23
D24
D25
D26
D27
D28
D29
D30
D31
D32
D33
D34
D35
D36
D37
D38
D39
D40
D41
D42
D43
D44
D45
D46
D47
D48
D49
D50
D51
I 1
P1
P2
P3
P4
P5
P6
P7
P8
P9
P10
P11
P12
P13
P14
P15
P16
P17
P18
P19
P20
P21
P22
P23
P24
P25
P26
P27
P28
P29
P30
P31
P32
P33
P34
P35
P36
P37
P38
P39
P40

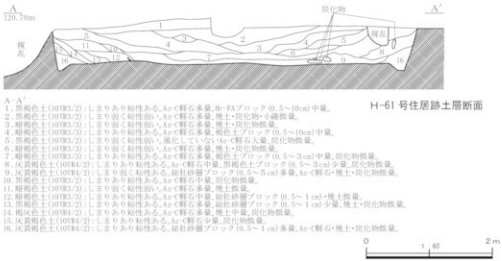


A-A′
1. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある、As-C軽石多量、総社砂層ブロック(0.5～3cm)少量。
2. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある、As-C軽石多量、焼土少量。
3. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある、As-C軽石中量、焼土・総社砂層ブロック(0.5～1cm)微量。
4. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある、As-C軽石中量、黒色土ブロック(0.5～1cm)・焼土微量。
5. 暗褐色土(10YR3/3):しまりあり粘性ある、As-C軽石・焼土・総社砂層ブロック(0.5～1cm)少量、小礫微量。
6. 黒褐色土(10YR3/2):しまり弱く粘性ある、As-C軽石少量。
7. 暗褐色土(10YR3/3):しまり弱く粘性ある、As-C軽石・焼土・炭化物・総社砂層ブロック(0.5～1cm)微量。
8. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある、As-C軽石多量、焼土・総社砂層ブロック(0.5～1cm)微量。
9. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある、As-C軽石中量、焼土微量。
10. 暗褐色土(10YR3/3):しまりあり粘性ある、総社砂層ブロック(0.5～1cm)多量、As-C軽石少量。

B-B′(カマド)
1. にぶい黄褐色土(10YR5/3):しまり強く粘性強い、焼土微量。
2. 灰黄褐色土(10YR4/2):しまり強く粘性強い、第1層多量、As-C軽石・焼土・黒色土ブロック(0.5～1cm)微量。
3. 灰黄褐色土(10YR4/2):しまりあり粘性ある、As-C軽石・第1層ブロック(0.5～1cm)多量、焼土・炭化物微量。
4. 灰黄褐色土(10YR4/2):しまりあり粘性ある、As-C軽石・焼土・第1層ブロック(0.5～1cm)微量。
5. 灰黄褐色土(10YR4/2):しまりあり粘性ある、焼土中量、As-C軽石・第1層ブロック(0.5～1cm)少量。
6. 灰黄褐色土(10YR4/2):しまり弱く粘性ある、灰多量、焼土・黒色土ブロック(0.5～1cm)少量、As-C軽石微量。
7. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある、焼土・As-C軽石微量。
8. 灰黄褐色土(10YR4/2):しまり強く粘性強い、第1層ブロック(0.5～3cm)・焼土多量、As-C軽石微量。
9. 灰黄褐色土(10YR4/2):しまりあり粘性強い、第1層多量、As-C軽石・焼土微量。
10. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある、焼土多量、第1層ブロック(0.5～3cm)中量、As-C軽石微量。

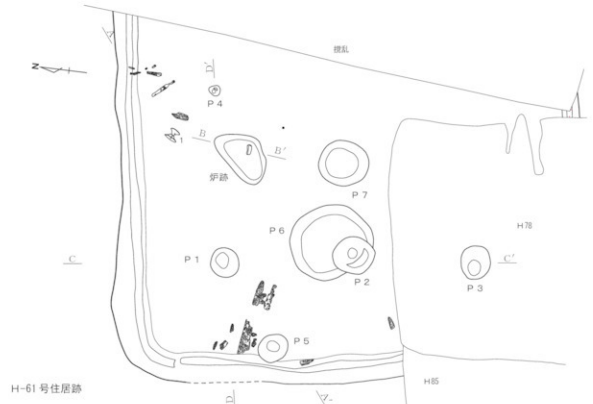


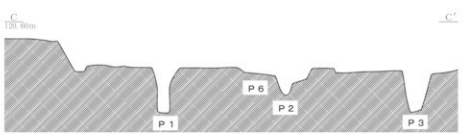
C-C′(カマド)
1. 褐色土(10YR4/4):しまり強く粘性強い、As-C軽石微量。
2. 褐色土(10YR4/4):しまり強く粘性強い、焼土中量、As-C軽石微量。
3. 黒褐色土(10YR3/2):しまり強く粘性ある、褐色土ブロック(0.5～3cm)中量、As-C軽石少量。
4. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある、As-C軽石多量、焼土・炭化物微量。



A-A′
1. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある、As-C軽石多量、Hr-FAブロック(0.5～10cm)中量。
2. 黒褐色土(10YR3/2):しまり弱く粘性強い、As-C軽石多量、焼土・炭化物・小礫微量。
3. 暗褐色土(10YR3/3):しまり弱く粘性強い、As-C軽石多量、焼土・炭化物微量。
4. 暗褐色土(10YR3/3):しまりあり粘性ある、As-C軽石多量、褐色土ブロック(0.5～10cm)中量。
5. 黒褐色土(10YR3/2):しまり弱く粘性強い、風化していない As-C軽石大量、炭化物微量。
6. 暗褐色土(10YR3/3):しまり弱く粘性強い、As-C軽石多量、焼土・炭化物微量。
7. 暗褐色土(10YR3/3):しまりあり粘性ある、As-C軽石多量、褐色土ブロック(0.5～3cm)中量、炭化物微量。
8. 灰黄褐色土(10YR4/2):しまりあり粘性ある、As-C軽石中量、黒褐色土ブロック(0.5～3cm)少量、炭化物微量。
9. 灰黄褐色土(10YR4/2):しまり弱く粘性ある、総社砂層ブロック(0.5～5cm)多量、As-C軽石・焼土・炭化物微量。
10. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある、As-C軽石中量、炭化物微量。
11. 暗褐色土(10YR3/3):しまり弱く粘性強い、As-C軽石多量、焼土微量。
12. 暗褐色土(10YR3/3):しまりあり粘性ある、As-C軽石中量、総社砂層ブロック(0.5～1cm)・焼土微量。
13. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある、As-C軽石多量、総社砂層ブロック(0.5～1cm)少量、焼土・炭化物微量。
14. 褐灰色土(10YR4/2):しまりあり粘性ある、As-C軽石多量、焼土中量、炭化物微量。
15. 灰黄褐色土(10YR4/2):しまりあり粘性ある、As-C軽石少量、炭化物微量。
16. 灰黄褐色土(10YR4/2):しまりあり粘性ある、総社砂層ブロック(0.5～1cm)多量、As-C軽石・焼土・炭化物微量。

Fig. 9　遺構実測図（1）





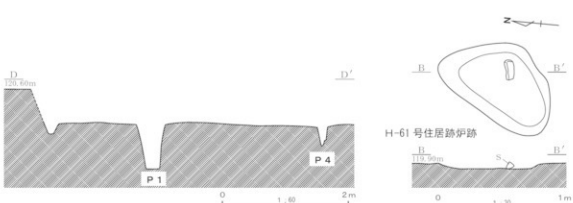
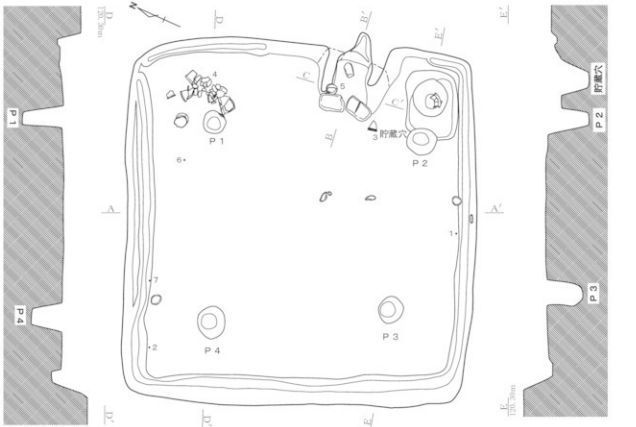
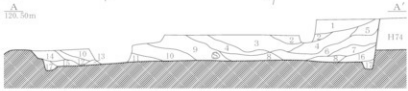


Fig.10　遺構実測図（2）



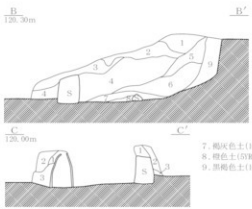
H-78 号住居跡



A-A′

1. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石多量、焼土微量。
2. 褐灰色土(10YR4/1):しまりあり粘性ある。As-C軽石・小礫微量。
3. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石中量、焼土・総社砂層ブロック(0.5～1 cm)微量。
4. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石・総社砂層ブロック(0.5～1 cm)少量。
5. 暗褐色土(10YR3/3):しまりあり粘性ある。As-C軽石多量、焼土少量、総社砂層ブロック(0.5～1 cm)微量。
6. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石中量、焼土少量、炭化物・総社砂層ブロック(0.5～1 cm)微量。
7. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石多量、焼土・小礫少量。
8. 暗褐色土(10YR3/3):しまりあり粘性ある。総社砂層ブロック(0.5～3 cm)中量、As-C軽石少量、焼土・炭化物微量。
9. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石少量、焼土・炭化物・総社砂層ブロック(0.5～3 cm)微量。
10. 暗褐色土(10YR3/3):しまりあり粘性強い。総社砂層ブロック(0.5～3 cm)多量、As-C軽石中量、焼土・炭化物微量。
11. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石・総社砂層ブロック(0.5～1 cm)微量。
12. 黒褐色土(10YR3/2):しまり弱く粘性ある。総社砂層ブロック(0.5～3 cm)中量、As-C軽石微量。
13. 灰白色土(10YR8/2):しまり強く粘性強い。粘質土ブロック。
14. 黒褐色土(10YR3/2):しまり弱く粘性ある。As-C軽石・総社砂層ブロック(0.5～3 cm)微量。
15. 暗褐色土(10YR3/1):しまり弱く粘性ある。総社砂層ブロック(0.5～5 cm)多量、As-C軽石微量。
16. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石多量、焼土・総社砂層ブロック(0.5～3 cm)微量。
17. 暗褐色土(10YR3/3):しまり弱く粘性ある。総社砂層多量。

H-78 号住居跡カマド



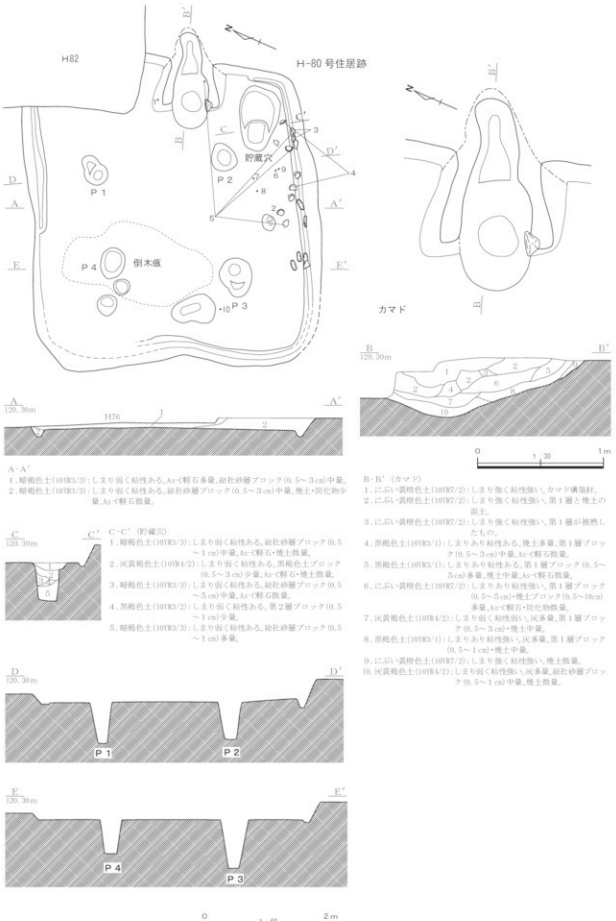
B-B′

1. にぶい黄橙色土(10YR7/2):しまりあり粘性強い。カマド構築材。焼土微量。
2. にぶい黄橙色土(10YR7/2):しまりあり粘性強い。カマド構築材と黒褐色土の混土。焼土微量。
3. にぶい黄橙色土(10YR7/2):第1層と同じ。
4. 灰黄褐色土(10YR6/2):しまりあり粘性強い。凝灰岩(0.5～5 cm)中量、焼土・炭化物微量。
5. 灰黄褐色土(10YR6/2):しまりあり粘性強い。焼土多量、炭化物微量。
6. 灰黄褐色土(10YR3/2):しまり弱く粘性強い。焼土多量、灰中量。
7. 褐灰色土(10YR5/1):しまり弱く粘性ある。灰層、焼土少量。
8. 橙色土(5YR6/6):しまりあり粘性弱い。焼土多量、灰少量。
9. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性弱い。焼土微量。

C-C′(カマド)

1. 明赤褐色土(5YR5/6):しまり強く粘性ある。被熱が著しい。
2. にぶい黄橙色土(10YR6/4):しまり強く粘性弱い。カマド構築材。
3. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある。焼土少量。

Fig. 11　遺構実測図（3）

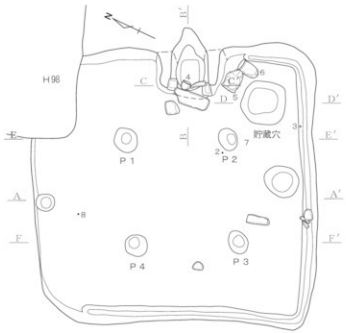


A–A′
1．暗褐色土(10YR3/3)：しまり弱く粘性ある，As-C軽石多量，総社砂層ブロック(0.5～3cm)中量。
2．暗褐色土(10YR3/3)：しまり弱く粘性ある，総社砂層ブロック(0.5～3cm)中量，地土・焼化物少量，As-C軽石散量。

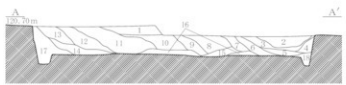
B–B′（カマド）
1．にぶい黄橙色土(10YR7/2)：しまり強く粘性強い，カマド構築材。
2．にぶい黄橙色土(10YR7/2)：しまり強く粘性強い，第1層と地土の混土。
3．にぶい黄橙色土(10YR7/2)：しまり強く粘性強い，第1層が被熱したもの。
4．黒褐色土(10YR3/1)：しまりあり粘性ある，地土多量，第1層ブロック(0.5～3cm)中量，As-C軽石散量。
5．黒褐色土(10YR3/1)：しまりあり粘性ある，第1層ブロック(0.5～5cm)多量，地土中量，As-C軽石散量。
6．にぶい黄橙色土(10YR7/2)：しまりあり粘性強い，第1層ブロック(0.5～5cm)・地土ブロック(0.5～10cm)多量，As-C軽石・焼化物散量。
7．灰黄褐色土(10YR4/2)：しまり弱く粘性弱い，灰多量，第1層ブロック(0.5～3cm)・地土中量。
8．黒褐色土(10YR3/1)：しまりあり粘性強い，灰多量，第1層ブロック(0.5～1cm)・地土中量。
9．にぶい黄橙色土(10YR7/2)：しまり強く粘性強い，地土散量。
10．灰黄褐色土(10YR4/2)：しまり弱く粘性強い，灰多量，総社砂層ブロック(0.5～1cm)中量，地土散量。

C–C′（貯蔵穴）
1．暗褐色土(10YR3/3)：しまり弱く粘性ある，総社砂層ブロック(0.5～1cm)中量，As-C軽石・地土散量。
2．灰黄褐色土(10YR4/2)：しまり弱く粘性ある，黒褐色土ブロック(0.5～3cm)少量，As-C軽石・地土散量。
3．暗褐色土(10YR3/3)：しまり弱く粘性ある，総社砂層ブロック(0.5～5cm)中量，As-C軽石散量。
4．黒褐色土(10YR3/2)：しまり弱く粘性ある，第2層ブロック(0.5～1cm)少量。
5．暗褐色土(10YR3/3)：しまり弱く粘性ある，総社砂層ブロック(0.5～1cm)多量。

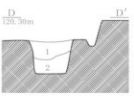
Fig.12　遺構実測図（4）



H-82 号住居跡

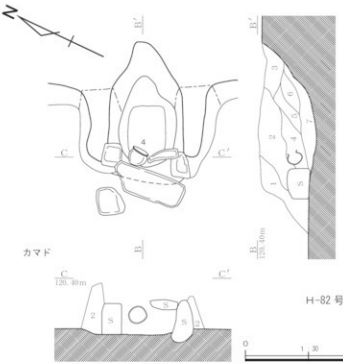


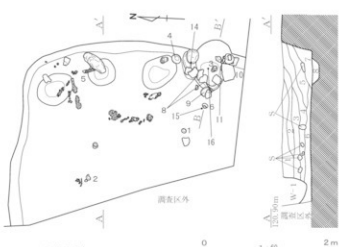
A-A′
1. 灰黄褐色土(10YR4/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石多量,細粒砂層ブロック(0.5～3cm)中量,焼土・炭化物微量。
2. 黒褐色土(10YR3/2):しまり弱く粘性ある。As-C軽石多量,細粒砂層ブロック(0.5～1cm)少量。
3. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石中量,炭化物微量。
4. 黒色土(10YR2/1):しまりあり粘性ある。As-C軽石少量,細粒砂層ブロック(0.5～1cm)微量。
5. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石中量,炭化物少量,細粒砂層ブロック(0.5～1cm)微量。
6. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石少量,黒色土ブロック(0.5～1cm)微量。
7. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石中量,黒色土ブロック(0.5～1cm)少量。
8. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石多量,黒色土ブロック(0.5～1cm)・細粒砂層ブロック(0.5～1cm)・小礫少量。
9. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石・黒色土ブロック(0.5～1cm)多量,細粒砂層ブロック(0.5～1cm)少量。
10. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石中量,黒色土ブロック(0.5～3cm)・細粒砂層ブロック(0.5～1cm)・焼土微量。
11. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石多量,細粒砂層ブロック(0.5～3cm)微量。
12. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石中量,黒色土ブロック(1～3cm)・褐色粘質土ブロック(0.5～3cm)・細粒砂層ブロック(0.5～1cm)少量。
13. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石・焼土・細粒砂層ブロック(0.5～1cm)・小礫少量。
14. 灰黄褐色土(10YR4/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石中量,黒色土ブロック(0.5～3cm)少量,細粒砂層ブロック(0.5～1cm)微量。
15. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある。細粒砂層ブロック(0.5～5cm)多量,As-C軽石中量,黒色土ブロック(0.5～3cm)少量。
16. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある。黒色土ブロック(0.5～5cm)多量,As-C軽石微量。
17. 灰黄褐色土(10YR4/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石少量,細粒砂層ブロック(0.5～3cm)・焼土微量。
18. 黒褐色土(10YR3/2):しまり弱く粘性ある。As-C軽石中量,細粒砂層ブロック(0.5～1cm)・焼土微量。



D-D′ (貯蔵穴)
1. 黒褐色土(10YR3/2):しまり弱く粘性ある。As-C軽石・細粒砂層ブロック(0.5～1cm)微量。
2. 黒褐色土(10YR3/2):しまり弱く粘性ある。細粒砂層ブロック(0.5～1cm)中量,As-C軽石微量。

Fig. 13　遺構実測図（5）





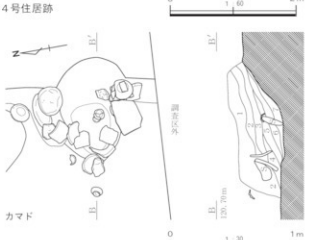
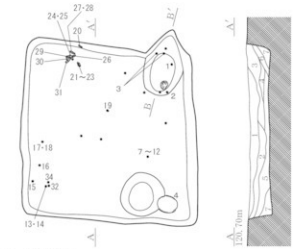


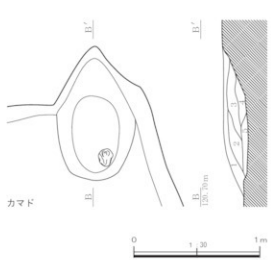
Fig.14　遺構実測図（6）



H－9号住居跡

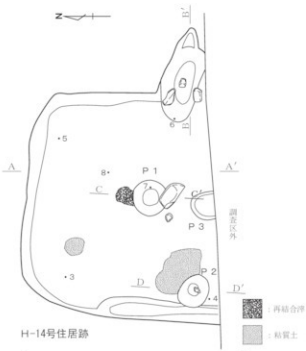
A－A'

1．黒褐色土(10YR3/2)：しまりあり，粘性弱い，As-C軽石中量，焼土・炭化物微量。
2．褐灰色土(10YR4/1)：しまりあり，粘性弱い，As-C軽石・細粒砂層ブロック(0.5～1cm)少量，炭化物微量。
3．黒褐色土(10YR3/2)：しまりあり，粘性弱い，As-C軽石多量，焼土微量。
4．黒褐色土(10YR3/2)：しまりあり，粘性ある，As-C軽石少量，細粒砂層ブロック(0.5～1cm)微量。
5．褐灰色土(10YR4/1)：しまりあり，粘性ある，細粒砂層ブロック(0.5～1cm)・焼土・炭化物微量。
6．黒褐色土(10YR3/2)：しまりあり，粘性弱い，As-C軽石多量，細粒砂層ブロック(0.5～1cm)微量。
7．黒褐色土(10YR3/2)：しまりあり，粘性ある，As-C軽石多量，細粒砂層ブロック(0.5～1cm)・炭化物微量。

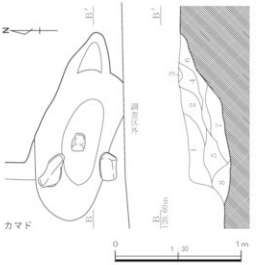


B－B'（カマド）

1．黒褐色土(10YR3/2)：しまり弱く粘性ある，As-C軽石少量，焼土・炭化物微量。
2．暗褐色土(10YR3/3)：しまり弱く粘性ある，焼土多量，白色粘質土ブロック(0.5～3cm)・炭化物微量。
3．暗褐色土(10YR3/3)：しまり弱く粘性ある，焼土多量，炭化物少量。
4．褐灰色土(10YR4/1)：しまり弱く粘性ある，焼土中量，炭化物微量。
5．黒褐色土(10YR3/2)：しまり弱く粘性ある，焼土・炭化物微量。



H－14号住居跡



B－B'（カマド）

1．黒褐色土(10YR3/2)：しまりあり粘性ある，As-C軽石少量，焼土微量。
2．黒褐色土(10YR3/2)しまりあり粘性ある，As-C軽石・焼土・炭化物微量。
3．焼土ブロック。
4．黒褐色土(10YR3/2)：しまりあり粘性ある，As-C軽石・焼土中量，炭化物微量。
5．黒褐色土(10YR3/2)：しまりあり粘性ある，焼土・白色粘質土ブロック多量，As-C軽石少量。
6．黒褐色土(10YR3/2)：しまりあり粘性ある，焼土多量，As-C軽石少量。
7．黒褐色土(10YR3/2)：しまりあり粘性ある，灰多量，焼土少量，炭化物微量。
8．黒褐色土(10YR3/2)：しまりあり粘性ある，焼土中量，炭化物微量。

C－C'（P1）

1．黒褐色土(10YR3/2)：しまりあり粘性ある，As-C軽石多量，小礫少量。
2．黒褐色土(10YR3/2)：しまりあり粘性ある，As-C軽石多量，炭化物微量。
3．暗褐色土(10YR3/3)：しまりあり粘性ある，細粒砂層ブロック(0.5～1cm)多量，As-C軽石微量。
4．暗褐色土(10YR3/3)：しまりあり粘性ある，細粒砂層ブロック(0.5～1cm)多量，焼土・炭化物微量。
5．鏡を帯びた物質の厳層（再結合岩？）

D－D'（P2）

1．褐灰色土(10YR4/1)：しまり弱く粘性弱い，As-C軽石・炭化物微量。
2．褐灰色土(10YR4/1)：しまり弱く粘性弱い，細粒砂層ブロック(0.5～1cm)少量，As-C軽石・炭化物微量。
3．被熱した白色粘質土。

Fig. 15　遺構実測図（7）

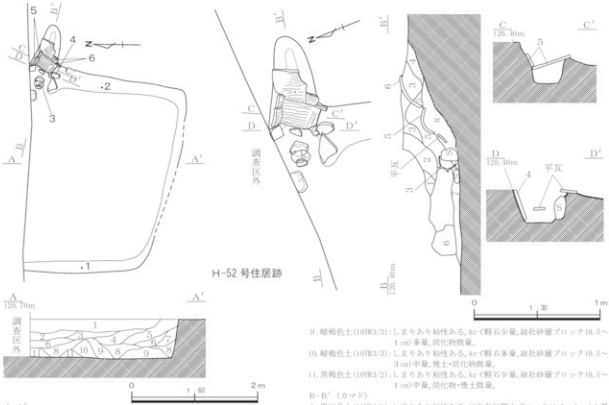
A–A′
1．黒褐色土(10YR3/2)：しまりあり粘性ある。As-C軽石多量、焼土・炭化物微量。
2．黒褐色土(10YR3/2)：しまりあり粘性ある。As-C軽石多量、炭化物・総社砂層ブロック(0.5～1cm)微量。
3．暗褐色土(10YR3/3)：しまりあり粘性ある。As-C軽石中量、焼土微量。
4．黒褐色土(10YR3/2)：しまりあり粘性ある。As-C軽石中量、焼土・炭化物中量、総社砂層ブロック(0.5～1cm)少量。
5．暗褐色土(10YR3/3)：しまりあり粘性ある。焼土中量、As-C軽石・総社砂層ブロック(0.5～1cm)少量。
6．黒褐色土(10YR3/2)：しまりあり粘性ある。As-C軽石多量、炭化物・総社砂層ブロック(0.5～1cm)少量。
7．暗褐色土(10YR3/3)：しまりあり粘性ある。As-C軽石中量、焼土・炭化物微量、総社砂層ブロック(0.5～1cm)微量。

H-28号住居跡

A–A′
1．褐灰色土(10YR4/1)：しまりあり粘性弱い。As-C軽石・経灰岩少量。
2．黒褐色土(10YR3/2)：しまりあり粘性ある。As-C軽石中量、焼土微量。
3．黒褐色土(10YR3/2)：しまりあり粘性ある。As-C軽石・小礫中量、焼土微量。
4．黒褐色土(10YR3/2)：しまりあり粘性ある。As-C軽石・経灰岩少量。
5．黒褐色土(10YR3/2)：しまりあり粘性ある。As-C軽石少量、焼土微量。
6．黒褐色土(10YR3/2)：しまりあり粘性ある。As-C軽石少量、焼土・炭化物微量。
7．暗褐色土(10YR3/3)：しまりあり粘性ある。As-C軽石少量、焼土・小礫少量。
8．黒褐色土(10YR3/2)：しまりあり粘性強い。As-C軽石・炭化物少量。
9．暗褐色土(10YR3/3)：しまりあり粘性ある。As-C軽石・焼土中量、炭化物微量。
10．暗褐色土(10YR3/3)：しまりあり粘性ある。As-C軽石多量、焼土・炭化物微量。
11．暗褐色土(10YR3/3)：しまりあり粘性ある。As-C軽石・小礫少量、焼土・炭化物微量。
12．暗褐色土(10YR3/3)：しまりあり粘性ある。As-C軽石少量、焼土・炭化物微量。
13．暗褐色土(10YR3/3)：しまりあり粘性ある。As-C軽石・焼土多量、炭化物・総社砂層ブロック(0.5～1cm)微量。
14．暗褐色土(10YR3/3)：しまりあり粘性ある。As-C軽石・焼土・炭化物微量。
15．暗褐色土(10YR3/3)：しまりあり粘性ある。As-C軽石・焼土少量、炭化物微量。
16．灰黄褐色土(10YR4/2)：しまりあり粘性ある。As-C軽石少量、焼土・炭化物・総社砂層ブロック(0.5～1cm)微量。
17．暗褐色土(10YR3/3)：しまりあり粘性ある。As-C軽石・焼土微量。
18．灰黄褐色土(10YR4/2)：しまりあり粘性ある。総社砂層ブロック(0.5～1cm)多量、As-C軽石微量。
19．暗褐色土(10YR3/3)：しまりあり粘性ある。焼土多量、炭化物微量。
20．暗褐色土(10YR3/3)：しまりあり粘性ある。炭化物多量、焼土微量。
21．黒褐色土(10YR3/2)：しまりあり粘性ある。炭化物多量、As-C軽石・総社砂層ブロック(0.5～3cm)少量。
22．暗褐色土(10YR3/3)：しまりあり粘性ある。As-C軽石少量、焼土・炭化物・総社砂層ブロック(0.5～3cm)微量。

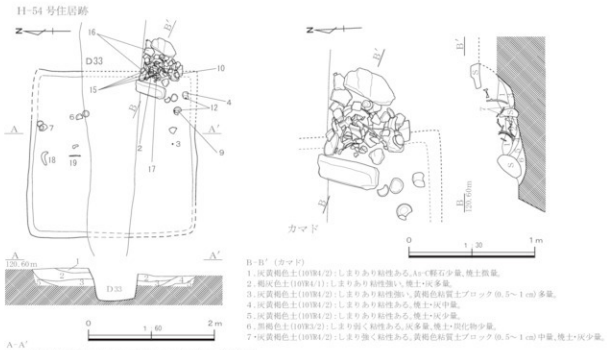
B–B′（カマド）
1．にぶい黄褐色土(10YR3/3)：しまりあり粘性ある。焼土ブロック(0.5～1cm)中量、As-C軽石少量。
2．にぶい黄褐色土(10YR3/3)：しまりなく粘性弱い。焼土ブロック(0.5～5cm)・経灰岩・褐色粘質土ブロック(0.5～3cm)大量、天井崩落土か。
3．灰黄褐色土(10YR4/2)：しまりあり粘性強い。褐色粘質土多量、焼土少量。
4．褐灰色土(10YR4/1)：しまり弱く粘性ある。炭・炭化物多量、焼土ブロック(0.5～1cm)中量。
5．黒褐色土(10YR3/2)：しまりあり粘性ある。As-C軽石・黒色土ブロック(0.5～1cm)中量、総社砂層ブロック(0.5～1cm)少量。
6．黒色土(10YR2/1)：しまり弱く粘性弱い。炭化物多量、焼土・炭微量。

Fig.16　遺構実測図（8）



A-A′
1. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石大量、焼土・炭化物微量。
2. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石多量、焼土・炭化物・小礫微量。
3. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石多量、総社砂層ブロック(0.5～2 cm)少量。
4. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石多量、炭化物・総社砂層ブロック(0.5～1 cm)微量。
5. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石多量、焼土・炭化物少量。
6. 褐灰色土(10YR4/1):しまりあり粘性ある。As-C軽石中量、焼土・炭化物微量。
7. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石多量、総社砂層ブロック(0.5～1 cm)微量。
8. 暗褐色土(10YR3/3):しまりあり粘性ある。As-C軽石・総社砂層ブロック(0.5～3 cm)少量。
9. 暗褐色土(10YR3/3):しまりあり粘性ある。As-C軽石少量、総社砂層ブロック(0.5～1 cm)多量、炭化物微量。
10. 暗褐色土(10YR3/3):しまりあり粘性ある。As-C軽石多量、総社砂層ブロック(0.5～3 cm)中量、焼土・炭化物微量。
11. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石少量、総社砂層ブロック(0.5～1 cm)中量、炭化物・焼土微量。

B-B′(カマド)
1. 褐灰色土(10YR4/1):しまりあり粘性ある。灰白色粘質土ブロック(0.5～1 cm)少量、As-C軽石微量。
2. 褐灰色土(10YR4/1):しまりあり粘性ある。灰白色粘質土ブロック(0.5～10cm)大量、As-C軽石微量。
3. 褐灰色土(10YR4/1):しまりあり粘性ある。灰白色粘質土ブロック(0.5～1 cm)中量、As-C軽石微量。
4. 灰黄褐色土(10YR4/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石少量、焼土微量。
5. 灰黄褐色土(10YR4/2):しまりあり粘性ある。灰白色粘質土ブロック(0.5～10cm)大量、焼土ブロック(0.5～1 cm)少量、As-C軽石微量。
6. 褐灰色土(10YR4/1):しまりあり粘性ある。灰白色粘質土ブロック(0.5～10cm)大量。
7. 黒褐色土(10YR3/1):しまり弱く粘性強い。焼土中量、灰大量。
8. 黒褐色土(10YR3/1):しまり弱く粘性強い。焼土・灰少量。



B-B′(カマド)
1. 灰黄褐色土(10YR4/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石少量、焼土微量。
2. 褐灰色土(10YR4/1):しまりあり粘性強い。焼土・灰多量。
3. 灰黄褐色土(10YR4/2):しまりあり粘性強い。黄褐色粘質土ブロック(0.5～1 cm)多量。
4. 灰黄褐色土(10YR4/2):しまりあり粘性ある。焼土・灰中量。
5. 灰黄褐色土(10YR4/2):しまりあり粘性ある。焼土・灰少量。
6. 黒褐色土(10YR3/2):しまり弱く粘性ある。灰多量、焼土・炭化物少量。
7. 灰黄褐色土(10YR4/2):しまり強く粘性ある。黄褐色粘質土ブロック(0.5～1 cm)中量、焼土・灰少量。

A-A′
1. 黒褐色土(10YR3/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石多量、炭化物微量。
2. 灰黄褐色土(10YR4/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石多量、焼土・炭化物少量、総社砂層ブロック(0.5～3 cm)微量。
3. 灰黄褐色土(10YR4/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石多量、炭化物中量、焼土・小礫少量。
4. 灰黄褐色土(10YR4/2):しまりあり粘性ある。As-C軽石中量、焼土・褐色土ブロック(0.5～1 cm)少量。
5. 暗褐色土(10YR3/3):しまりあり粘性ある。As-C軽石中量、総社砂層ブロック(0.5～1 cm)少量、焼土微量。

Fig. 17　遺構実測図（9）

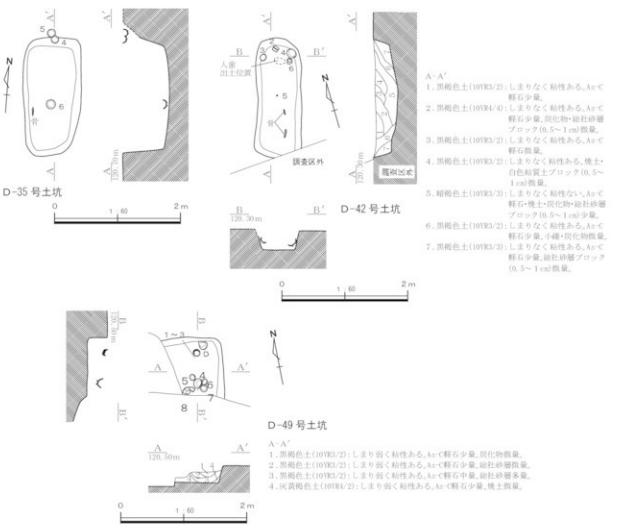


Fig.18　遺構実測図（10）

Tab. 1　遺構一覧表（1）

住居跡一覧表①　単位：m、平面形＝A：隅丸方形、B：隅丸長方形、C：隅丸方形もしくは隅丸長方形、D：不明）

名称	平面形	規模				主軸	炉・カマド		貯蔵穴			出土遺物	備考
		長軸	短軸	深さ	面積		全長	幅	長軸	短軸	深さ		
H1	D	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	出土遺物なし。	床のみ
H2	B	(3.64)	2.16	0.32	(7.86)	N-94°-E	0.76	0.58	—	—	—	須恵器(坏・甕)、灰釉陶器、羽釜	
H3	C	2.10	(0.36)	0.29	(0.76)	N-92°-E	(0.63)	0.72	—	—	—	須恵器(坏)、灰釉陶器、土師、羽釜	
H4	C	(3.48)	(2.52)	0.46	(6.77)	N-96°-E	0.82	0.55	—	—	—	須恵器(坏・椀)、土師、羽釜、瓦、鉄製品(紡錘・鉄鏃・板状)	
H5	A	4.40	4.28	0.52	18.83	N-77°-E	1.59	0.55	—	—	—	土師器(坏・甕)、須恵器(坏・高・甕)	
H6	C	3.94	(3.72)	0.48	(14.66)	N-87°-W	1.10	0.60	—	—	—	土師器(坏・甕)	
H7	C	2.40	(0.7)	0.40	(1.68)	—	—	—	—	—	—	灰釉陶器(椀)	
H8	C	(3.67)	(3.62)	0.28	(13.1)	—	—	—	0.52	0.46	0.42	土師器(坏・甕)、須恵器(甕)	
H9	A	2.89	2.78	0.36	7.78	N-91°-E	1.06	0.60	0.70	0.70	0.36	須恵器(坏)、灰釉陶器(椀)、羽釜、台石、鉄製品(小札・刀子)	
H10	C	3.96	3.76	0.22	14.89	N-92°-E	1.20	0.96	—	—	—	須恵器(椀)、灰釉陶器(鉢)、鉄製品(不明)、瓦	
H11	D	(2.1)	—	0.28	—	N-92°-E	0.98	0.52	—	—	—	土師、羽釜	
H12	C	4.84	(2.86)	0.61	(13.84)	—	—	—	—	—	—	土師器(坏・甕・瓶)	
H13	B	3.84	3.20	0.05	12.29	N-82°-E	1.01	0.5	—	—	—	土師器(坏)	
H14	C	4.10	3.20	0.36	(10.38)	N-98°-E	1.51	0.6	—	—	—	須恵器(坏・椀)、灰釉陶器(椀)、羽釜、土製品(紡錘車)、鉄製品(鉄鏃・鑿・釘・不明製品)	
H15	C	4.10	3.20	0.52	(13.12)	N-68°-E	1.01	0.59	1.64	0.66	0.73	土師器(坏・甕)、須恵器(高・甕)、石製品(支脚)	
H16	C	(3.24)	(2.54)	0.39	(8.23)	N-114°-W	0.57	0.56	0.7	0.62	0.71	土師器(坏・甕)、石製品(玉・砥石石製品)	
H17	D	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	土師器(坏・甕)、須恵器(甕)、軽石製品	床のみ

Tab. 2　遺構一覧表（2）

住居跡一覧表②　単位：m、平面形＝A：隅丸方形、B：隅丸長方形、C：隅丸方形もしくは隅丸長方形、D：不明）

名称	規模					主軸	炉・カマド		貯蔵穴			出土遺物	備考
	平面形	長軸	短軸	深さ	面積		全長	幅	長軸	短軸	深さ		
H18	欠番												
H19	A	2.72	2.64	0.38	7.18	N-90°-E	0.67	0.62	—	—	—	須恵器(坏・椀)、土釜、羽釜、瓦、鉄製品(鉸具)	
H20	欠番												
H21	A	4.72	4.70	0.24	(22.18)	N-71°-E	1.20	0.46	0.80	0.80	0.70	土師器(坏・甕)、須恵器(甕)	
H22	欠番												
H23	C	3.2	(2.60)	0.40	(8.32)	N-98°-E	1.40	0.76	—	—	—	須恵器(坏・椀)、灰釉陶器(椀)、土釜、羽釜、瓦、鉄製品(釘)	
H24	D	(3.98)	(1.50)	0.09	(2.98)	—	—	—	—	—	—	須恵器(坏・椀)、灰釉陶器(皿)、羽釜、銅製品(鑷子)	
H25	C	(2.50)	(1.10)	0.37	(3.2)	N-56°-E	1.30	0.64	0.52	(0.38)	0.33	土師器(坏・甕)	
H26	B	3.42	2.98	0.17	10.19	N-79°-E	0.98	0.88	0.72	0.66	0.77	土師器(坏・高坏・甕)、須恵器(蓋)	
H27	B	4.86	3.76	0.30	(18.27)	N-77°-E	1.70	0.54	—	—	—	土師器(坏・甕)、須恵器(蓋)	
H28	B	5.2	4.4	0.48	22.88	N-89°-E	1.34	0.73	—	—	—	須恵器(坏・椀・甕)、土釜、羽釜、土製品(紡錘車)、瓦、鉄製品(鎌)	
H29	B	2.70	2.26	0.18	(6.1)	—	—	—	—	—	—	須恵器(坏・椀)	
H30	A	3.66	3.46	0.60	12.66	N-86°-E	1.24	0.60	0.66	0.61	0.50	土師器(坏・甕)、ミニチュア土器、石製品(砥石)	
H31	A	2.74	2.66	0.39	7.29	N-97°-E	1.19	1.04	0.46	0.44	0.03	須恵器(坏・椀・耳皿)、羽釜	
H32	C	(3.56)	3.48	0.52	(12.39)	N-113°-W	1.14	0.54	—	—	—	土師器(坏・甕)、須恵器(甕)	
H33	C	(2.17)	(1.92)	0.24	(4.14)	—	—	—	—	—	—	土師器(坏・甕)、滑石剥片	
H34	C	(2.06)	(1.94)	0.39	(4.00)	—	—	—	—	—	—	灰釉陶器(椀)	
H35	C	3.90	(1.32)	0.52	(5.15)	N-113°-W	1.73	0.72	—	—	—	土師器(坏・甕)、須恵器(甕)	
H36	A	3.54	3.18	0.26	11.26	N-87°-W	1.26	0.46	—	—	—	土師器(坏・甕)、須恵器(甕・短頸壺)、ミニチュア土器、石製品(砥石)、馬歯	
H37	C	(2.66)	(2.01)	0.46	(5.35)	—	—	—	—	—	—	須恵器(椀)、灰釉陶器(椀)、土釜	
H38	D	(3.00)	(2.72)	0.27	(8.16)	—	—	—	—	—	—	須恵器(坏・椀・甕)、灰釉陶器(椀)、羽釜、瓦	
H39	B	3.68	2.91	0.40	10.71	N-95°-E	0.90	0.80	—	—	—	須恵器(坏・椀)、土釜、羽釜、瓦、石製品(紡錘車・砥石)	
H40	C	(5.8)	(3.81)	0.11	(22.10)	N-58°-E	1.22	0.96	—	—	—	土師器(坏・甕)、須恵器(蓋・甕)	
H41	B	(3.44)	3.10	0.35	(10.66)	—	—	—	—	—	—	須恵器(𤭯)、鉄製品(刀子)	
H42	A	3.48	3.44	0.53	11.97	N-90°-E	0.80	0.60	—	—	—	須恵器(坏・椀・平瓶)、緑釉陶器(椀)、灰釉陶器(椀)、瓦	
H43	B	(3.64)	3.22	0.18	(11.72)	N-99°-E	0.84	1.06	—	—	—	須恵器(坏・甕)、灰釉陶器(椀)、土釜、羽釜、瓦	
H44	A	6.27	6.09	0.46	38.18	N-38°-W	1.50	0.84	—	—	—	土師器(坏・高坏・甕)、須恵器(蓋・𤭯)、土製品(玉)、石製品(有段紡錘車)	
H45	D	(2.06)	(0.78)	0.12	(1.61)	—	—	—	—	—	—	須恵器(坏・椀)	
H46	B	3.56	3.20	0.33	1.39	N-103°-E	1.00	0.52	—	—	—	須恵器(坏・椀)、土釜、羽釜、瓦	
H47	欠番												
H48	C	(3.54)	(1.7)	0.33	(6.02)	—	—	—	—	—	—	土師器(坏・壺・甕)、須恵器(甕)	
H49	C	(2.68)	(1.64)	0.66	(4.40)	—	—	—	—	—	—	土師器(坏・甕)、蕨網石	
H50	D	(2.27)	(1.52)	0.23	(3.45)	—	—	—	—	—	—	須恵器(坏)、瓦	
H51	B	(3.14)	(2.44)	0.11	(7.66)	—	—	—	—	—	—	須恵器(坏・椀・小瓶)、灰釉陶器(椀)、土釜、羽釜、瓦、鉄製品(鎌・紡茎・鉄鏃)	
H52	C	3.12	(2.36)	0.61	(7.36)	N-111°-E	1.08	(0.58)	—	—	—	須恵器(坏・椀・蓋)、灰釉陶器(椀)、羽釜、瓦	
H53	B	3.22	3.09	0.45	9.95	N-28°-E	1.08	0.8	—	—	—	土師器(坏・甕)、石製品(臼玉)	
H54	A	2.66	2.64	0.19	7.02	N-107°-E	0.92	0.48	—	—	—	須恵器(坏・椀・鉢)、土釜、羽釜、鉄製品(鎌・紡茎)	
H55	欠番												
H56	C	(3.80)	(2.64)	0.09	(10.03)	—	—	—	—	—	—	土師器(坏・甕)、須恵器(高坏)	
H57	欠番												
H58	B	3.38	2.66	0.2	8.99	N-78°-E	0.90	0.58	—	—	—	土師器(坏・甕)、須恵器(提瓶・甕)、土製品(支脚)	
H59	C	(4.00)	(1.98)	0.38	(7.92)	—	—	—	—	—	—	須恵器(坏・椀・瓶)、瓦	
H60	欠番												
H61	C	7.34	(5.28)	0.61	38.73	—	0.96	0.60	—	—	—	土師器（器台・S字口縁台付甕・壺）	
H62	C	(2.74)	(0.88)	(0.22)	(2.41)	N-86°-E	0.36	0.36	—	—	—	須恵器（坏・椀）、土釜、羽釜	
H63	C	(3.54)	(2.90)	0.07	(10.27)	—	—	—	—	—	—	土師器（坏・甕）	
H64	A	(4.32)	4.2	0.34	(18.14)	N-90°-E	0.98	0.76	—	—	—	須恵器（坏・椀）、灰釉陶器（椀）、土釜、羽釜	
H65	C	(2.26)	(1.18)	0.08	(2.67)	N-121°-E	0.80	0.58	—	—	—	須恵器（坏・椀・甕）	
H66	D	(1.36)	(1.16)	0.03	(1.58)	—	—	—	—	—	—	出土遺物なし。	
H67	C	3.82	(3.34)	0.38	(12.76)	—	—	—	—	—	—	土釜	
H68	C	(2.44)	(1.02)	0.28	(2.49)	—	—	—	—	—	—	須恵器（椀）、鍛冶関連遺物（鞴羽口）	
H69	C	(3.24)	(0.96)	0.20	(3.11)	—	—	—	—	—	—	土師器（坏・甕）、須恵器（甕）	
H70	D	(2.06)	(1.22)	0.16	(2.51)	—	—	—	—	—	—	出土遺物なし。	
H71	C	3.7	(2.88)	0.14	(10.66)	N-87°-E	1.06	0.82	0.65	0.44	0.35	土師器（坏・甕）	
H72	C	(4.36)	(1.30)	0.32	6.54	N-8°-W	1.50	0.80	—	—	—	土師器（坏・高坏・甕）、蕨網石	
H73	B	(4.42)	3.32	0.31	(14.67)	N-98°-E	0.82	1.01	—	—	—	須恵器（坏・椀）、土釜、羽釜、瓦、鍛冶関連遺物（鞴羽口）	

Tab. 3　遺構一覧表（3）

住居跡一覧表③　単位：m、平面形＝A：隅丸方形、B：隅丸長方形、C：隅丸方形もしくは隅丸長方形、D：不明）

名称	平面形	規模				主軸	炉・カマド		貯蔵穴			出土遺物	備考
		長軸	短軸	深さ	面積		全長	幅	長軸	短軸	深さ		
H74	C	7.92	(2.72)	0.47	(19.10)	—	—	—	—	—	—	土師器（坏・高坏・鉢・甕）、土製品（土錘）、石製品（円盤状石製品）、鉄製品（刀子・鉄鏃）	
H75	C	(2.42)	(1.28)	0.13	(3.10)	N-108°-E	0.79	0.72	—	—	—	土師器（坏・甕）	
H76	A	(5.5)	(3.42)	0.09	(11.97)	N-65°-E	0.42	0.62	—	—	—	須恵器（坏・蓋）、須恵器（甕）、羽釜	
H77	欠番												
H78	A	19.0	18.50	0.52	31.64	N-75°-E	1.29	1.05	1.11	0.81	0.64	土師器（坏・甕）、須恵器（蓋・甕）、石製品（磨石）	
H79	C	(1.92)	—	—	—	N-110°-E	0.964	0.9	—	—	—	須恵器（坏）	
H80	A	4.77	4.53	0.41	21.60	N-63°-E	1.59	1.11	0.99	0.63	0.65	土師器（坏・鉢・甕）、石製品（白玉・滑石原石）銅製品（耳環）	
H81	C	(3.08)	(3.06)	0.2	(9.42)	N-91°-E	0.7	0.54	—	—	—	須恵器（坏・椀）土釜、羽釜	
H82	A	4.59	4.34	0.47	19.53	N-64°-E	1.10	1.13	0.7	0.68	0.56	土師器（坏・高坏・甕）、須恵器（蓋）、石製品（玉）、鉄製品（釘）	
H83	B	(3.06)	(2.68)	0.19	(8.20)	N-98°-E	0.42	0.52	—	—	—	須恵器（坏・椀）、灰釉陶器（椀）、羽釜	
H84	C	(3.29)	(1.72)	0.19	(5.66)	—	—	—	—	—	—	土師器（坏・甕）、須恵器（甕）	
H85	D	(1.7)	(1.42)	0.28	(2.41)	—	—	—	1.06	0.58	0.32	土師器（坏・甕）、ミニチュア土器、石製品（切子玉状石製品・素材剥片・滑石原石）	
H86	C	2.82	(1.52)	0.17	(4.29)	N-86°-E	1.14	0.24	0.44	0.44	0.38	須恵器（坏・甕・蓋）、羽釜、瓦	
H87	D	(2.98)	(1.06)	0.21	(2.98)	—	—	—	—	—	—	土師器（坏・甕）	
H88	欠番												
H89	C	(3.58)	(1.12)	0.32	(4.01)	—	—	—	—	—	—	須恵器（坏・椀）、瓦	
H90	B	(3.70)	2.68	0.04	(9.92)	—	—	—	—	—	—	須恵器（坏・椀）、土釜、羽釜、瓦、鉄製品（紡錘）	
H91	B	(4.12)	(3.52)	0.28	(14.50)	N-119°-E	0.92	0.84	0.83	0.54	0.09	須恵器（坏・椀）、灰釉陶器（椀）、土釜、羽釜、瓦	
H92	B	3.14	2.52	0.49	7.91	N-124°-E	1.26	1.06	0.34	0.33	0.72	土師器（坏・甕）、須恵器（**蓋**）	
H93	D	(3.52)	(2.44)	—	(8.59)	—	—	—	—	—	—	土師器（坏・甕）	床のみ
H94	C	(2.54)	(2.24)	0.11	(5.69)	N-124°-E	0.58	0.26	—	—	—	須恵器（坏・椀）、灰釉陶器（椀）、羽釜、瓦	
H95	A	4.28	(4.22)	0.24	(18.06)	—	—	—	—	—	—	須恵器（坏・椀・甕）、瓦、土製品（土錘）	
H96	C	(4.24)	(3.58)	0.05	(15.18)	N-26°-E	1.08	1.12	—	—	—	土師器（坏・甕）、須恵器（甕）、鉄製品（鎌子）	
H97	D	—	—	—	—	—	—	—	0.76	0.74	0.64	土師器（坏・甕）、須恵器（甕）	
H98	A	4.73	4.68	0.49	22.14	N-99°-W	1.04	1.12	1.48	0.88	0.65	土師器（坏・甕・台付甕）、須恵器（甕）	
H99	C	4.42	(2.18)	0.17	(9.64)	—	—	—	—	—	—	土師器（坏・甕）、須恵器（甕）	
H100	B	6.09	5.85	0.29	35.63	N-63°-E	2.90	1.60	0.83	0.69		土師器（坏・甕）、石製品（切子玉状石製品）	
H101	C	(3.1)	(1.1)	0.19	(3.41)	—	—	—	—	—	—	須恵器（坏）、灰釉陶器（椀）	
H102	D	(4.96)	(3.74)	0.03	(18.55)	—	—	—	—	—	—	土師器（坏・甕）	

土坑・井戸一覧表①

名称	平面形	長軸	短軸	深さ	出土遺物	備考
D-1	楕円形	(1.94)	0.94	0.30	縄属遺物なし。	A s－B混土。
D-2	隅丸長方形	2.50	1.10	0.37	縄属遺物なし。	A s－B混土。
D-3	欠番					
D-4	隅丸長方形	2.56	1.34	0.46	縄属遺物なし。	A s－B混土。
D-5	楕円形	1.64	0.75	0.45	縄属遺物なし。	A s－B混土。
D-6	楕円形	2.04	1.02	0.42	縄属遺物なし。	A s－B混土。
D-7	円形	1.16	1.14	0.32	須恵器（坏）	
D-8	欠番					
D-9	楕円形	2.14	1.00	0.74	縄属遺物なし。	A s－B混土。
D-10	楕円形	2.32	1.14	0.23	出土遺物なし。	H r－F A混土。
D-11	欠番					
D-12	隅丸長方形	1.60	1.18	0.93	出土遺物なし。	
D-13	不整形	2.37	(1.1)	0.57	須恵器（坏）、瓦	
D-14	楕円形	0.92	0.64	0.24	須恵器（坏）	
D-15	楕円形	1.22	0.97	0.45	刀装金具	
D-16	円形	0.78	0.72	0.49	土師器（坏・甕）	
D-17	欠番					
D-18	欠番					
D-19	欠番					
D-20	隅丸長方形	1.58	1.32	0.19	縄属遺物なし。	A s－B混土。
D-21	楕円形	1.22	0.96	0.33	縄属遺物なし。	A s－B混土。

名称	平面形	長軸	短軸	深さ	出土遺物	備考
D-22	楕円形	1.42	1.01	0.27	縄属遺物なし。	A s－B混土。
D-23	隅丸長方形	1.41	0.92	0.27	縄属遺物なし。	A s－B混土。
D-24	隅丸長方形	2.42	0.86	0.19	縄属遺物なし。	A s－B混土。
D-25	1－1号井戸					
D-26	1号倒木痕					
D-27	隅丸長方形	1.04	0.66	0.40	出土遺物なし。	
D-28	—	1.78	(0.67)	0.38	土師器（坏・甕）	
D-29	—	2.56	(1.56)	0.25	須恵器（坏）、瓦	
D-30	—	(1.24)	1.09	0.33	縄属遺物なし。	A s－B混土。
D-31	欠番					
D-32	欠番					
D-33	隅丸長方形	4.87	1.02	0.55	縄属遺物なし。	A s－B混土。
D-34	2号倒木痕					
D-35	隅丸長方形	1.88	0.93	0.37	須恵器（坏・椀）	墓壙。
D-36	欠番					
D-37	—	—	—	0.23	馬具	
D-38	欠番					
D-39	欠番					
D-40	欠番					
D-41	欠番					
D-42	隅丸長方形	1.88	0.7	0.55	須恵器（坏・椀）、鉄製品（鎌）	墓壙。

Tab. 4　遺構一覧表（4）

名称	平面形	長軸	短軸	深さ	出土遺物	備考
D43	欠番					
D44	3号倒木痕					
D45	欠番					
D46	—	0.80	—	0.28	出土遺物なし。	
D47	—	0.96	—	0.12	出土遺物なし。	
D48	—	0.56	—	0.22	出土遺物なし。	
D49	—	(0.78)	(0.62)	0.33	須恵器（坏・椀）	
D50	欠番					
D51	欠番					
D52	—	0.96	(0.86)	0.67	植属遺物なし。	A s－B 断土。

名称	平面形	長軸	短軸	深さ	出土遺物	備考
D53	楕円形	0.90	0.56	0.61	植属遺物なし。	A s－B 断土。
D54	—	1.72	—	0.25	出土遺物なし。	
D55	—	0.68	(0.34)	0.17	出土遺物なし。	
D56	—	0.94	(0.78)	0.11	出土遺物なし。	
D57	楕円形	0.73	0.60	0.53	出土遺物なし。	
D58	隅丸方形	0.74	0.72	0.55	土師器（坏・甕）	
D59	隅丸長方形	1.0	0.66	0.51	土師器（坏・甕）	
D60	—	0.84	(0.64)	0.55	土師器（坏・甕）	
T 1	円形	3.58	3.50	(2.13)	植属遺物なし。	上層に A s－B。

溝一覧表

名称	上部幅	下部幅	深さ	断面形状	走向方向	出土遺物	備考
W1	0.63	0.36	0.29	逆台形	N-5°-E	植属遺物なし。	A s－B 断土。
W2	1.54	1.26	0.37	U字状	N-3°-E	植属遺物なし。	A s－B 断土。
W3	0.88	0.46	0.34	U字状	N-87°-E	植属遺物なし。	A s－B 断土。
W4	0.61	0.34	0.04	皿状	N-86°-W	植属遺物なし。	A s－B 断土。
W5	1.20	1.09	0.39	U字状	N-89°-E	鉄製品（刀子）、馬骨（2 個）	A s－B 断土。
W6	0.96	0.66	0.43	U字状	N-79°-W	植属遺物なし。	A s－B 断土。
W7	0.96	0.36	0.20	皿状	N-2°-E	植属遺物なし。	A s－B 断土。
W8	0.82	0.46	0.24	皿状	N-8°-E	植属遺物なし。	A s－B 断土。
W9	2.46	1.71	0.50	U字状	N-1°-E	植属遺物なし。	A s－B 断土。
W10	0.75	0.5	0.29	皿状	N-38°-W	土師器（坏・甕）	

ピット一覧表

名称	長軸	短軸	深さ	平面形	出土遺物	備考
P 1	0.52	0.44	0.15	楕円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P 2	0.44	—	0.08	—	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P 3	0.36	—	0.15	—	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P 4	0.22	0.22	0.17	円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P 5	0.82	0.52	0.27	楕円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P 6	欠番					
P 7	0.40	0.32	0.14	楕円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P 8	0.33	0.28	0.19	楕円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P 9	0.42	0.36	0.10	楕円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P10	0.69	0.68	0.29	円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P11	0.4	(0.36)	0.27	楕円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P12	0.36	0.34	0.33	円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P13	0.44	0.44	0.27	円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P14	0.36	0.32	0.31	円形	植属遺物なし。	
P15	欠番					
P16	0.34	0.28	0.21	円形	植属遺物なし。	
P17	0.36	0.32	0.27	不整形	植属遺物なし。	
P18	0.31	0.29	0.16	円形	植属遺物なし。	
P19	欠番					
P20	0.7	0.55	0.20	楕円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P21	0.36	0.27	0.47	楕円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P22	0.64	0.5	0.14	楕円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P23	0.72	0.64	0.15	楕円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P24	0.3	0.29	0.11	円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P25	0.28	0.24	0.08	円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P26	欠番					
P27	0.78	0.7	0.22	楕円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P28	0.42	0.4	0.35	円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P29	0.40	0.40	0.27	円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P30	0.48	0.42	0.29	円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。

名称	長軸	短軸	深さ	平面形	出土遺物	備考
P31	0.50	0.44	0.2	円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P32	0.44	0.38	0.28	円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P33	0.37	0.34	0.58	円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P34	0.38	0.35	0.29	楕円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P35	0.50	0.43	0.43	楕円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P36	0.50	0.38	0.47	楕円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P37	0.385	0.29	0.16	楕円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P38	0.26	0.22	0.50	楕円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P39	0.38	0.35	0.81	円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P40	0.26	0.26	0.21	円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P41	0.30	0.29	0.34	円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P42	0.72	0.47	0.12	楕円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P43	1.11	0.66	0.17	楕円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P44	0.68	0.56	0.06	楕円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P45	0.46	0.44	0.52	隅丸方形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P46	0.46	0.3	0.05	楕円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P47	0.23	0.18	0.09	楕円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P48	0.40	0.29	0.18	楕円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P49	0.5	0.34	0.24	楕円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P50	0.24	0.18	0.40	—	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P51	0.59	0.41	0.32	楕円形	植属遺物なし。	
P52	0.35	0.32	0.35	円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P53	0.60	0.43	0.14	楕円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P54	欠番					
P55	0.3	(0.24)	0.27	—	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P56	欠番					
P57	0.48	0.42	0.43	楕円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P58	0.29	0.26	0.30	円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P59	0.31	0.28	0.28	円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。
P60	0.29	0.22	0.53	楕円形	植属遺物なし。	A s－B 断土。

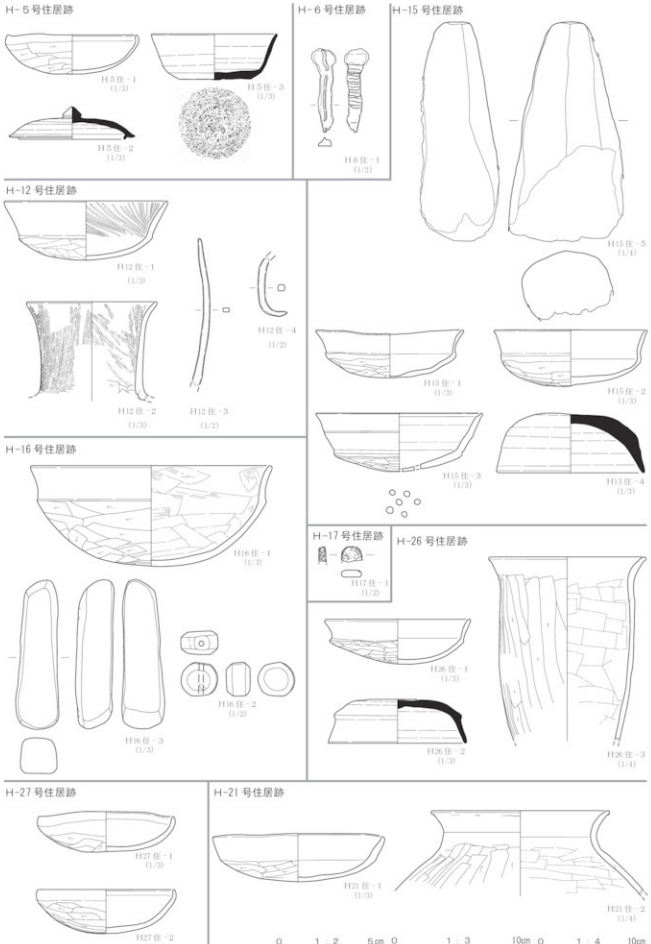


Fig. 19 遺物実測図（1）

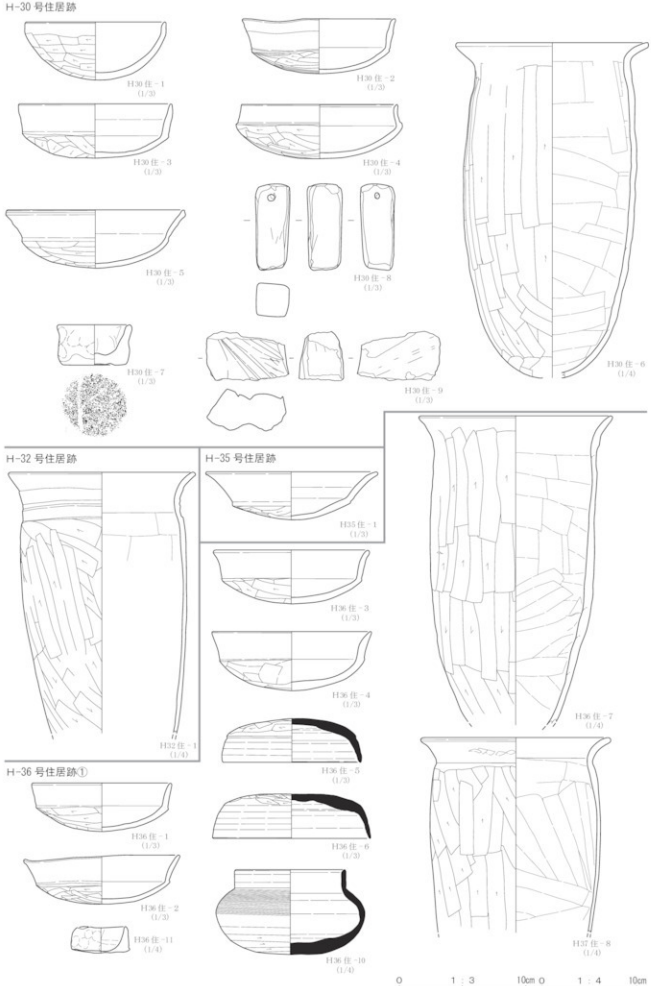


Fig.20　遺物実測図（2）

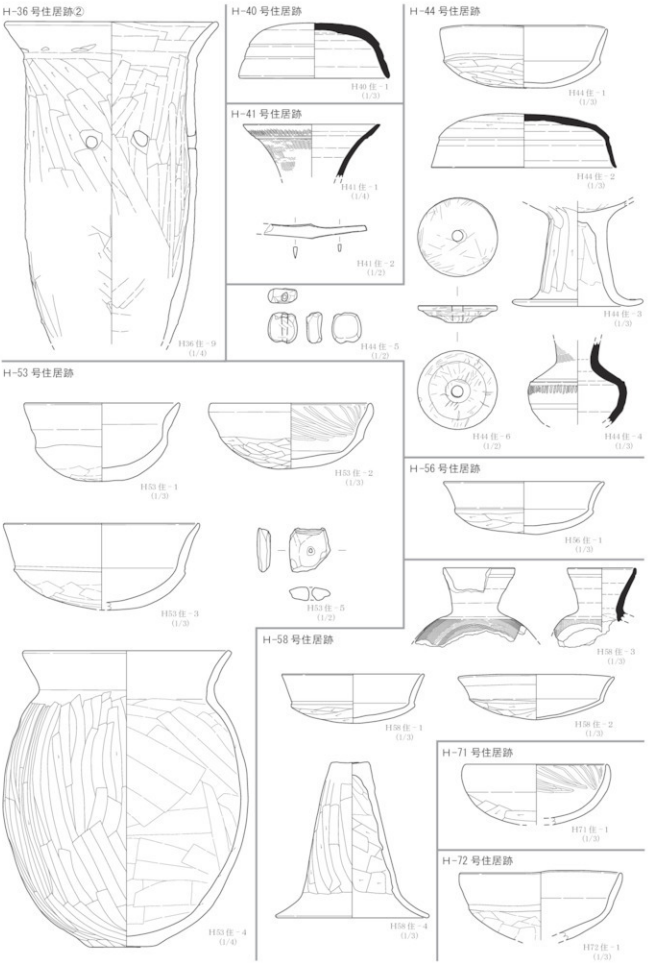
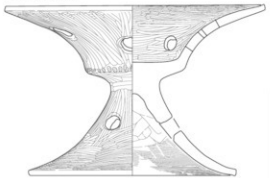


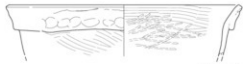
Fig. 21　遺物実測図（3）

H-61 号住居跡



H61住-1
(1/3)

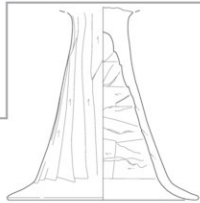
H61住-2
(1/3)



H61住-3
(1/3)

H-74 号住居跡

H74住-1
(1/3)

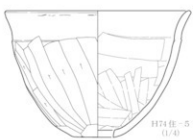


H74住-4
(1/3)

H74住-8
(1/3)

H74住-9
(1/2)

H74住-2
(1/3)

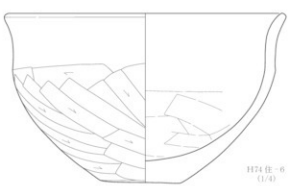


H74住-5
(1/4)

木質

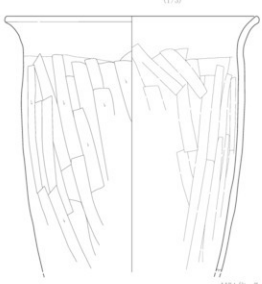
H74住-10
(1/3)

H74住-3
(1/3)



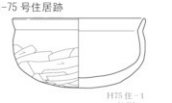
H74住-6
(1/4)

H74住-11
(1/3)

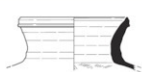


H74住-7
(1/4)

H-75 号住居跡



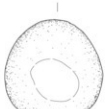
H75住-1
(1/3)



H78住-6
(1/3)

H-78 号住居跡①

H78住-1
(1/3)

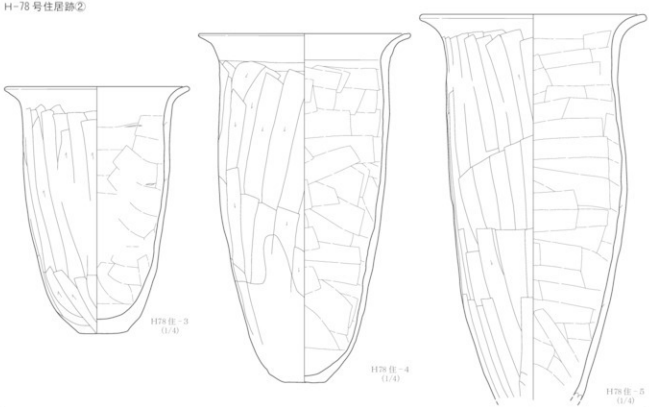


H78住-7
(1/3)

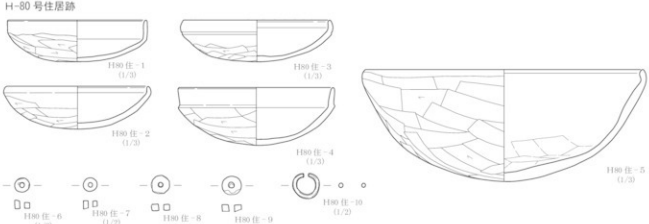
H78住-2
(1/3)

Fig.22 遺物実測図（4）

H-78 号住居跡②



H-80 号住居跡



H-82 号住居跡①

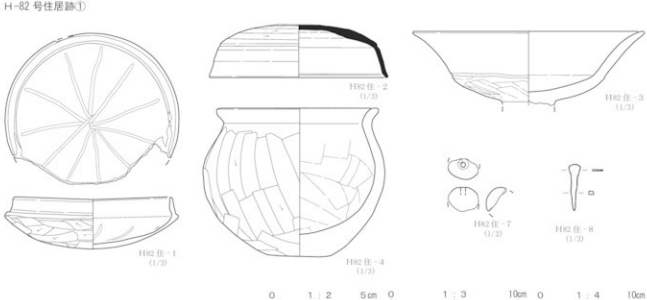


Fig. 23 遺物実測図（5）

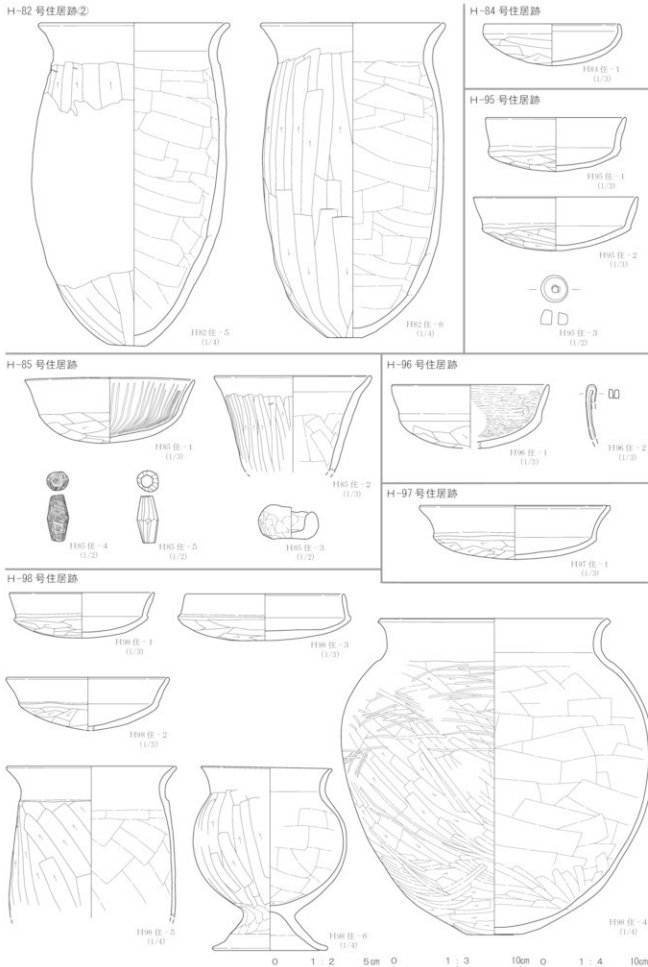


Fig. 24 遺物実測図（6）

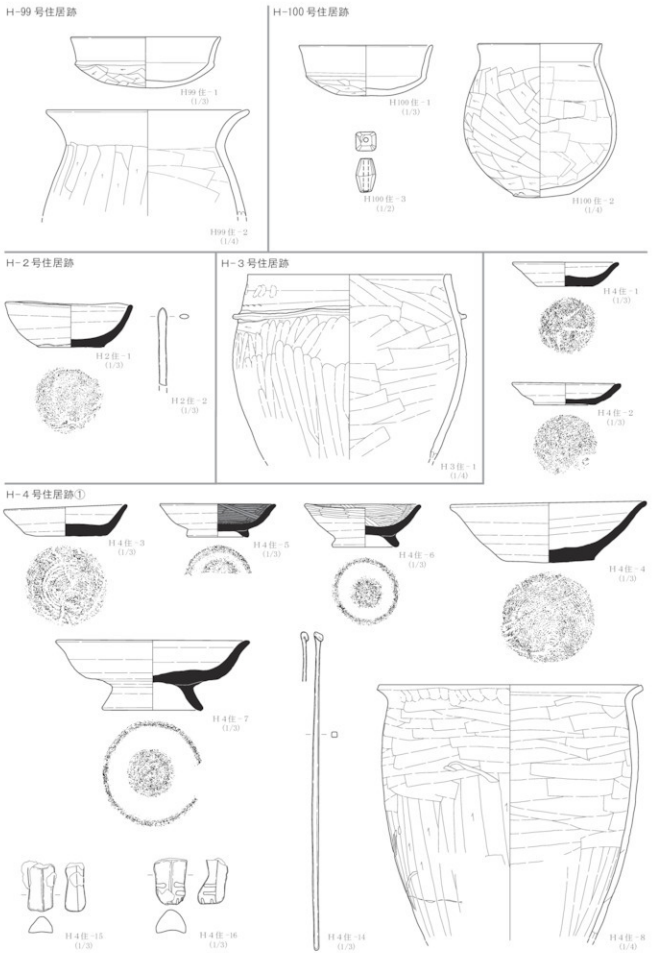


Fig. 25 遺物実測図（7）

Fig.26　遺物実測図（８）

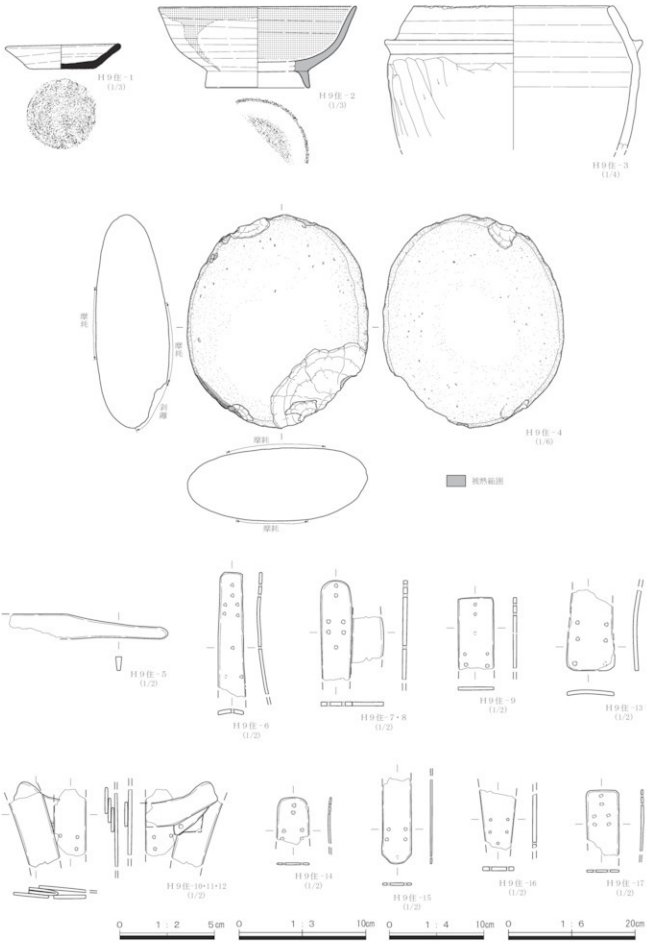


Fig. 27　遺物実測図（９）

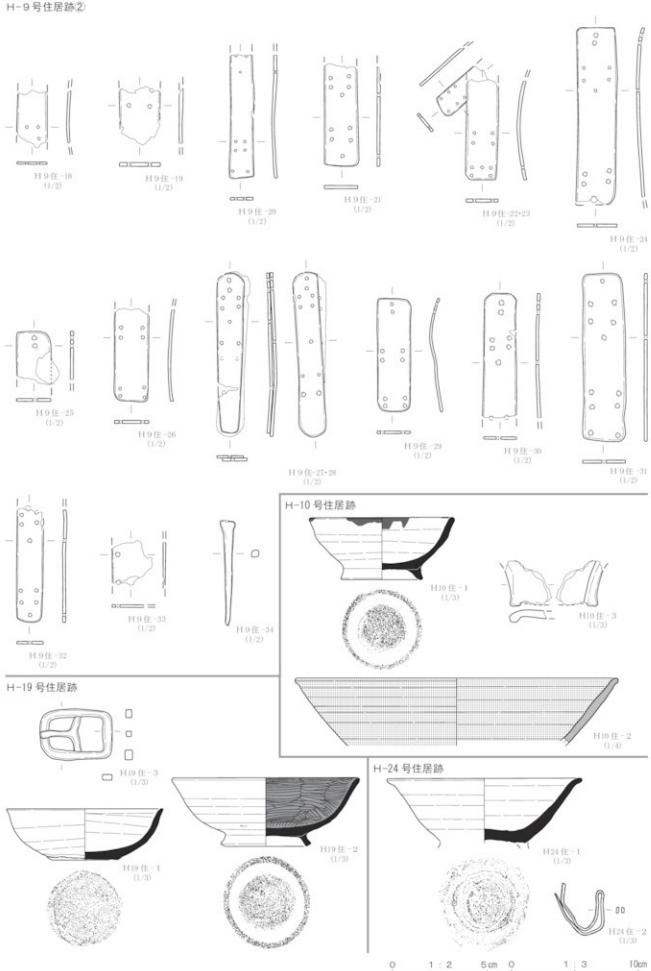
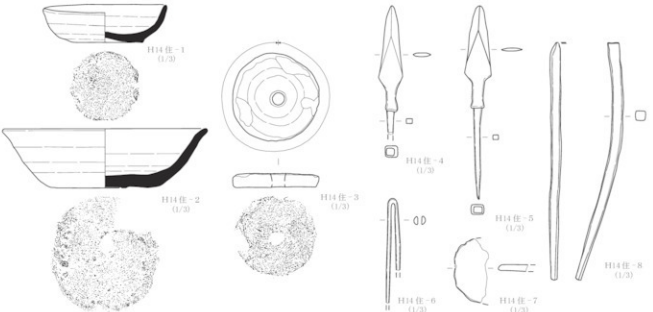
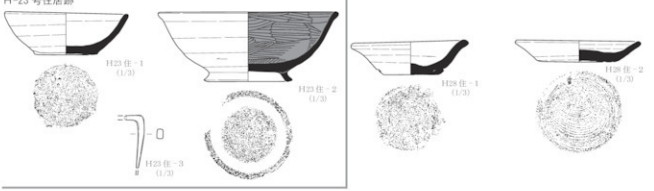


Fig. 28　遺物実測図（10）

H-14 号住居跡



H-23 号住居跡



H-28 号住居跡①

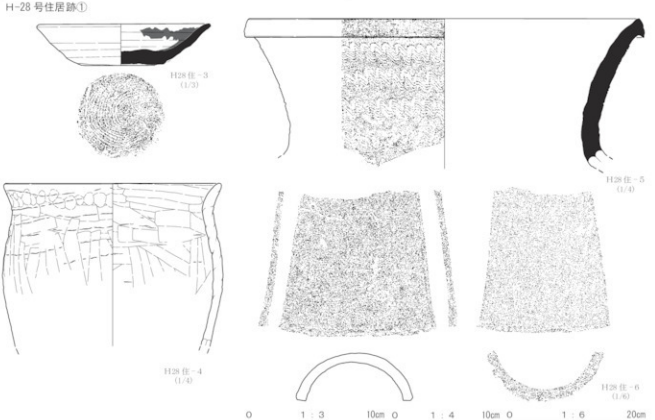
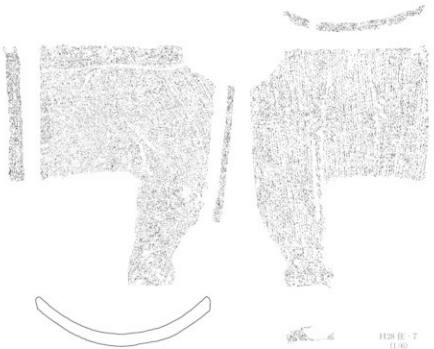


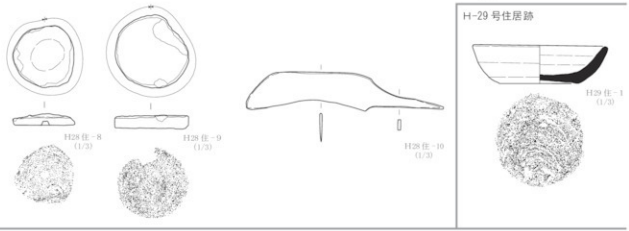
Fig. 29　遺物実測図（11）

H-28 号住居跡②



H28 住-7
(1/6)

H-29 号住居跡



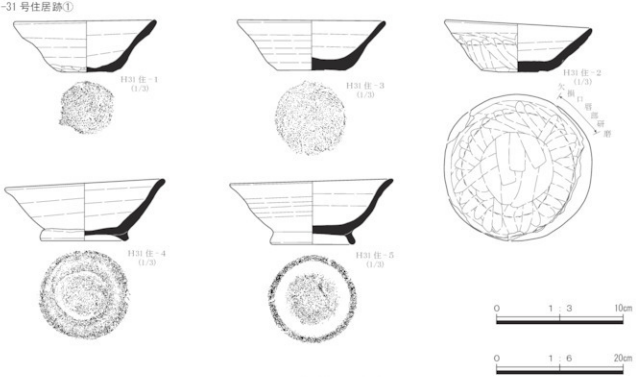
H28 住-8
(1/3)

H28 住-9
(1/3)

H28 住-10
(1/3)

H29 住-1
(1/3)

H-31 号住居跡①



H31 住-1
(1/3)

H31 住-3
(1/3)

H31 住-2
(1/3)

H31 住-4
(1/3)

H31 住-5
(1/3)

0 1 3 10cm

0 1 6 20cm

Fig.30 遺物実測図 (12)

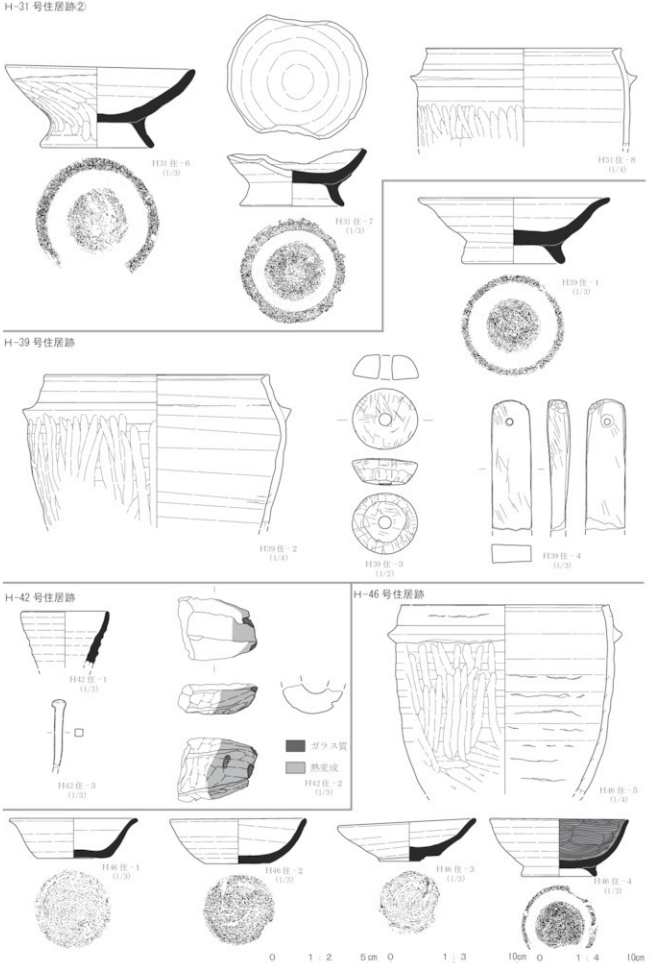


Fig. 31　遺物実測図（13）

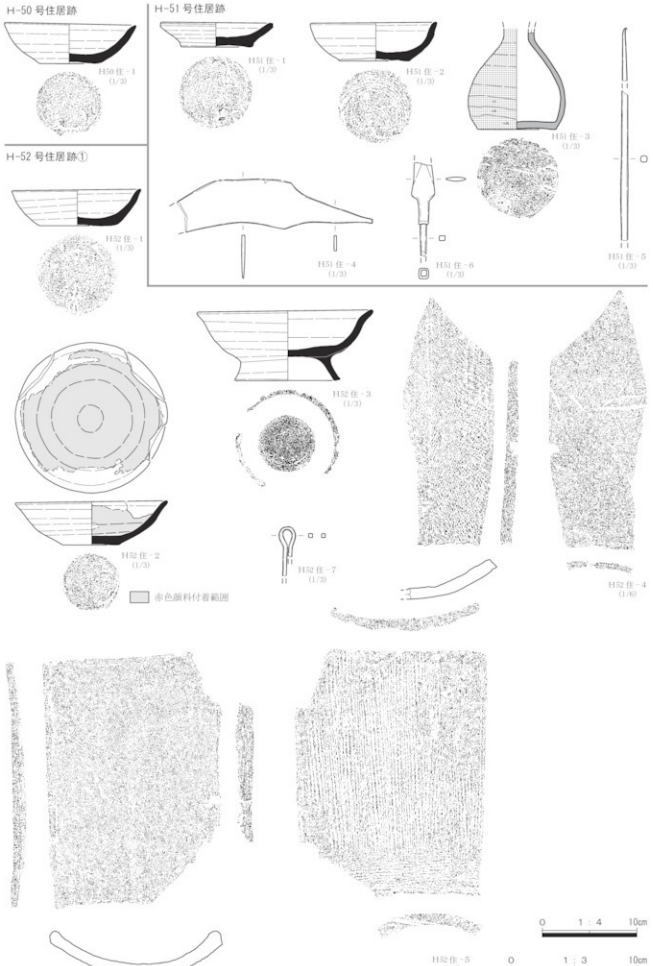
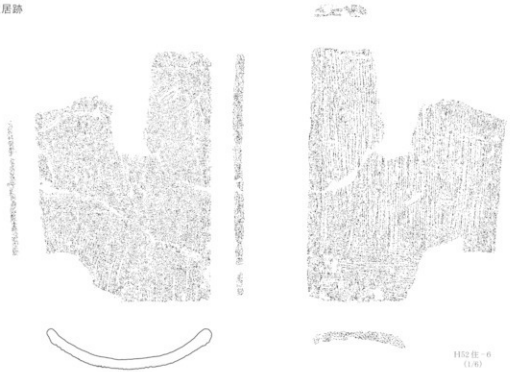


Fig. 32 遺物実測図 (14)

H-52 号住居跡



H-54 号住居跡①

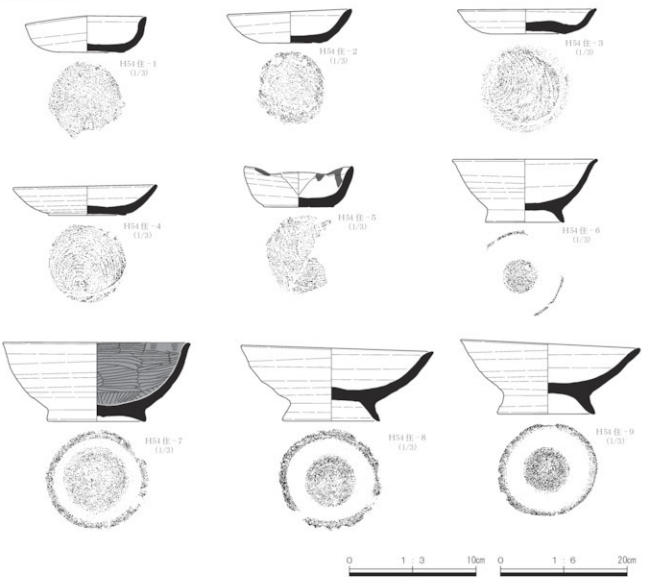


Fig. 33　遺物実測図（15）

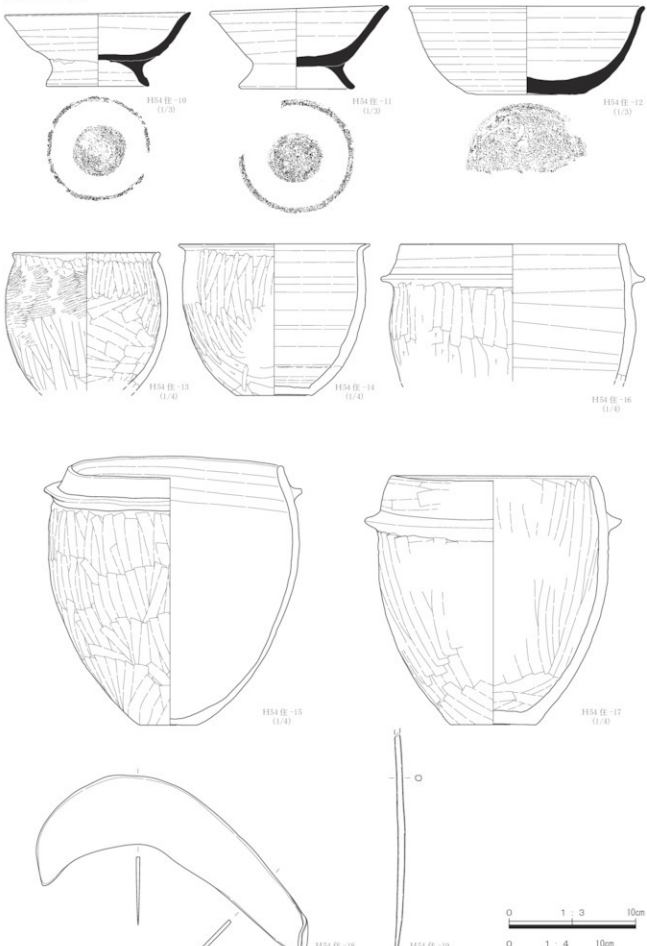
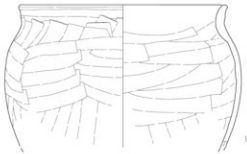
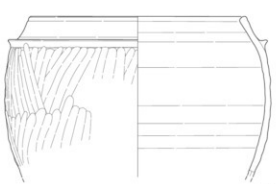


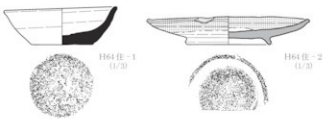
Fig. 34　遺物実測図（16）

H-62 号住居跡

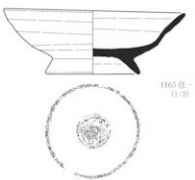




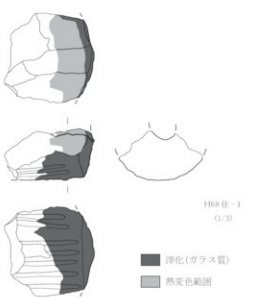
H-64 号住居跡



H-65 号住居跡



H-68 号住居跡



H-73 号住居跡

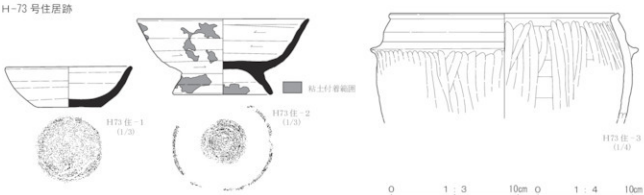


Fig. 35 遺物実測図 (17)

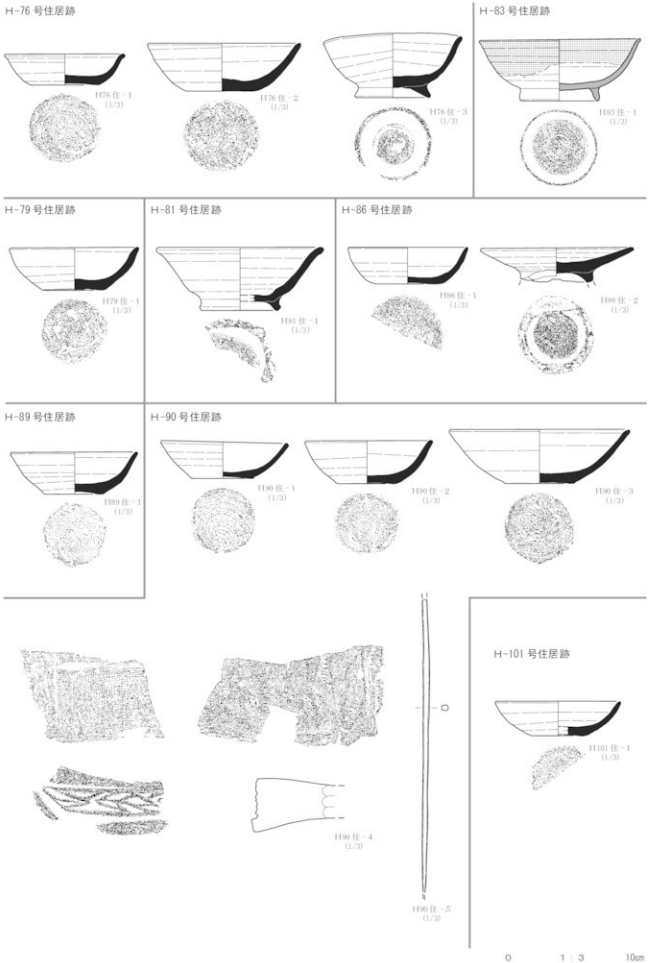


Fig. 36　遺物実測図（18）

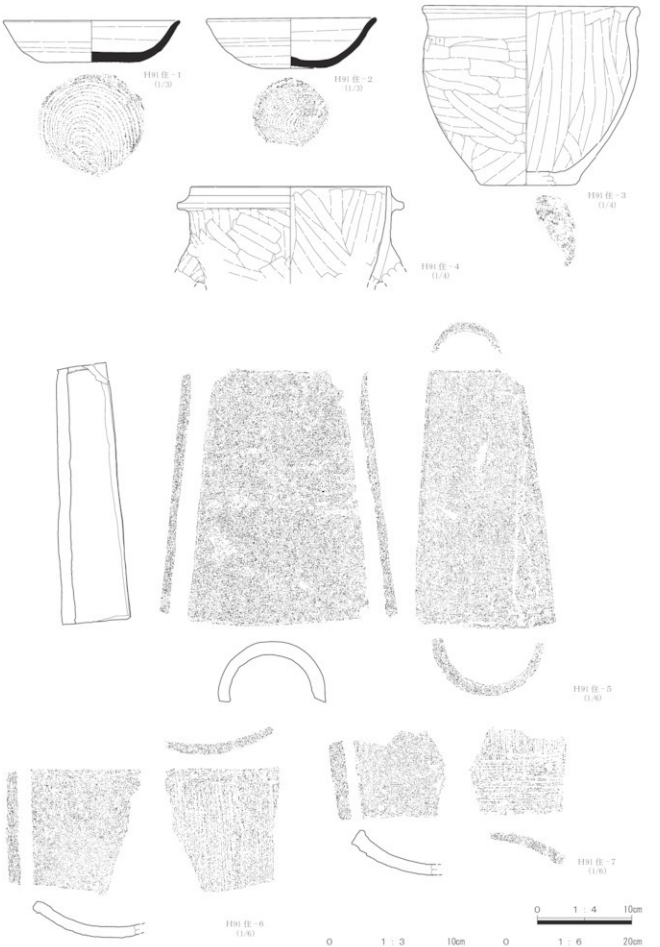
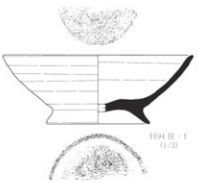
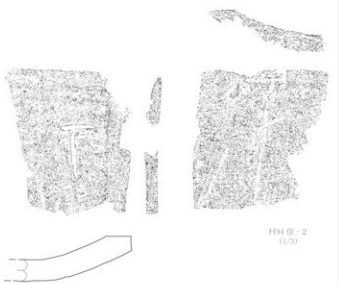


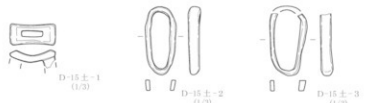
Fig. 37　遺物実測図（19）

H-94 号住居跡





D-15 号土坑



D-26 号土坑

D-35 号土坑

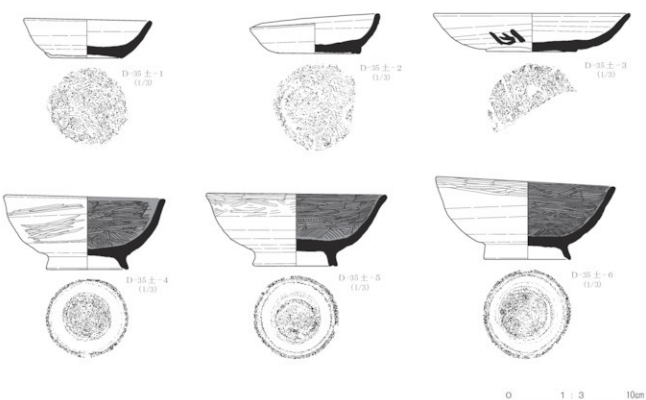


Fig. 38　遺物実測図（20）

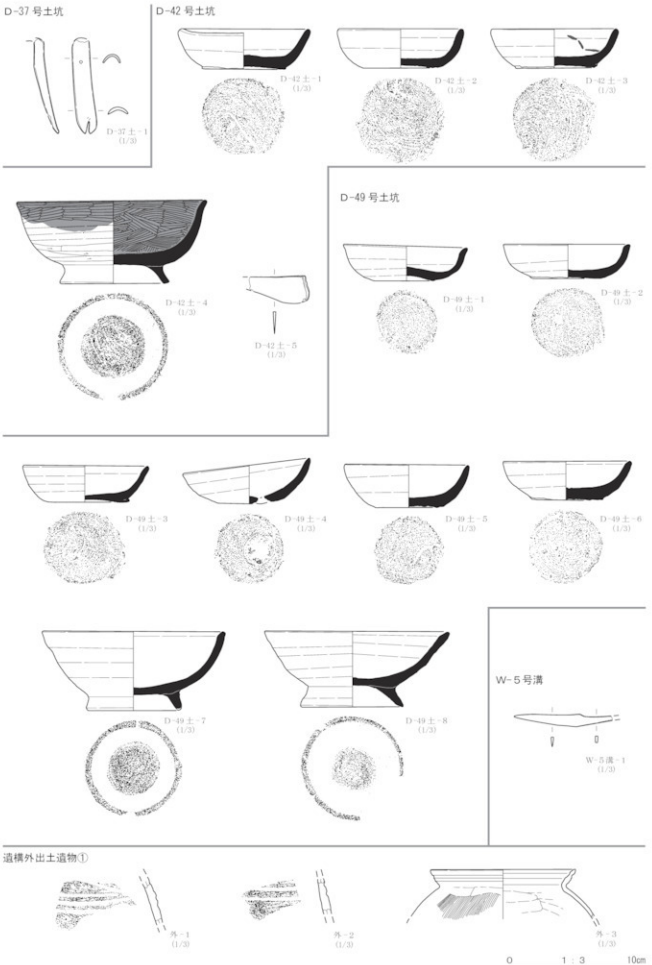


Fig. 39　遺物実測図（21）

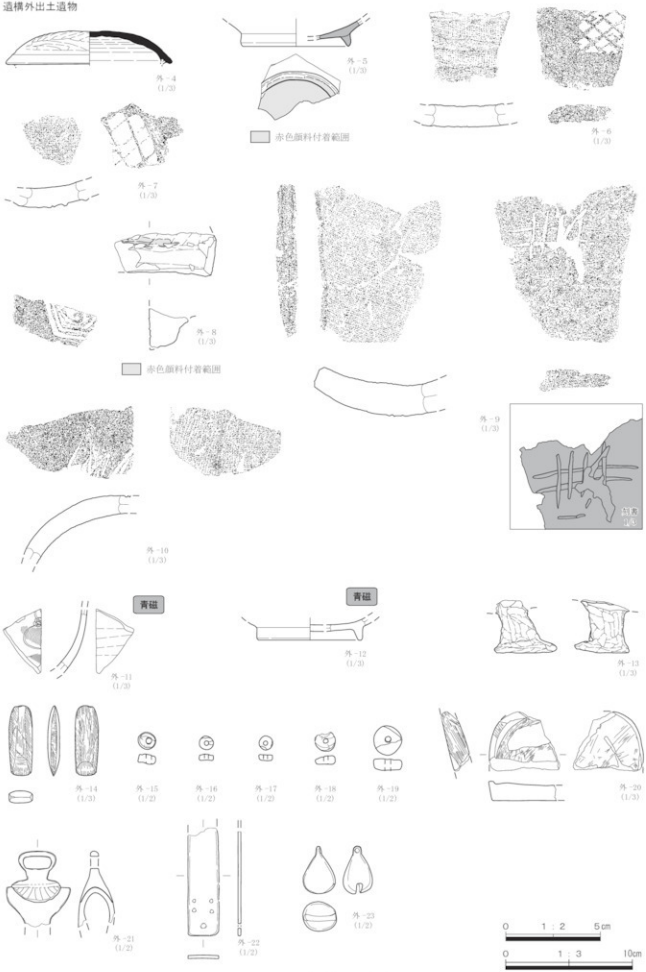


Fig.40 遺物実測図（22）

Tab. 5　出土遺物観察表（1）

遺構名	番号	器種	法量（cm）	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備　考
H-5	1	土師器 坏	口径：10.3 器高：3.2	①普通　②橙 ③白色粒・黒色粒・雲母 ④口縁～底部3/4	外面：口縁部横ナデ、体～底部篦ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
	2	須恵器 蓋	口径：8.3 摘み：1.5 器高：2.6	①還元焔　②灰 ③白色粒・黒色粒 ④口縁～摘み1/4	外面：ロクロ整形、天井部回転篦ケズリ。 内面：ロクロ整形。	
	3	須恵器 坏	口径：9.8 底径：5.7 器高：3.6	①還元焔　②灰 ③白色粒・黒色粒 ④口縁～底部3/4	外面：ロクロ整形、底部右回転篦切り後ナデ。 内面：ロクロ整形。	
H-6	1	不明鋼製 遺物	長さ6.9　幅2.1　厚さ0.75　重さ23.02g			
H-12	1	土師器 坏	口径：12.8 器高：4.7	①普通　②橙 ③白色粒・黒色粒・石英 ④口縁～底部1/2	外面：口縁部横ナデ、体～底部篦ナデ。 内面：口縁部横ナデ後放射状篦ミガキ、体部横ナデ、底部ナデ。	
	2	土師器 壺	口径：13.5	①普通　②橙 ③白色粒・褐色粒・黒色粒・礫 ④口縁～頸部2/3	外面：口縁部上位横ナデ後、下位篦ナデ後篦ミガキ。 内面：口縁部横ナデ後篦ミガキ、頸部篦ケズリ。	
	3	鉄製品 鉄滓	長さ11.7　幅0.75　厚さ0.45　重さ11.15g			
	4	鉄製品 釘	残存長　4.35　幅　0.45　厚さ　0.48　重さ　6.32g			
H-15	1	土師器 坏	口径：11.6 器高：3.8	①良好　②橙 ③褐色粒・黒色粒・雲母 ④ほぼ完形	外面：口縁部横ナデ、体部上位ナデ、下位～底部篦ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
	2	土師器 坏	口径：12.0 器高：4.5	①良好　②橙 ③褐色粒・雲母 ④口縁部一部欠損	外面：口縁部横ナデ、体部上位ナデ、下位～底部篦ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
	3	土師器 坏	口径：13.1 器高：4.6	①酸化焔　②橙 ③白色粒・黒色粒・角閃石 ④口縁～底部9/10	外面：口縁部横ナデ、体部上位ナデ、下位～底部篦ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	底部に径約5㎜の焼成前穿孔6穴あり
	4	須恵器 蓋	口径：11.5 器高：4.8	①還元焔　②灰黄 ③白色粒・黒色粒・礫 ④口縁～底部9/10	外面：ロクロ整形、天井部調整不明瞭、篦ナデか。 内面：ロクロ整形。	
	5	石製品 支脚	残存長：23.3　幅：12.05　厚さ：8.2　重さ：1,780g			
H-16	1	土師器 坏	口径：(18.9) 器高：8.0	①良好　②橙 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部～底部1/3	外面：口縁部横ナデ、体部～底部篦ケズリ。 内面：口縁部横ナデ後篦ナデ、体部～底部篦ナデ。	
	2	石製品 玉	長さ1.8　幅1.95　厚さ1.25　孔径0.25　重さ7.4g／緑色岩類。			
	3	石製品	長さ15.8　幅3.8　厚さ3.8重さ555.8g／蛇紋岩。			
H-17	1	石製品	残存長2.45　幅3.3　厚さ1.15　重さ5.7g／軽石。			
H-21	1	土師器 坏	口径：13.4 器高：3.8	①普通　②橙 ③白色粒・黒色粒・褐色粒・雲母・礫 ④口縁～底部2/3	外面：口縁部横ナデ、体～底部篦ケズリ。 内面：口縁部～体部横ナデ、底部ナデ。	
	2	土師器 甕	口径：18.6	①普通　②橙 ③白色粒・褐色粒・角閃石・礫 ④口縁～胴部上位7/8	外面：口縁部横ナデ、胴部篦ケズリ。 内面：口縁部横ナデ、胴部篦ナデ。	
H-26	1	土師器 坏	口径：11.4 器高：3.6	①普通　②橙 ③白色粒・角閃石・雲母 ④ほぼ完形	外面：口縁部横ナデ、体部～底部篦ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
	2	須恵器 蓋	口径：10.8 器高：3.5	①還元　②灰 ③白色粒 ④口縁部～天井部3/4	外面：ロクロ整形、天井部右回転篦ケズリ、中央部へラナデ。 内面：ロクロ整形。	
	3	土師器 甕	口径：16.4	①普通　②にぶい黄橙 ③白色粒・礫 ④口縁部～胴部下位3/4	外面：口縁部横ナデ、胴部篦ケズリ。 内面：口縁部横ナデ、胴部篦ナデ。	
H-27	1	土師器 坏	口径：10.7 器高：3.2	①普通　②橙 ③白色粒・角閃石・雲母 ④底部一部欠損	外面：口縁部横ナデ、体部上位ナデ、下位～底部篦ケズリ。 内面：口縁部～体部横ナデ、底部ナデ。	
	2	土師器 坏	口径：10.8 器高：3.5	①普通　②橙 ③白色粒・角閃石・雲母・礫 ④完形	外面：口縁部横ナデ、体部上位ナデ、下位～底部篦ケズリ。 内面：口縁部～体部横ナデ、底部ナデ。	

Tab. 6　出土遺物観察表（2）

遺構名	番号	器種	法量（cm）	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備　考
H-30	1	土師器 坏	口径：11.0 器高：4.6	①普通　②橙 ③白色粒・雲母 ④口縁部～底部3/4	外面：口縁部横ナデ、体部～底部篦ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
	2	土師器 坏	口径：12.1 器高：4.4	①普通　②橙 ③褐色粒 ④口縁部～底部5/6	外面：口縁部横ナデ、体部～底部篦ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
	3	土師器 坏	口径：12.0 器高：4.3	①普通　②橙 ③褐色粒・雲母 ④ほぼ完形	外面：口縁部横ナデ、体部～底部篦ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
	4	土師器 坏	口径：14.0 器高：4.6	①普通　②橙 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部～底部9/10	外面：口縁部横ナデ、体部～底部篦ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
	5	土師器 坏	口径：11.6 器高：3.8	①普通　②橙 ③褐色粒・雲母 ④完形	外面：口縁部横ナデ、体部～底部篦ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
	6	土師器 甕	口径：20.2 器高：35.5	①普通　②橙 ③褐色粒・礫 ④口縁部～底部5/6	外面：口縁部横ナデ、胴部～底部篦ケズリ。 内面：口縁部横ナデ、胴部～底部篦ナデ。	
	7	土師器 ミニチュア	口径：(5.8) 底径：5.0 器高：3.2	①普通　②にぶい黄橙 ③褐色粒・黒色粒 ④口縁部～底部5/7	外面：口縁部～体部ナデ、底部木葉痕。 内面：口縁～底部ナデ。	
	8	石製品 砥石	長さ6.85　幅2.6　厚さ2.6　重さ85.1ｇ			
	9	石製品 砥石	残存長5.8　幅9.8　厚さ5.3　重さ173.3ｇ			
H-32	1	土師器 甕	口径：19.2	①普通　②橙 ③白色粒・角閃石・礫 ④口縁～胴部下位9/10	外面：口縁部横ナデ、胴部篦ケズリ。 内面：口縁部横ナデ、胴部篦ナデ。	
H-35	1	土師器 坏	口径：13.4 器高：3.8	①普通　②にぶい橙 ③白色粒・雲母・礫 ④口縁部～底部2/3	外面：口縁部横ナデ、体部～底部篦ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
H-36	1	土師器 坏	口径：10.9 器高：3.9	①普通　②橙 ③褐色粒・黒色粒 ④ほぼ完形	外面：口縁部横ナデ、体部～底部篦ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
	2	土師器 坏	口径：12.2 器高：3.9	①普通　②橙 ③白色粒・褐色粒・雲母 ④口縁部～底部3./4	外面：口縁部横ナデ、体部～底部篦ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
	3	土師器 坏	口径：12.2 器高：4.3	①普通　②橙 ③褐色粒・雲母 ④口縁部～底部3/4	外面：口縁部横ナデ、体部～底部篦ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
	4	土師器 坏	口径：12.5 器高：4.7	①普通　②にぶい黄橙 ③褐色粒・角閃石・礫 ④ほぼ完形	外面：口縁部横ナデ、体部～底部篦ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
	5	須恵器 蓋	口径：10.9 器高：3.5	①還元　②黄灰 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部1/5欠損	外面：ロクロ整形、天井部手持ち篦ケズリ。 内面：ロクロ整形、天井部ナデ。	
	6	須恵器 蓋	口径：(12.4) 器高：3.5	①還元　②灰黄 ③白色粒 ④口縁部～天井部3/4	外面：ロクロ整形、天井部手持ち篦ケズリ。 内面：ロクロ整形。	
	7	土師器 甕	口径：(20.1)	①普通　②にぶい橙 ③褐色粒・雲母・礫 ④口縁部～胴部下位3/4	外面：口縁部横ナデ、胴部篦ケズリ。 内面：口縁部横ナデ、胴部篦ナデ。	
	8	土師器 甕	口径：19.6	①普通　②橙 ③白色粒・角閃石・石英・礫 ④口縁部～胴部中位残存	外面：口縁部横ナデ、胴部篦ケズリ。 内面：口縁部横ナデ、胴部篦ナデ。	
	9	土師器 甕	口径：22.5	①普通　②橙 ③白色粒・礫 ④口縁部～胴部下位3/4	外面：口縁部横ナデ、胴部篦ケズリ。 内面：口縁部横ナデ、胴部篦ナデ。胴部上位に2箇所焼成後穿孔。	
	10	須恵器 短頸壺	口径：(11.5) 器高：9.0	①還元　②灰 ③白色粒・礫 ④口縁部～底部9/10	外面：ロクロ整形、胴部上位カキメ、底部左回転篦ケズリ。 内面：ロクロ整形。	
	11	土師器 ミニチュア	口径：3.8 底径：4.6 器高：2.1	①普通　②にぶい黄橙 ③白色粒 ④口縁部～底部3/4	外面：口縁部～底部ナデ。 内面：口縁部～底部篦ナデ。	
H-40	1	須恵器 蓋	口径：(11.8) 器高：4.4	①還元　②灰 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部～天井部2/5	外面：ロクロ整形、天井部右回転篦ケズリ。 内面：ロクロ整形。	
H-41	1	須恵器 **甕**	口径：(14.4)	①還元　②黄灰 ③白色粒 ④口縁部1/4	外面：ロクロ整形、波状文、自然釉付着。 内面：ロクロ整形。	

Tab. 7　出土遺物観察表（3）

遺構名	番号	器種	法量（cm）	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備　考
H-41	2	鉄製品 刀子	残存長　8.1　幅　1.1　厚さ　0.3　重さ　6.22g／両関。			
H-44	1	土師器 坏	口径：13.2 器高：　5.0	①普通　②橙 ③褐色粒・黒色粒・雲母・礫 ④ほぼ完形	外面：口縁部横ナデ、体部～底部篦ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
	2	須恵器 蓋	口径：(14.6) 器高：　4.3	①還元　②灰 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部～天井部1/2	外面：ロクロ整形、天井部左回転篦ケズリ。 内面：ロクロ整形。	
	3	土師器 高坏	底径：(10.4)	①普通　②橙 ③白色粒・褐色粒・雲母 ④体部下位～脚部3/5	外面：体部～脚部篦ケズリ、裾部横ナデ。 内面：底部篦ナデ、脚部篦ナデ、裾部横ナデ。	
	4	須恵器 鉢		①還元　②灰 ③白色粒・黒色粒・礫 ④頭部～胴部下位1/3	外面：ロクロ整形、頭部波状文、胴部中位キザミ目。 内面：ロクロ整形。	
	5	土製品 玉	長さ1.6　幅1.55　厚さ0.8　重さ1.8g			
	6	石製品 紡錘車	上径4.2　下径1.3　厚さ0.9　孔径0.6　重さ20.5g／滑石。			
H-53	1	土師器 坏	口径：12.2 器高：　6.2	①普通　②明赤褐 ③礫 ④口縁部～底部4/5	外面：口縁部横ナデ、体部ナデ、底部篦ナデ。 内面：器面が荒れ調整不明瞭。	
	2	土師器 坏	口径：12.6 器高：　5.2	①普通　②外～明赤褐、内～黒褐　③白色粒・黒色粒・褐色粒・石英 ④完形	外面：口縁部横ナデ、体部～底部篦ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ後放射状篦ミガキ、底部ナデ。	
	3	土師器 坏	口径：15.4 器高：　6.9	①普通　②明赤褐 ③白色粒・角閃石・石英 ④口縁部～底部4/5	外面：口縁部横ナデ、体部上位ナデ、下位～底部篦ナデ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
	4	土師器 甕	口径：21.6 底径：　7.3 器高：31.4	①普通　②橙 ③白色粒・石英・礫 ④ほぼ完形	外面：口縁部横ナデ、胴部篦ケズリ、底部調整不明瞭。 内面：口縁部横ナデ、胴部～底部篦ナデ。	
	5	石製品 臼玉	長さ2.35　幅2.15　厚さ0.7／未成品／滑石。			
H-56	1	土師器 坏	口径：12.6 器高：　4.2	①普通　②橙 ③白色粒・褐色粒・礫 ④口縁部～底部3/4	外面：口縁部横ナデ、体部上位ナデ、下位～底部篦ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
H-58	1	土師器 坏	口径：11.1 器高：　3.9	①還元　②灰 ③白色粒・黒色粒・礫 ④口縁部～摘み3/5	外面：口縁部横ナデ、体部～底部篦ケズリ。 内面：口縁部～体部横ナデ、底部ナデ。	
	2	土師器 坏	口径：12.3 器高：　3.6	①普通　②にぶい黄橙 ③褐色粒・石英 ④口縁部1/10欠損	外面：口縁部横ナデ、体部上位ナデ、下位～底部篦ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
	3	須恵器 提瓶	口径：　7.4	①還元　②灰 ③白色粒・礫 ④口縁部～胴部上位2/3	外面：ロクロ整形、胴部カキ目。 内面：ロクロ整形。	
	4	土製品 支脚	長さ16.5　上端部径4.0　下端部径16.5／ほぼ完形。			
H-61	1	土師器 器台	口径：20.5 底径：16.2 器高：13.5	①普通　②橙 ③白色粒・角閃石・雲母・礫 ④口縁部～脚部7/8	外面：口脣部横ナデ、口縁部～脚部篦ミガキ、体部の段差部にカザミ目。 内面：口縁部～底部篦ミガキ、脚部上位ナデ、下位ハケメ。	
	2	土師器 S字口縁台付甕	口径：(9.4)	①普通　②にぶい黄 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部～胴部上位1/6	外面：口縁部横ナデ、胴部ハケメ。 内面：口縁横横ナデ、頸部ハケメ、胴部篦ナデ。	
	3	土師器 壺	口径：(24.2)	①普通 ②にぶい黄橙 ③白色粒・褐色粒・石英 ④口縁部1/6	外面：複合口縁部横ナデ、指頭痕、口縁部ハケメ。 内面：口縁部上位ハケメ、下位ナデ後篦ミガキ。	
H-71	1	土師器 坏	口径：(11.2) 器高：　4.8	①普通　②赤褐 ③白色粒・黒色粒・角閃石 ④口縁部～体部下位1/3	外面：口縁部横ナデ、体部上位ナデ、下位～底部篦ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ後放射状篦ミガキ、底部ナデ。	
H-72	1	土師器 高坏	口径：12.7	①普通　②明赤褐 ③白色粒・黒色粒・礫 ④口縁部～体部下位残存	外面：口縁部横ナデ、体部篦ナデ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
H-74	1	土師器 坏	口径：11.5 器高：　3.6	①普通　②橙 ③雲母・礫 ④口縁部～底部7/8	外面：口縁部横ナデ、体部～底部篦ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	

Tab. 8　出土遺物観察表（4）

遺構名	番号	器種	法量（cm）	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備　考
H-74	2	土師器 坏	口径：12.2 器高：3.9	①普通　②橙 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部～底部3/4	外面：口縁部横ナデ、体部～底部箆ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
	3	土師器 坏	口径：13.5 器高：3.8	①普通　②にぶい橙 ③白色粒・褐色粒・礫 ④口縁部1/6欠損	外面：口縁部横ナデ、体部～底部箆ケズリ。 内面：口縁～底部横ナデ、体部～底部放射状箆ミガキ。	
	4	土師器 高坏	底径：(14.8)	①普通　②橙 ③白色粒・黒色粒・褐色粒・礫　④脚部3/4	外面：脚部箆ケズリ、裾部横ナデ。 内面：脚部上位ナデ、中位～下位箆ケズリ、裾部横ナデ。	
	5	土師器 甕	口径：19.3 底径：5.6 器高：13.4	①普通　②にぶい黄橙 ③白色粒・礫 ④口縁部～底部7/8	外面：口縁部横ナデ、胴部箆ケズリ。 内面：口縁部横ナデ、胴部箆ナデ。	
	6	土師器 甕	口径：21.8 底径：6.4 器高：13.5	①普通　②にぶい黄橙 ③白色粒・角閃石・礫 ④口縁部～底部3/4	外面：口縁部横ナデ、胴部～底部箆ケズリ。 内面：口縁部横ナデ、胴部～底部箆ナデ。	
	7	土師器 甕	口径：26.4	①普通　②橙 ③白色粒・黒色粒・礫 ④口縁部～胴部下位1/3	外面：口縁部横ナデ、胴部箆ケズリ。 内面：口縁部横ナデ、胴部箆ナデ。	
	8	土製品 土錘	長さ6.2　径1.7　重さ14.5g			
	9	円盤状 石製品	長さ16.5　上端部径4.0　下端部径16.5／軽石。			
	10	鉄製品 刀子	長さ9.3　幅1.2　厚さ0.45　重さ7.74g／銅製鞘装着。柄部に木質遺存。			
	11	鉄製品 鉄鏃	長さ9.45　幅1.65　厚さ0.54　重さ17.80g			
H-75	1	土師器 坏	口径：10.4 器高：5.5	①普通　②明赤褐 ③石英・礫 ④口縁部～底部7/8	外面：口縁部～体部上位横ナデ、下位～底部箆ケズリ。 内面：口縁横ナデ、体部～底部ナデ。	
H-78	1	土師器 坏	口径：13.5 器高：4.2	①普通　②橙 ③白色粒・雲母 ④完形	外面：口縁部横ナデ、体部～底部箆ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
	2	須恵器 蓋	口径：(12.8) 摘み：(1.6) 器高：4.2	①還元　②灰 ③白色粒・黒色粒・礫 ④口縁部～摘み3／5	外面：ロクロ整形、天井部右回転箆ケズリ。 内面：ロクロ整形。	
	3	土師器 甕	口径：18.8 底径：5.1 器高：26.2	①普通　②橙 ③白色粒・角閃石・礫 ④口縁部～底部3/4	外面：口縁部横ナデ、胴部～底部箆ケズリ。 内面：口縁横ナデ、胴部～底部箆ナデ。	
	4	土師器 甕	口径：22.2 底径：4.3 器高：37.0	①普通　②橙 ③白色粒・褐色粒・角閃石・礫　④口縁部2/3欠損	外面：口縁部横ナデ、胴部～底部箆ケズリ。 内面：口縁部横ナデ、胴部～底部箆ナデ。	胴部下位に粘土付着。
	5	土師器 甕	口径：23.6	①普通　②にぶい橙 ③白色粒・褐色粒・雲母・礫 ④口縁部～胴部下位4/5	外面：口縁部横ナデ、胴部箆ケズリ。 内面：口縁部横ナデ、胴部箆ナデ。	
	6	須恵器 甕	口径：(11.2)	①還元　②灰黄 ③白色粒 ④口縁部～天井部3/4	外面：ロクロ整形。 内面：ロクロ整形、胴部青海波文。	
	7	石製品 磨石	長さ8.1　幅7.8　厚さ2.75　重さ245.2g／安山岩。			
H-80	1	土師器 坏	口径：10.9 器高：3.3	①普通　②橙 ③白色粒・雲母・礫 ④口縁部～底部9/10	外面：口縁部横ナデ、体部～底部箆ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
	2	土師器 坏	口径：11.2 器高：3.4	①普通　②明褐 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部一部欠損	外面：口縁部横ナデ、体部上位ナデ、下位～底部箆ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
	3	土師器 坏	口径：11.6 器高：3.3	①普通　②にぶい橙 ③白色粒・黒色粒・石英・礫 ④口縁部一部欠損	外面：口縁部横ナデ、体部上位ナデ、下位～底部箆ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
	4	土師器 坏	口径：12.2 器高：4.6	①普通　②明赤褐 ③白色粒・黒色粒・雲母 ④口縁部一部欠損	外面：口縁部横ナデ、体部～底部箆ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
	5	土師器 鉢	口径：22.0 器高：8.9	①普通　②明赤褐 ③白色粒・黒色粒・雲母 ④口縁部～底部7/8	外面：口縁部横ナデ、体部～底部箆ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
	6	石製品 臼玉	径0.8　厚さ0.4　重さ0.4g／滑石。			
	7	石製品 臼玉	径0.75　厚さ0.4　重さ0.4g／滑石。			

Tab. 9　出土遺物観察表（5）

遺構名	番号	器種	法量（cm）	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備　考
H-80	8	石製品 臼玉	径0.95　厚さ0.5　重さ0.5ｇ／滑石。			
	9	石製品 臼玉	径1.0　厚さ0.35　重さ0.6ｇ／滑石。			
	10	滑製 耳環	長さ　1.3　幅　1.45　厚さ　0.25　重さ　0.63g			
H-82	1	土師器 坏	口径：12.4 器高：　4.1	①普通　②橙 ③石英・礫 ④口縁部～底部4/5	外面：口縁部横ナデ、体部～底部篦ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ後放射状篦ミガキ。	
	2	須恵器 壷	口径：(14.0) 器高：　4.2	①還元　②灰 ③白色粒・黒色粒・礫 ④口縁部～天井部3./4	外面：ロクロ整形、天井部右回転篦ケズリ。 内面：ロクロ整形。	
	3	土師器 高坏	口径：18.1	①普通　②橙 ③白色粒・角閃石・礫 ④口縁部～底部3/4	外面：口縁部横ナデ、体部篦ナデ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
	4	土師器 小型甕	口径：12.4 底径：　5.2 器高：11.8	①普通　②にぶい橙 ③白色粒・礫 ④完形	外面：口縁部横ナデ、胴部～底部篦ケズリ。 内面：口縁部横ナデ、胴部～底部篦ナデ。	
	5	土師器 甕	口径：19.7 底径：　4.0 器高：34.3	①普通　②にぶい橙 ③白色粒・褐色粒・雲母・礫 ④口縁部～胴部下位4/5	外面：口縁部横ナデ、胴部～底部篦ケズリ。 内面：口縁部横ナデ、胴部～底部篦ナデ。	胴部中位に黒土付着。
	6	土師器 甕	口径：19.0 底径：　3.8 器高：33.4	①還元　②灰黄 ③白色粒 ④口縁部～天井部3/4	外面：口縁部横ナデ、胴部～底部篦ケズリ。 内面：口縁部横ナデ、胴部～底部篦ナデ。	
	7	石製品 玉	残存長1.25　残存幅1.6　残存厚1.1　重さ1.5ｇ／緑色岩類。			
	8	鉄製品 釘	長さ　3.7　幅　0.95　厚さ　0.25　重さ　1.34g／頂部が扁平に潰れる。			
H-84	1	土師器 坏	口径：10.6 器高：　3.3	①普通　②橙 ③白色粒・黒色粒・雲母 ④口縁部～体部一部欠損	外面：口縁部横ナデ、体部上位ナデ、下位～底部篦ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
H-85	1	土師器 坏	口径：13.4 器高：　5.2	①普通　②橙 ③白色粒・褐色粒・雲母 ④口縁部～底部9/10	外面：口縁部横ナデ、体部～底部篦ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ、口縁部～底部放射状篦ミガキ。	
	2	土師器 甕	口径：16.2	①普通　②にぶい黄橙 ③白色粒・礫 ④口縁部～胴部下位7/8	外面：口縁部横ナデ、胴部篦ケズリ。 内面：口縁～胴部上位横ナデ、胴部篦ケズリ。	
	3	土師器 ミニチュア	口径：　2.1 底径：　1.9 器高：　1.8	①普通　②にぶい黄橙 ③白色粒 ④完形	外面：口縁部ナデ、体部～底部篦ナデ。 内面：口縁～底部ナデ。	
	4	切子玉状 石製品	長さ2.45　幅1.15　厚さ1.0　重さ4.2ｇ／未製品。滑石。			
	5	切子玉状 石製品	長さ2.45　幅1.1　厚さ1.1　重さ4.3ｇ／未製品。滑石。			
H-95	1	土師器 坏	口径：10.9 器高：　4.3	①普通　②橙 ③白色粒・褐色粒・礫 ④口縁部～底部4/5	外面：口縁部横ナデ、体部上位ナデ、下位～底部篦ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
	2	土師器 坏	口径：12.9 器高：　4.3	①普通　②橙 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部一部欠損	外面：口縁部横ナデ、体部～底部篦ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
	3	石製品 臼玉	径1.45　厚さ0.8　重さ2.3／滑石製。			
H-96	1	土師器 坏	口径：(12.3) 器高：　5.0	①普通　②橙 ③白色粒・褐色粒・礫 ④口縁部～底部1/4	外面：口縁部横ナデ、体部上位ナデ、下位～底部篦ケズリ。 内面：口縁～底部篦ミガキ。	
	2	鉄製品 鏃子	残存長4.3　幅0.85　厚さ0.7　重さ5.59g			
H-97	1	土師器 坏	口径：15.0 器高：　4.3	①普通　②明赤褐 ③白色粒・黒色粒 ④完形	外面：口縁部横ナデ、体部～底部篦ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
H-98	1	土師器 坏	口径：11.4 器高：　3.6	①普通　②橙 ③白色粒・黒色粒・褐色粒・礫　④口縁部～底部4/5	外面：口縁部横ナデ、体部上位ナデ、下位～底部篦ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
	2	土師器 坏	口径：12.7 器高：　4.2	①普通　②橙 ③白色粒・褐色粒・雲母 ④口縁部～底部7/8	外面：口縁部横ナデ、体部上位ナデ、下位～底部篦ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
	3	土師器 坏	口径：12.4 器高：　3.7	①普通　②橙 ③褐色粒・礫 ④口縁部～底部9/10	外面：口縁部横ナデ、体部篦ナデ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	

Tab. 10　出土遺物観察表（6）

遺構名	番号	器種	法量（cm）	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備　考
H-98	4	土師器 甕	口径：(24.0) 底径：　6.0 器高：33.5	①普通　②にぶい橙 ③褐色粒・雲母・礫 ④口縁部～底部3/4	外面：口縁部横ナデ、胴部篦ケズリ後篦ナデ、底部篦ケズリ。 内面：口縁部横ナデ、胴部～底部篦ナデ。	
	5	土師器 甕	口径：17.8	①普通　②橙 ③白色粒・黒色粒・角閃石 ④口縁部～胴部中位残存	外面：口縁部横ナデ、胴部篦ケズリ。 内面：口縁部横ナデ、胴部篦ナデ。	
	6	土師器 台付甕	口径：13.6 底径：11.5 器高：19.5	①還元　②灰黄 ③白色粒 ④口縁部～天井部3/4	外面：口縁部横ナデ、胴部篦ケズリ、台部篦ナデ、胴部横ナデ。 内面：口縁部横ナデ、胴部～底部篦ナデ、台部ナデ、胴部横ナデ。	
H-99	1	土師器 坏	口径：11.7 器高：　4.1	①普通　②橙 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部～底部3/5	外面：口縁部横ナデ、体部～底部篦ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
	2	土師器 甕	口径：21.2	①普通　②にぶい橙 ③白色粒・礫 ④口縁部～胴部上位2/3	外面：口縁部横ナデ、胴部篦ケズリ。 内面：口縁部横ナデ、胴部篦ナデ。	
H-100	1	土師器 坏	口径：10.5 器高：　4.0	①普通　②橙 ③白色粒・褐色粒・礫 ④完形	外面：口縁部横ナデ、体部～底部篦ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ、底部ナデ。	
	2	土師器 甕	口径：(14.0) 器高：　4.2	①普通　②にぶい黄橙 ③白色粒・黒色粒・角閃石 ④口縁部～底部9/10	外面：口縁部横撫ナデ、胴部～底部篦ケズリ。 内面：口縁部横ナデ、胴部～底部篦ナデ。	
	3	切子玉状 石製品	長さ1.8　幅1.05　厚さ1.0　孔径0.25　重さ3.1ｇ／滑石。			
H-2	1	須恵器 坏	口径：10.1 底径：　4.9 器高：　3.6	①酸化焔気味　②橙 ③白色粒・黒色鉱物 ④ほぼ完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部は回転糸切り後に粘土を足し、さらに右回転糸切り。 内面：轆轤整形。	
	2	鉄製品 鉄鏃	長さ6.3　幅0.75　厚さ0.45　重さ8.74g			
H-3	1	羽釜	口径：(21.5)	①酸化焔気味　②橙 ③チャート・黒色鉱物 ④口縁～体部1/3	外面：口縁部轆轤整形後指頭痕・爪形の圧痕。胴部轆轤成形後篦削り後ナデ。鍔貼付け。 内面：轆轤整形後篦ナデ。	
H-4	1	須恵器 坏	口径：　8.4 底径：　4.4 器高：　1.9	①酸化焔気味　②にぶい橙 ③白色粒・黒色粒・黒色鉱物 ④完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部回転糸切り後ナデ。 内面：轆轤整形。	
	2	須恵器 坏	口径：(8.65) 底径：　4.9 器高：　1.8	①酸化焔気味　②にぶい橙 ③白色粒・黒色鉱物 ④5/6	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。	
	3	須恵器 坏	口径：　9.8 底径：　6.4 器高：　2.5	①酸化焔気味　②にぶい黄橙 ③白色粒・赤色粒 ④ほぼ完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部右回転糸切り後一部ナデ。 内面：轆轤整形。	
	4	須恵器 坏	口径：15.6 底径：　7.3 器高：　4.9	①酸化焔気味　②にぶい褐 ③白色粒・黒色鉱物 ④ほぼ完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部左回転糸切り後棒状圧痕。 内面：轆轤整形。	
	5	須恵器 黒色処理椀	口径：(9.2) 底径：(4.6) 器高：(2.6)	①酸化焔　②にぶい黄橙 ③白色粒・チャート・黒色鉱物　④1/2	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ後底部高台貼付後回転ナデ。 内面：轆轤整形後ミガキ。	
	6	須恵器 椀	口径：　9.2 底径：　5.0 器高：　3.4	①酸化焔　②明赤褐 ③白色粒・チャート・黒色粒・黒色鉱物　④完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ後口縁部ミガキ。底部高台貼付後回転ナデ。 内面：轆轤整形後ミガキ。	
	7	須恵器 椀	口径：(15.4) 底径：　(7.7) 器高：　(5.6)	①酸化焔気味　②にぶい黄橙 ③白色粒・石英・チャート・角閃石・黒色鉱物　④3/4	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部高台貼付後回転ナデ。 内面：轆轤整形。	
	8	土釜	口径：(28.1)	①酸化焔　②にぶい橙 ③白色粒・チャート・黒色鉱物　④2/3	外面：口縁部ヨコナデ。頭部指頭痕。体部篦削り後上位篦ナデ。輪積み痕残る。 内面：口縁部ヨコナデ。体部篦ナデ。	
	9	丸瓦	長さ：37.2 幅　：18.1 厚さ：　2.4	①還元焔　②灰 ③石英・チャート・片岩 ④ほぼ完形	凸面：篦ナデ。「子下」の刻書。凹面：布目痕。広端面：篦ナデ。狭端面：篦ナデ。側面：篦ナデ。	
	10	平瓦	長さ：<35.7> 幅　：<19.1> 厚さ：　1.7	①還元焔　②灰 ③白色粒・チャート ④狭端部欠	凹面：布目痕後一部指ナデ。凸面：篦ナデ。広端部：篦ナデ。側面：篦ナデ。	
	11	平瓦	長さ：<12.5> 幅　：<11.5> 厚さ：　2.4	①酸化焔気味　②にぶい黄橙 ③白色粒・チャート ④端部欠	凹面：布目痕。凸面：篦ナデ後刻書。	二次被熱痕が認められる
	12	平瓦	長さ：<32.9> 幅　：<16.7> 厚さ：　2.4	①還元焔気味　②浅黄 ③白色粒・黒色粒 ④広端部左側	凹面：布目痕。糸切り痕。凸面：縄叩き後広端部付近篦ナデ。広端部：篦ナデ。側面：篦ナデ。	二次被熱痕が認められる

Tab.11　出土遺物観察表（７）

遺構名	番号	器種	法量（cm）	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備　考
H-4	13	平瓦	長さ：〈30.0〉 幅　：〈16.9〉 厚さ：　1.8	①還元焔　②浅黄 ③白色粒・石英・黒色粒 ④狭端部左側	凹面：布目痕。凸面：縄叩き後狭端部付近篦ナデ。狭端部:布目痕後篦ナデ。側面:篦ナデ。	
	14	鉄製品 紡錘	長さ25.35　幅0.6　厚さ0.6　重さ26.87g／ほぼ完形。			
	15	鉄製獣脚	長さ3.9　幅1.95　厚さ1.35　重さ37.51g			
	16	鉄製獣脚	長さ3.75　幅2.4　厚さ1.65　重さ51.94g			
H-9	1	須恵器 坏	口径：　9.2 底径：　4.7 器高：　1.9	①酸化焔気味　②橙 ③白色粒・チャート・黒色鉱物　④完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。	
	2	灰釉陶器 椀	口径：（15.7） 底径：（8.2） 器高：　6.4	①堅緻　②灰白 ③黒色粒 ④1/3	外面：轆轤整形後高台貼付。口縁部に灰釉。 内面：轆轤整形。見込み部摩耗。口縁部～体部に灰釉。	二次被熱痕が認められる
	3	羽釜	口径：（21.0） 器高：〈15.2〉	①酸化焔　②にぶい赤褐 ③白色粒・石英・チャート・黒色粒・黒色鉱物 ④口縁～体部1/3	外面：口唇部に棒状圧痕。口縁部轆轤整形。体部轆轤成形後鍔削り。鍔貼付。 内面：轆轤整形後弱いナデ。	
	4	石製品 台石	長さ33.85　幅28.7　厚さ11.6　重さ15890g／ほぼ完形。大型礫の表・裏面中央に摩耗痕。周縁の一部に剥離痕が認められる。被熱による破砕痕が認められる。安山岩。			
	5	鉄製品 刀子	長さ8.4　幅1.2　厚さ0.25　重さ9.21g／無関。			
	6	鉄製品 小札	残存長6.55　幅1.48　厚さ0.2　重さ5.15g			
	7	鉄製品 小札	残存長5.3　幅1.7　厚さ0.2　重さ10.10g／H９住−８と癒着。重さは２点の合計。			
	8	鉄製品 小札	残存長2.4　幅1.8　厚さ0.2／H４住−７と癒着。			
	9	鉄製品 小札	残存長3.8　幅1.9　厚さ0.2　重さ6.15g			
	10	鉄製品 小札	残存長3.6　幅1.8　厚さ0.2　重さ17.92g／H９住−11・12と癒着。重さは３点の合計。			鍛造剥片付着。
	11	鉄製品 小札	残存長3.4　幅1.7　厚さ0.2／H９住−10・12と癒着。			鍛造剥片付着。
	12	鉄製品 小札	残存長4.0　幅1.4　厚さ0.2／H９住−10・11と折曲がった状態で癒着している。			鍛造剥片付着。
	13	鉄製品 小札	残存長4.25　幅2.5　厚さ0.2　重さ6.03g			
	14	鉄製品 小札	残存長2.4　幅1.75　厚さ0.1　重さ1.47g			
	15	鉄製品 小札	残存長4.5　幅1.6　厚さ0.1　重さ3.79g			
	16	鉄製品 小札	残存長3.2　幅1.9　厚さ0.2　重さ3.1g			
	17	鉄製品 小札	残存長3.45　幅1.7　厚さ0.1　重さ2.53g			
	18	鉄製品 小札	残存長2.75　幅1.63　厚さ0.13　重さ2.37g			
	19	鉄製品 小札	残存長3.1　幅2.2　厚さ0.2　重さ2.91g			
	20	鉄製品 小札	残存長6.5　幅1.3　厚さ0.184　重さ4.23g			
	21	鉄製品 小札	残存長5.4　幅1.8　厚さ0.15　重さ5.58g			
	22	鉄製品 小札	残存長5.3　幅1.7　厚さ0.15／23と癒着。２点合計の重さは8.28g。			
	23	鉄製品 小札	残存長3.1　幅　厚さ0.15／22と癒着。			
	24	鉄製品 小札	残存長9.3　幅2.2　厚さ0.16　重さ7.93g			
	25	鉄製品 小札	残存長2.8　幅1.8　厚さ0.17　重さ4.98g			
	26	鉄製品 小札	残存長4.9　幅1.8　厚さ0.12　重さ4.96g			
	27	鉄製品 小札	長さ8.5　幅1.45　厚さ0.13／28と癒着。２点合計の重さは16.53g。ほぼ完形。			

Tab. 12　出土遺物観察表（8）

遺構名	番号	器種	法量（cm）	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備　考
H-9	28	鉄製品 小札	長さ8.75　幅1.45　厚さ0.13／27と癒着。ほぼ完形。			
	29	鉄製品 小札	長さ6.0　幅1.8　厚さ0.11　重さ4.85g／完形。			
	30	鉄製品 小札	残存長6.6　幅1.8　厚さ0.18　重さ5.47g			
	31	鉄製品 小札	長さ8.9　幅2.3　厚さ0.15　重さ18.62g／完形。			
	32	鉄製品 小札	残存長6.0　幅1.4　厚さ0.15　重さ5.49g			
	33	鉄製品 小札	残存長2.2　幅2.13　厚さ0.11　重さ1.67g			
	34	鉄製品 釘	長さ5.6　幅0.8　厚さ0.35　重さ2.91g／頂部が扁平に潰れる。			
H-10	1	須恵器 椀 （灯明具）	口径：（11.5） 底径：（6.4） 器高：　4.9	①酸化燄　②橙 ③白色粒・石英・チャート ④2/3	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部回転糸切り後高台貼付け。 内面：轆轤整形。	口唇部に油煙付着。
	2	灰釉陶器 鉢	口径：(34.2)	①堅緻　②灰白 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部1/7	外面：轆轤整形。 内面：轆轤整形。 残存部分に限り、内外面灰釉。	
	3	不明鉄製品	残存長3.8　残存幅3.4　厚さ0.85　重さ20.44g／板状で端部は脚台状を呈する。			
H-14	1	須恵器 坏	口径：（9.8） 底径：　5.4 器高：　3.0	①還元焔気味　②淡黄 ③白色粒・石英・黒色粒 ④ほぼ完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。	
	2	須恵器 坏	口径：(16.3) 底径：　9.0 器高：　4.7	①酸化焔気味　②にぶい黄橙 ③白色粒・チャート・角閃石 ④口縁部1/6～底部	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部回転糸切り後粘土付着。 内面：轆轤整形。	
	3	土製品 紡錘車	長さ：　6.95 幅：　6.80 厚さ：　1.10	①還元焔気味 ②浅黄 ③白色粒・チャート・黒色粒 ④ほぼ完形	須恵器坏底部転用による紡錘車。外面には右回転糸切り、内面には轆轤整形痕が残る。側面は顕著に摩耗する。中央に両面からの穿孔（φ1.25cm）。	須恵器坏を転用。
	4	鉄製品 鉄鏃	長さ10.35　幅1.95　厚さ0.45　重さ16.86			
	5	鉄製品 鉄鏃	長さ15.6　幅2.25　厚さ0.3　重さ24.57／完形。			
	6	鉄製品 鐏子	長さ8.15　幅1.1　厚さ0.65　重さ9.46g			
	7	不明鉄製品	長さ5.0　幅2.7　厚さ0.53　重さ25.29g			
	8	鉄製品 釘	長さ18.7　幅1.0　厚さ0.72　重さ63.56g／頂部欠損。			
H-19	1	須恵器 坏	口径：(12.4) 底径：　5.2 器高：　4.1	①酸化焔気味　②にぶい黄橙 ③白色粒・石英 ④3/4	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。	
	2	須恵器 黒色処理椀	口径：15.0 底径：　7.1 器高：　5.5	①酸化焔　②にぶい橙 ③チャート・黒色粒 ④3/4	外面：轆轤整形後体部下位回転箆削り。底部高台貼付後回転ナデ。 内面：轆轤整形後ミガキ。	
	3	鉄製品 鏃具	長さ5.85　幅4.2　厚さ0.6　重さ29.43g／完形。			
H-23	1	須恵器 坏	口径：　9.8 底径：　4.9 器高：　3.4	①酸化焔　②橙 ③白色粒・チャート・黒色粒 ④完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。	
	2	須恵器 黒色処理椀	口径：(14.3) 底径：(6.5) 器高：　5.5	①酸化焔　②橙 ③白色粒・チャート・黒色粒 ④3/4	外面：轆轤整形後体部下位回転箆削り。底部左回転糸切り後高台貼付。 内面：轆轤整形後ミガキ。	
	3	鉄製品 釘	長さ4.2　幅1.5　厚さ0.75　重さ7.89g			
H-24	1	須恵器 椀	口径：(15.5)	①酸化焔　②にぶい黄橙 ③白色粒・チャート・黒色粒・雲母　④口縁部1/2～底部・高台剥落	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部回転糸切り後高台貼付。 内面：轆轤整形。	二次被熱痕が認められる。
	2	銅製品 鐏子	長さ4.2　幅3.9　厚さ0.2　重さ7.43g			
H-28	1	須恵器 坏	口径：　9.3 底径：　4.4 器高：　2.7	①酸化焔気味 ②浅黄橙 ③白色粒・チャート・黒色粒 ④完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部右回転糸切り。底部の回転糸切りを失敗し、再度粘土を底部に充填し糸切りした可能性を有する。 内面：轆轤整形。	

Tab.13　出土遺物観察表（9）

遺構名	番号	器種	法量（cm）	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備　考
H-28	2	須恵器 坏	口径：10.0 底径：5.8 器高：1.8	①酸化焔気味　②にぶい黄橙 ③白色粒・チャート・黒色粒・赤色粒　①ほぼ完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。	
	3	須恵器 坏 （灯明具）	口径：13.8 底径：6.5 器高：3.3	①酸化焔気味　②にぶい黄橙 ③白色粒・角閃石 ④ほぼ完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。油煙付着。	
	4	土釜	口径：23.0	①酸化焔　②橙 ③白色粒・石英・チャート ④口縁～体部1/3	外面：口縁部横ナデ後指頭痕。体部強削り後箆ナデ。 内面：箆ナデ。輪積み痕が顕著に残る。	
	5	須恵器 甕	口径：22.2	①酸化焔気味　②にぶい橙 ③白色粒・チャート・黒色粒 ④口縁部1/5	外面：轆轤整形後口縁部に波状文。 内面：轆轤整形。表面の調整顕著。	
	6	丸瓦	長さ：(24.3) 幅：18.5 厚さ：1.7	①還元焔　②灰 ③白色粒・チャート ④広端部	凸面：縄叩き後箆ナデ。凹面：布目痕。糸切り痕。広端部：糸切り痕後箆ナデ。側面：箆ナデ。	二次被熱痕が認められる。
	7	平瓦	長さ：41.3 幅：27.7 厚さ：2.0	①酸化焔気味　②浅黄 ③白色粒・チャート ④2/3	凹面：布目痕・糸切り痕後箆ナデ・指ナデ。 凸面：縄叩き後箆ナデ。狭端部：箆ナデ。広端部：箆ナデ。側面：箆ナデ。	
	8	土製品 紡錘車	長さ：4.9 幅：4.8 厚さ：0.9	①酸化焔気味　②橙 ③白色粒・チャート ④完形	須恵器坏底部転用による紡錘車。外面には右回転糸切り、内面には轆轤整形痕が残る。側面は顕著に摩耗する。外面中央からの穿孔（φ0.7cm）が貫通せずに止まる。	未成品。須恵器坏を転用。
	9	土製品 紡錘車	長さ：5.8 幅：4.8 厚さ：1.0	①酸化焔　②橙 ③白色粒・石英・チャート・黒色鉱物 ④ほぼ完形	内・外・側面とも全体的に摩耗する。	未成品。須恵器坏を転用。
	10	鉄製品 鎌	長さ15.6　幅3.1　厚さ0.2　重さ31.22g／完形。			
H-29	1	須恵器 坏	口径：10.7 底径：6.3 器高：3.1	①酸化焔気味　②浅黄橙 ③白色粒・石英・チャート・黒色鉱物　④完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。	
H-31	1	須恵器 坏	口径：11.4 底径：4.2 器高：4.1	①還元焔気味　②灰白 ③白色粒・チャート・黒色鉱物 ④完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ後体部下端箆ケズリ。底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。	須恵器椀（高台剥落）の可能性あり。
	2	須恵器 坏	口径：11.7 底径：5.4 器高：4.1	①酸化焔気味 ②にぶい橙 ③白色粒・チャート・黒色鉱物 ④口縁1/3欠	外面：轆轤成形後体部箆ナデ後底部～口縁部に粘土を螺旋状に付け足す。粘土付け足し後口縁部横ナデ後体部指ナデ後底部箆ナデ。口唇部欠損部分を一部磨滅させ、再利用させている。 内面：轆轤整形。	
	3	須恵器 坏	口径：11.8 底径：5.4 器高：4.0	①酸化焔気味　②にぶい橙 ③白色粒・チャート・角閃石 ④口縁1/4欠	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。	
	4	須恵器 椀	口径：12.7 底径：7.0 器高：4.9	①還元焔気味　②暗灰黄 ③白色粒・チャート・片岩 ④完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部回転糸切り後高台貼付。 内面：轆轤整形。	
	5	須恵器 椀	口径：13.0 底径：6.75 器高：5.2	①酸化焔気味　②にぶい黄橙 ③白色粒・黒色鉱物 ④ほぼ完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部回転糸切り後高台貼付。 内面：轆轤整形。	
	6	須恵器 椀	口径：15.1 底径：9.0 器高：6.55	①酸化焔気味 ②にぶい黄橙 ③白色粒・黒色鉱物・雲母 ④口縁1/4欠	外面：轆轤成形後箆ナデ後底部～口縁部に粘土を螺旋状に付け足す。粘土付け足し後体部指ナデ後口縁部ヨコナデ。底部回転糸切り後高台貼付。 内面：轆轤整形。	
	7	須恵器 耳皿	口径：11.0 底径：8.2 器高：4.6	①還元焔 ②黄灰 ③白色粒・黒色鉱物 ④体部～底部	外面：轆轤整形後体部ナデ。底部回転糸切り後高台貼付。底部全面に煤付着。 内面：轆轤整形。 須恵器椀の口縁部を打ち欠いて耳皿へ転用している。打ち欠き部分は丁寧に磨いている。	須恵器椀を転用。
	8	羽釜	口径：(20.6) 器高：(10.4)	①酸化焔　②にぶい赤褐 ③白色粒・チャート ④口縁部1/4	外面：轆轤整形後体部指ナデ。鍔貼付。鍔の先端に一部箆ナデ。 内面：轆轤整形。	
H-39	1	須恵器 椀	口径：15.2 底径：8.2 器高：5.2	①酸化焔気味　②にぶい橙 ③白色粒・チャート・黒色鉱物　④3/4	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部高台貼付け後ナデ。 内面：轆轤整形。	

Tab. 14　出土遺物観察表（10）

遺構名	番号	器種	法量（cm）	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備　考
H-39	2	羽釜	口径：(23.6) 器高：<16.2>	①酸化焔　②にぶい橙 ③白色粒・石英・チャート・黒色鉱物　④口縁～体部 1/3	外面：口縁部轆轤整形。体部轆轤整形後ナデ。鍔貼付。 内面：轆轤整形。	
	3	石製品 紡錘車	長さ3.2　幅3.5　厚さ1.4　重さ21.87／完形。	両面穿孔。削り調整による成形後研磨による仕上げ。蛇紋岩。		
	4	石製品 砥石	残存長10.4　幅3.2　厚さ1.4　重さ91.17／端部欠損。全体に被熱を受ける。上部に両面穿孔が認められる。4面使用。砥面は摩耗により平滑。流紋岩。			
H-42	1	須恵器 平瓶	口径：(7.0) 器高：<4.5>	①還元焔　②灰 ③白色粒 ④口縁部 1/4	外面：轆轤整形。自然釉付着。 内面：轆轤整形。自然釉付着。	
	2	輪羽口	長さ：<6.3> 幅　：<5.1> 厚さ：　1.6 重さ：50.16	①酸化焔　②にぶい黄橙 ③白色粒・チャート・黒色鉱物 ④1/4	指ナデ・スサ痕残る。端部ガラス質化。熱変成が認められる。	
	3	鉄製品 釘	残存長5.37　幅1.1　厚さ0.58　重さ11.35g			
H-46	1	須恵器 坏	口径：10.2 底径：　5.8 器高：　3.15	①酸化焔気味　②にぶい黄橙 ③白色粒・チャート ④口縁部 1/4 欠	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。	
	2	須恵器 坏	口径：10.8 底径：　5.2 器高：　3.6	①酸化焔気味　②にぶい黄橙 ③白色粒・チャート ④ほぼ完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部篦ナデ。 内面：轆轤整形。	
	3	須恵器 坏	口径：11.0 底径：　5.0 器高：　3.4	①酸化焔気味　②橙 ③白色粒・チャート・黒色鉱物 ④口縁部 1/4 欠	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部右回転糸切り。底部の糸切りの失敗痕が残る。 内面：轆轤整形。	
	4	須恵器 黒色処理椀	口径：11.0 底径：　6.0 器高：　4.6	①酸化焔　②橙 ③白色粒・チャート・黒色鉱物 ④ 3/4	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部高台貼付後回転ナデ。高台に棒状圧痕が認められる。 内面：ミガキ。	
	5	羽釜	口径：(22.0) 器高：　20.0	①酸化焔　②にぶい橙 ③白色粒・チャート・黒色粒 ④口縁部～体部 1/6	外面：口縁部轆轤整形。体部轆轤整形後体部下位篦ケズリ後体部上～中位指ナデ。鍔貼付。 内面：轆轤整形。	
H-50	1	須恵器 坏	口径：10.4 底径：　4.7 器高：　3.3	①酸化焔気味　②にぶい黄橙 ③白色粒・赤色粒 ④完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。	
H-51	1	須恵器 坏	口径：　8.9 底径：　5.5 器高：　2.0	①酸化焔気味　②黄橙 ③白色粒・黒色鉱物 ④完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。	
	2	須恵器 坏	口径：10.1 底径：　5.5 器高：　3.2	①酸化焔気味　②浅黄橙 ③白色粒・チャート・黒色鉱物　④完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形・	
	3	灰釉陶器 小瓶	底径：　6.3 器高：　8.0	①堅緻 ②灰白 ③黒色粒 ④体部～底部	外面：体部上～中位轆轤整形。体部下位回転篦ケズリ。底部右回転糸切り。残存部位に限り底面を除き施釉される。 内面：轆轤整形。	
	4	鉄製品 鎌	残存長15.55　幅4.35　厚さ0.24　重さ52.3g			
	5	鉄製品 紡茎	残存長16.05　幅0.6　厚さ0.5　重さ19.11g			
	6	鉄製品 鉄鏃	長さ7.2　幅1.95　厚さ0.45　重さ12.79g			
H-52	1	須恵器 坏	口径：10.2 底径：　6.0 器高：　2.9	①酸化焔気味　②にぶい黄橙 ③白色粒・石英 ④完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部右回転糸切り後ナデ。 内面：轆轤整形。	
	2	須恵器 坏	口径：12.05 底径：　4.5 器高：　3.5	①酸化焔　②橙 ③白色粒・石英 ④口縁部 1/4 欠	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形後赤色顔料付着。	
	3	須恵器 椀	口径：13.95 底径：　8.3 器高：　5.55	①還元焔気味　②灰黄褐 ③白色粒・黒色鉱物 ④ほぼ完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部高台貼付後回転ナデ。 内面：轆轤整形。	
	4	平瓦	長さ：41.3 幅　：14.4 厚さ：　2.0	①還元焔　②灰 ③白色粒・チャート ④狭端部右側	凹面：布目痕。凸面：篦ナデ。狭端部：篦ナデ。側面：篦ナデ。	
	5	平瓦	長さ：39.1 幅　：27.3 厚さ：　2.6	①還元焔　②黄灰 ③白色粒・チャート ④ 5/6	凹面：布目痕・糸切り痕後一部ナデ。凸面：縄叩き後一部篦ナデ。狭端部：篦ナデ。棒状圧痕。広端部：篦ナデ。側面：篦ナデ。	

Tab.15　出土遺物観察表（11）

遺構名	番号	器種	法量（cm）	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備　考
H-52	6	平瓦	長さ：39.9 幅　：26.0 厚さ：2.1	①還元焔　②灰 ③白色粒・チャート ④3/4	凹面：布目痕・糸切り痕後一部ナデ・端部篦ナデ。凸面：縄叩き後一部篦ナデ・ナデ。狭端部：篦ナデ。広端部：篦ナデ。側面：篦ナデ。	二次被熱痕が認められる
	7	鉄製品 鏃子	長さ3.9　幅1.3　厚さ0.3　重さ4.55g			
H-54	1	須恵器 坏	口径：9.6 底径：5.5 器高：2.9	①酸化焔　②浅黄橙 ③白色粒・チャート・黒色粒 ④完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。	
	2	須恵器 坏	口径：9.9 底径：4.8 器高：2.7	①還元焔気味　②淡黄 ③白色粒・チャート・黒色粒 ④完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。口唇部に油煙が一部残る。灯明皿か？	
	3	須恵器 坏	口径：10.9 底径：6.0 器高：2.0	①酸化焔　②橙 ③白色粒・チャート・片岩 ④完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部左回転糸切り。 内面：轆轤整形。	
	4	須恵器 坏	口径：11.4 底径：6.1 器高：2.4	①酸化焔　②橙 ③白色粒・チャート・片岩 ④完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。	
	5	須恵器 坏 （灯明具）	口径：(8.7) 底径：(5.6) 器高：3.2	①酸化焔 ②にぶい橙 ③白色粒・チャート ④3/4	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。 内外面の口唇部に油煙付着箇所が認められるが、同部分の口縁部は片口状に変形する。	
	6	須恵器 椀	口径：(11.6) 底径：(6.2) 器高：5.0	①酸化焔気味　②にぶい黄橙 ③白色粒・石英・チャート ④1/3	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部回転糸切り後高台貼付。 内面：轆轤整形。	
	7	須恵器 黒色処理椀	口径：(14.8) 底径：(7.7) 器高：6.2	①酸化焔気味　②灰黄褐 ③白色粒・チャート・黒色粒 ④1/2	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部回転糸切り後高台貼付。 内面：轆轤整形後ミガキ。	
	8	須恵器 椀	口径：15.3 底径：7.7 器高：6.0	①酸化焔気味　②にぶい黄橙 ③白色粒・石英 ④ほぼ完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部回転糸切り後高台貼付。 内面：轆轤整形。	
	9	須恵器 椀	口径：14.2 底径：7.6 器高：5.9	①酸化焔気味　②にぶい黄橙 ③白色粒・黒色鉱物 ④口縁部1/4欠	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部高台貼付後回転ナデ。 内面：轆轤整形。	
	10	須恵器 椀	口径：14.8 底径：(8.0) 器高：5.9	①酸化焔気味　②にぶい黄橙 ③白色粒・石英・チャート ④ほぼ完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部回転糸切り後高台貼付。 内面：轆轤整形。	
	11	須恵器 椀	口径：14.2 底径：8.8 器高：6.6	①酸化焔気味　②橙 ③白色粒・チャート ④1/2	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部高台貼付後回転ナデ。	
	12	須恵器 鉢	口径：(18.7) 底径：(8.0) 器高：7.0	①酸化焔気味　②明黄褐 ③白色粒・チャート・黒色粒 ④1/2	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。	
	13	土釜	口径：(15.6)	①酸化焔　②橙 ③白色粒・チャート・黒色鉱物 ④口縁部～体部1/4	外面：口縁部篦ナデ後一部指頭痕。体部篦ケズリ後体部上位ミガキ。 内面：篦ナデ後口縁部～頸部指ナデ。	
	14	土釜	口径：(20.2) 底径：8.0 器高：16.0	①酸化焔　②にぶい黄橙 ③白色粒・チャート・黒色鉱物 ④1/4	外面：轆轤整形後体部下位篦ケズリ後体部上～中位ナデ。底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。輪積み痕残る。	
	15	羽釜	口径：22.8 底径：(6.0) 器高：28.4	①酸化焔気味　②にぶい橙 ③白色粒・チャート・黒色鉱物 ④ほぼ完形	外面：轆轤整形後体部篦ケズリ後篦ナデ。底部篦ナデ。鍔貼付。 内面：轆轤整形。	
	16	羽釜	口径：(23.7)	①酸化焔気味　②浅黄橙 ③白色粒・チャート・黒色鉱物 ④口縁部～体部1/2	外面：轆轤整形後体部中位篦ケズリ後体部上位篦ナデ。鍔貼付。 内面：轆轤整形。	
	17	羽釜	口径：(21.2) 底径：9.0 器高：26.3	①酸化焔気味　②浅黄橙 ③白色粒・チャート・黒色鉱物 ④口縁部～体部1/6～底部	外面：口縁部篦ナデ。体部篦ケズリ後篦ナデ。底部篦ナデ。鍔貼付。 内面：篦ナデ。	
	18	鉄製品 鎌	長さ21.5　幅5.4　厚さ0.3　重さ192.24g／完形。			
	19	鉄製品 銙帯	残存長17.9　幅0.55　厚さ0.5　重さ26.4g			
H-62	1	土釜	口径：(22.0)	①酸化焔　②明赤褐 ③白色粒・チャート・黒色鉱物 ④口縁部～体部1/3	外面：口縁部ヨコナデ。体部篦ナデ。 内面：口縁部ヨコナデ。体部篦ナデ。	

Tab. 16　出土遺物観察表（12）

遺構名	番号	器種	法量（cm）	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備　考
H-62	2	土釜	口径：(24.2)	①酸化焔　②にぶい黄橙 ③白色粒・チャート・雲母 ④口縁部～体部 1/3	外面：口縁部ヨコナデ。体部施ケズリ後施ナデ。 内面：口縁部ヨコナデ。体部施ナデ。	
	3	羽釜	口径：(22.7)	①酸化焔気味　②にぶい黄橙 ③白色粒・チャート・黒色鉱物　④口縁部～体部 1/3	外面：輪幅整形後体部指ナデ。 内面：輪幅整形。	
H-64	1	須恵器坏	口径：　9.0 底径：　4.8 器高：　3.0	①酸化焔　②橙 ③白色粒・チャート・黒色粒 ④完形	外面：輪幅整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部静止糸切り後ナデ。 内面：輪幅整形。	
	2	灰釉陶器皿（漆花皿）	口径：(12.9) 底径：　(6.5) 器高：　2.2	①堅緻 ②黄灰 ③白色粒 ④1/2	外面：輪幅整形。底部高台貼付後回転ナデ。口唇部は一部を指押しして凛花状に整形する。 内面：輪幅整形。見込み部に重焼き痕。 釉漬け掛け。	
H-65	1	須恵器椀	口径：　14.4 底径：　7.4 器高：　5.2	①酸化焔気味　②黄橙 ③白色粒・黒色粒 ④完形	外面：輪幅整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部高台貼付後回転ナデ。 内面：輪幅整形。	
H-68	1	輪羽口	長さ：〈7.1〉 幅　：〈7.1〉 厚さ：　3.2 重さ：144.79	①酸化焔気味　②灰黄褐 ③白色粒・黒色粒 ④先端部 1/3	指ナデ・スサ痕残る。端部ガラス質化。熱変成が認められる。	
H-73	1	須恵器坏	口径：　10.1 底径：　5.0 器高：　3.2	①酸化焔気味　②明黄褐 ③白色粒・石英・黒色粒 ④7/8	外面：輪幅整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部右回転糸切り。 内面：輪幅整形。	
	2	須恵器椀	口径：(13.6) 底径：　(7.7) 器高：　6.0	①還元焔気味 ②灰黄 ③白色粒・チャート・黒色鉱物 ④口縁部 1/4～底部	外面：口縁部～体部上位・高台部輪幅整形、体部下位回転施ケズリ後体部～口縁部に弱いナデ。底部回転糸切り後高台貼付。焼成後の粘土付着が顕著。 内面：体部回転施ケズリ。見込み部摩耗が顕著。	
	3	羽釜	口径：(24.0)	①酸化焔　②橙 ③白色粒・チャート ④口縁部 1/4	外面：輪幅整形後体部指ナデ。鍔貼付。 内面：輪幅整形後指ナデ。	
H-76	1	須恵器坏	口径：　9.6 底径：　5.4 器高：　2.45	①酸化焔気味　②浅黄橙 ③白色粒・黒色鉱物 ④口縁部 1/4 欠	外面：輪幅整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部右回転糸切り。 内面：輪幅整形。	
	2	須恵器坏	口径：　12.2 底径：　5.6 器高：　4.0	①酸化焔気味　②にぶい黄橙 ③白色粒・片岩 ④口縁部 1/4 欠	外面：輪幅整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部右回転糸切り後ナデ。 内面：輪幅整形。	
	3	須恵器椀	口径：　11.0 底径：　6.0 器高：　5.1	①酸化焔気味　②橙 ③白色粒・石英・チャート・黒色鉱物 ④口縁部 1/3 欠	外面：輪幅整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部高台貼付後ナデ。 内面：輪幅整形。	
H-79	1	須恵器坏	口径：　10.3 底径：　4.6 器高：　3.4	①還元焔気味　②淡黄 ③白色粒・チャート・黒色粒 ④ほぼ完形	外面：輪幅整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部右回転糸切り。 内面：輪幅整形。	
H-81	1	須恵器椀	口径：　13.2 底径：　5.9 器高：　5.0	①還元焔　②灰 ③白色粒・チャート ④1/4	外面：輪幅整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部高台貼付後ナデ。 内面：輪幅整形後ナデ。	
H-83	1	灰釉陶器椀	口径：　12.9 底径：　6.0 器高：　4.9	①堅緻　②灰白 ③白色粒 ④ほぼ完形	外面：輪幅整形。底部高台貼付後回転ナデ。 内面：輪幅整形。 釉漬け掛け。	
H-86	1	須恵器坏	口径：(9.5) 底径：(5.1) 器高：　2.8	①酸化焔　②橙 ③白色粒・チャート・黒色鉱物　④1/2	外面：輪幅整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部施ナデ。 内面：輪幅整形。	
	2	須恵器皿	口径：　12.1 底径：　5.6 器高：　2.8	①酸化焔　②橙 ③白色粒・石英・チャート・黒色粒 ④2/3	外面：輪幅整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部高台貼付後回転ナデ。高台欠損後欠損部を磨滅させ、再利用を行っている。 内面：輪幅整形後ナデ。	
H-89	1	須恵器坏	口径：　10.1 底径：　4.5 器高：　3.3	①酸化焔　②橙 ③白色粒・チャート・雲母 ④ほぼ完形	外面：輪幅整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部右回転糸切り。 内面：輪幅整形後ナデ。	
H-90	1	須恵器坏	口径：　10.2 底径：　4.9 器高：　3.0	①酸化焔　②橙 ③白色粒・チャート ④完形	外面：輪幅整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部右回転糸切り。 内面：輪幅整形。	
	2	須恵器坏	口径：　10.1 底径：　4.8 器高：　3.4	①酸化焔　②黄橙 ③白色粒・チャート ④口縁部 1/3 欠	外面：輪幅整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部右回転糸切り。 内面：輪幅整形。	

Tab.17　出土遺物観察表（13）

遺構名	番号	器種	法量（cm）	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備　考
H-90	3	須恵器 坏	口径：(14.3) 底径：(5.4) 器高：4.3	①酸化焔　②にぶい橙 ③白色粒・チャート・片岩 ④1/3	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。	
	4	軒平瓦	長さ：〈7.9〉 幅　：(11.5) 厚さ：3.1	①還元焔　②灰白 ③白色粒・チャート ④狭端部	凹面：布目痕後篦ナデ。凸面：篦ナデ。狭端部：綾杉文。側面：篦ナデ。	
	5	鉄製品 紡錘	残存長23.25　幅0.5　厚さ0.4　重さ18.9g			
H-91	1	須恵器 坏	口径：(14.0) 底径：8.0 器高：3.3	①酸化焔気味　②にぶい黄橙 ③白色粒・石英・チャート・黒色鉱物　④口縁部3/4欠	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。	
	2	須恵器 坏	口径：13.5 底径：5.0 器高：4.0	①酸化焔気味　②にぶい黄橙 ③白色粒・チャート ④1/2	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。	
	3	土釜	口径：23.0 底径：(9.0) 器高：19.0	①酸化焔　②橙 ③白色粒・チャート・黒色鉱物 ④3/4	外面：口縁部ヨコナデ。体部筋ケズリ後篦ナデ。底部篦ナデ。 内面：篦ナデ。	
	4	羽釜 （脚付） （鼎）	口径：(21.0)	①酸化焔　②にぶい橙 ③白色粒・チャート・黒色粒 ④口縁部～体部上1/2	外面：口縁部轆轤整形。体部鍔・脚貼付後篦ナデ。脚は3足と推測される。 内面：轆轤整形後篦ナデ。	
	5	丸瓦	長さ：40.6 幅　：16.9 厚さ：2.2	①還元焔　②灰 ③白色粒・チャート ④完形	凸面：篦ナデ。凹面：布目痕。布合せ痕。糸切り痕。広端部：篦ナデ。狭端部：篦ナデ。 側面：篦ナデ。	
	6	平瓦	長さ：〈19.2〉 幅　：〈17.0〉 厚さ：1.7	①還元焔　②灰黄 ③白色粒・黒色鉱物 ④広端部左側	凹面：布目痕後一部篦ナデ。凸面：縄叩き後端部篦ナデ。広端部：篦ナデ。側面：篦ナデ。	二次被熱痕が認められる
	7	平瓦	長さ：〈14.1〉 幅　：〈13.7〉 厚さ：2.6	①還元焔　②灰 ③白色粒・チャート ④狭端部左側	凹面：布目痕。糸切り痕。凸面：縄叩き。狭端部：篦ナデ。側面：篦ナデ。	
H-94	1	須恵器 椀	口径：(15.1) 底径：(8.2) 器高：5.5	①酸化焔 ②橙 ③白色粒・黒色鉱物 ④1/4	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部高台貼付後ナデ。 内面：轆轤整形。見込み部に左回転糸切り痕が残る。	
	2	平瓦	口径：〈11.6〉 底径：〈9.4〉 器高：2.1	①酸化焔気味　②にぶい黄橙 ③白色粒・チャート ④広端部右側	凹面：布目痕後篦ナデ。「干」の刻書。 凸面：篦ナデ。 広端部：篦ナデ。側面：篦ナデ。	
H-101	1	須恵器 坏	口径：(10.0) 底径：(4.2) 器高：2.7	①還元焔気味　②淡黄 ③白色粒・チャート・黒色粒 ④1/3	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。	
D-15	1	刀装金具	長さ3.6　幅1.8　厚さ0.6　重さ10.78g／鉄製双脚足金物。			
	2	刀装金具	長さ5.55　幅2.4　厚さ0.45　重さ15.02g			
	3	刀装金具	残存長4.95　幅2.85　厚さ0.3　重さ19.09g			
D-26	1	須恵器 坏	口径：(13.4) 底径：6.0 器高：4.3	①酸化焔気味　②浅黄橙 ③白色粒・チャート・黒色粒 ④口縁部1/4～底部	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部右回転糸切り。口縁部欠損部一部摩耗。 内面：轆轤整形。墨書？	
D-35	1	須恵器 坏	口径：10.2 底径：5.7 器高：3.15	①還元焔気味　②浅黄橙 ③白色粒・チャート・黒色粒 ④完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形後ナデ。	
	2	須恵器 坏	口径：10.3 底径：6.3 器高：3.2	①酸化焔気味　②浅黄橙 ③白色粒・チャート・黒色粒 ④ほぼ完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部数回にわたる右回転糸切り。 内面：轆轤整形後ナデ。	
	3	須恵器 坏	口径：(15.6) 底径：(7.1) 器高：3.1	①酸化焔気味　②浅黄橙 ③白色粒・チャート・黒色鉱物　④3/4	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。 底部右回転糸切り。体部に「五」の墨書。 内面：轆轤整形後ナデ。	
	4	須恵器 黒色処理椀	口径：12.8 底径：6.5 器高：5.9	①酸化焔　②黄橙 ③白色粒・チャート・黒色鉱物　④口縁部1/4欠	外面：轆轤整形後体部一部ミガキ。底部高台貼付後回転ナデ。 内面：ミガキ。	
	5	須恵器 黒色処理椀	口径：14.3 底径：6.5 器高：5.8	①還元焔気味　②淡黄 ③白色粒・チャート ④完形	外面：轆轤整形後口縁部ミガキ。底部高台貼付後回転ナデ。 内面：ミガキ。	
	6	須恵器 黒色処理椀	口径：14.2 底径：6.8 器高：6.5	①酸化焔気味　②橙 ③白色粒・チャート ④完形	外面：轆轤整形後口縁部ミガキ。底部高台貼付後回転ナデ。 内面：ミガキ。	

Tab. 18　出土遺物観察表（14）

遺構名	番号	器種	法量（cm）	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備　考
D-37	1	馬具 鐙金具	長さ7.65　幅1.8　厚さ0.7　重さ17.39g			
D-42	1	須恵器 坏	口径：10.5 底径：6.8 器高：3.3	①還元焔気味　②灰黄褐 ③白色粒・チャート・黒色鉱物 ④3/4	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形後ナデ。見込み部に回転糸切り痕（左回転）が残る。	
	2	須恵器 坏	口径：(10.0) 底径：(6.0) 器高：3.1	①酸化焔気味　②浅黄橙 ③白色粒・チャート・黒色粒 ④3/4	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形後ナデ。	
	3	須恵器 坏 （灯明具）	口径：10.1 底径：6.1 器高：3.1	①還元焔気味 ②浅黄橙 ③白色粒・チャート ④完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形後ナデ。体部に油煙が細状に付着。	
	4	須恵器 黒色処理椀	口径：15.1 底径：8.1 器高：6.7	①酸化焔気味　②黄橙 ③白色粒・チャート ④口縁部1/8欠	外面：轆轤整形後口縁部ミガキ・体部下位回転篦ケズリ。底部回転糸切り後高台貼付。 内面：ミガキ。	
	5	鉄製品 鎌	残存長4.78　幅2.15　厚さ0.22　重さ9.17g			
D-49	1	須恵器 坏	口径：9.9 底径：4.7 器高：2.9	①酸化焔気味　②浅黄橙 ③白色粒・チャート・黒色粒 ④完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。	
	2	須恵器 坏	口径：10.0 底径：5.5 器高：2.7	①酸化焔気味　②浅黄橙 ③白色粒・黒色粒 ④ほぼ完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。	
	3	須恵器 坏	口径：10.0 底径：6.0 器高：2.9	①還元焔気味　②灰黄 ③白色粒 ④完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。	
	4	須恵器 坏	口径：10.1 底径：5.2 器高：3.6	①還元焔気味 ②灰白 ③白色粒・黒色粒 ④完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。 底部には胎土内の混入物が欠如したことによる孔が開く。	
	5	須恵器 坏	口径：9.9 底径：5.0 器高：3.4	①酸化焔気味　②浅黄橙 ③白色粒・チャート ④完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。	
	6	須恵器 坏	口径：10.2 底径：5.6 器高：3.2	①酸化焔気味　②浅黄橙 ③白色粒・チャート ④完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。	
	7	須恵器 椀	口径：14.5 底径：7.1 器高：6.3	①酸化焔気味　②にぶい黄橙 ③白色粒・チャート・黒色鉱物 ④完形	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部回転糸切り後高台貼付。 内面：轆轤整形。	
	8	須恵器 椀	口径：14.7 底径：8.0 器高：6.0	①酸化焔気味　②にぶい橙 ③白色粒・チャート ④口縁部1/2～底部	外面：轆轤整形後体部～口縁部に弱いナデ。底部回転糸切り後高台貼付。 内面：轆轤整形。	
W-5	1	鉄製品 刀子	残存長7.8　幅1.0　厚さ0.2　重さ5.88g			
遺構外	1	弥生土器 甕		①普通　②灰褐 ③白色粒・チャート・片岩 ④破片	外面：条痕後丸棒状工具による三角連繋文。 内面：篦ナデ。	沖Ⅱ式
	2	弥生土器 甕		①良好　②暗灰黄 ③チャート・黒色粒・黒色鉱物 ④破片	外面：条痕後丸棒状工具による横位沈線。 内面：篦ナデ。	沖Ⅱ式
	3	土師器 S字甕		①酸化焔　②明黄褐 ③チャート・黒色粒 ④口縁部～体部上1/10	外面：口縁部ヨコナデ。頸部篦ナデ。体部刷毛目。 内面：口縁部ヨコナデ。頸部～体部篦ナデ。	
	4	須恵器 蓋	口径：(13.2)	①還元焔　②褐灰 ③白色粒・黒色粒 ④1/8	外面：口縁部轆轤整形。天井部轆轤整形後篦ケズリ後篦ナデ。 内面：轆轤整形。返り作り出し。	
	5	灰釉陶器 椀	底径：(8.3)	①還元焔　②灰白 ③白色粒 ④底部1/4	外面：轆轤整形後体部に弱いナデ。底部高台貼付後回転ナデ。朱の付着が見られる。 内面：轆轤整形。見込み部に重ね焼き痕。	
	6	平瓦	長さ：〈6.8〉 幅　：〈7.1〉 厚さ：1.7	①還元焔　②青灰 ③白色粒・チャート ④破片	凹面：布目痕後狭端部付近篦ナデ。その他指ナデ。凸面：格子目状叩き後篦ナデ。狭端部：篦ナデ。	
	7	平瓦	長さ：〈5.1〉 幅　：〈6.4〉 厚さ：1.6	①還元焔　②灰 ③白色粒・チャート ④破片	凹面：布目痕後指ナデ。 凸面：格子目状叩き。	

Tab.19　出土遺物観察表（15）

遺構名	番号	器種	法量（cm）	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	備　考
遺構外	8	軒平瓦	長さ：〈3.2〉 幅　：〈7.6〉 厚さ：　3.1	①還元焔　②灰 ③白色粒・チャート ④破片	凹面：剥落。凸面：篦ナデ。朱の付着が見られる（瓦設置時ないし崩落字に木材に塗付された朱が付着したものか？）狭端部：唐草文。	
	9	平瓦	長さ：〈13.0〉 幅　：〈9.8〉 厚さ：　2.5	①還元焔　②暗灰 ③白色粒・チャート ④破片	凹面：布目痕。凸面：篦ナデ後刷毛。狭端部：篦ナデ。側面：篦ナデ。	
	10	丸瓦	長さ：〈6.2〉 幅　：〈8.4〉 厚さ：　1.7	①還元焔　②にぶい黄 ③白色粒・黒色粒 ④破片	凸面：篦ナデ後植物圧痕後丸棒状工具による縦刻。 凹面：布目痕後一部指ナデ。	
	11	青磁 花文椀		①堅緻　②灰オリーブ ③黒色粒 ④破片	外面：轆轤整形。釉全面に施される。 内面：花文。	越州窯？
	12	青磁 椀	底径：　8.2 器高：〈1.8〉	①堅緻　②灰オリーブ ③白色粒 ④底部 1/4	内外面轆轤整形。畳付無釉。	
	13	須恵器 トチン？	器高：〈4.2〉	①還元焔　②灰 ③白色粒・黒色粒 ④完形	指ナデ調整。	
	14	石器 磨製石斧	長さ3.7　幅1.25　厚さ0.62重さ5.13g／小型品。両刃。刃部や基部に微細剥離痕。粘板岩製。			
	15	石製品 臼玉	長さ0.9　幅0.9　厚さ0.5　孔径0.3　重さ0.54g／一部剥落。滑石。			
	16	石製品 臼玉	長さ0.7　幅0.75　厚さ0.3　孔径0.2　重さ0.26g／一部剥落。滑石。			
	17	石製品 臼玉	長さ0.7　幅0.7　厚さ0.3　孔径0.2　重さ0.24g／一部剥落。滑石。			
	18	石製品 臼玉	長さ〈1.0〉　幅1.0　厚さ0.5　孔径0.25　重さ0.47g／7/8残。粘板岩。			
	19	石製品 臼玉	長さ1.5　幅1.5　厚さ0.6　孔径0.3　重さ2.13g／一部剥落。滑石。			
	20	石製品 風字硯	長さ〈4.9〉　幅〈5.6〉　厚さ1.5　重さ48.43g／海1/3残。全体的に摩耗顕著。粘板岩。			
	21	刀装金具	長さ4.0　幅3.4　厚さ1.9　重さ26.04g／横環単脚足金物。			
	22	鉄製品 小札	長さ5.7　幅1.6　厚さ0.11　重さ4.74g			
	23	銅製品 鈴	長さ2.5　幅1.75　重さ9.75g			

Ⅴ　まとめ

1　H－9号住居跡小札について

H－9号住居跡において小札が多数出土した。図化し得たものは計29点（内1点は遺構外出土）を数えるが、細片などを考慮するとその数は30点を超えるものと想定される。本遺跡地は上野国府域として知られており、出土した小札は本来は国庁など主要施設で使用されていたものと推測される。周辺ではこれまでに数多くの調査が実施されてきたが、1軒の住居跡からこれほどまとまった数の小札が出土した例は管見に触れない。ここでは第Ⅳ章に示した事実記載に若干の補足を加えまとめとしたい。

H－9号住居跡及び小札出土状態について

H－9号住居跡は出土遺物から10世紀後半代に帰属する住居跡である。H－10号住居跡、D－15号土坑と重複し、本遺構が最も新しい。カマドは南東コーナー部に付設されており、カマド内からは須恵器坏（H9住－1）・灰釉陶器塊（H9住－2）・羽釜（H9住－3）が出土した。カマド以外では土器の出土量は極めて少なく細片が出土するのみであった。南西コーナーではピットが1基検出されており、その南側では扁平な河原石（H9住－4）が出土している。小札は北東コーナー及び北西コーナーの2箇所に集中し床面よりも1～3cmほど高い位置で出土した。北東コーナーにおける出土状態から鑑みると、混入遺物ではなく本遺構に伴う遺物と判断される。

小札について

小札についてはこれまでその平面形態及び孔数・孔の位置などに基いて型式分類が行われている（津野

2011)。H－９号住居跡出土小札については同様の視点から６分類される。１類は札足に隅切を呈するものである。H９住-15が該当する。２類としたものはH９住７・14・27・28である。札頭が円頭形を呈する。27・28は癒着しているものの２点ともほぼ完形である。孔の位置及び数は、縅穴が１列で第１～第３縅穴まで、縦穴は４孔で第１・２綴穴が認められる。３類としたものはH９住－６・９・17・21・24・30・32・外-22である。出土した小札では最も数が多い。平面形は長方形、縅穴が１列で第１～３縅穴まで、縦穴は孔数４で第１・２綴穴が認められる。下辺穴は１孔である。４類としたものはH９住-13・20・23・31である。平面形は長方形、縅穴は１列で第１・２縅穴まで、縦穴は４孔で第１・２綴穴が認められる。下辺穴は２孔である。５類としたものはH９住-23・25・26・29である。平面形は長方形、縅穴は１列で第１・２縅穴まで、縦穴は４孔で第１・２綴穴が認められる。23のみ第２綴穴が５孔認められる。６類としたものはH９住-16である。平面形が上端幅に対して下端幅が狭くなる形状を示す。H９住-10～12・18・19・25・33については破片資料であるため詳細は不明であるが、確認できる札幅や孔の位置・孔数などから勘案すると３～５類に含まれよう。出土した小札は形態的特徴から概ね８世紀中葉～９世紀前葉に帰属するものと思われる。

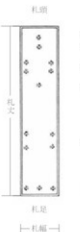


Fig. 41　小札部位名称（津野 2011 を加筆・修正）

	１類	２類	３類	４類	５類	６類
	H９住-15	H９住-28	H９住-24	H９住-31	H９住-29	H９住-16
縅孔（列）	— —	第１～３ １列	第１～３ １列	第１～２ １列	第１～２ １列	— —
綴孔（孔数）	— （4）	第１～２ （4）	第１～２ （4）	第１～２ （4）	第１～２ （4）	— （4）
下辺穴（孔数）	○? （１?）	×	○ （1）	○ （2）	×	— —

Fig. 42　小札分類表

小結

これまでの研究成果から小札については繰り返し胄や甲の部品として使用されていたことが知られている。H－９号住居跡から出土した小札について見てみると、革紐などの有機質は認められず、H９住-12のように折り曲げられた状態で出土したものも見られた。以上のことからH－９号住居跡に小札が持ち込まれた際には本来使用されるべき状態を保っていなかったことが想定される。また、出土した小札には鍛造剥片の付着しているものも認められた。このことは、小札を胄や甲の部品として再利用するのではなく、新たな製品を製作するための素材として持ち込んだ可能性を示唆しているといえよう。H－９号住居跡については炉跡など小鍛冶に関連する施設の検出こそなかったものの、鉄製品製作に関連した作業場であったことが想定される。

【参考文献】

津野仁　2011『日本古代の武器・武具と軍事』吉川弘文館

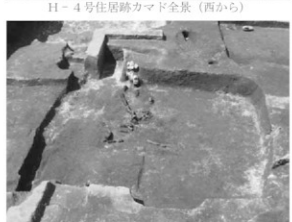
写　真　図　版

調査区全景（上が北）

Ｈ－４号住居跡全景（西から）

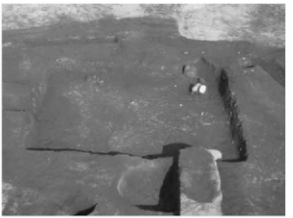
Ｈ－４号住居跡カマド全景（西から）

Ｈ－５号住居跡全景（西から）



Ｈ－６号住居跡全景（東から）

Ｈ－６号住居跡遺物出土状態（東から）



Ｈ－９号住居跡全景（西から）

Ｈ-14 号住居跡全景（西から）

Ｈ-14 号住居跡Ｐ１全景（西から）

Ｈ-14 号住居跡Ｐ２全景（東から）

Ｈ-15 号住居跡全景（北東から）

Ｈ-19 号住居跡全景（西から）

Ｈ-19 号住居跡遺物出土状態（西から）

H -21 号住居跡全景（西から）

H -27 号住居跡全景（西から）

H -27 号住居跡カマド全景（西から）

H -28 号住居跡全景（西から）

H -28 号住居跡カマド全景（西から）

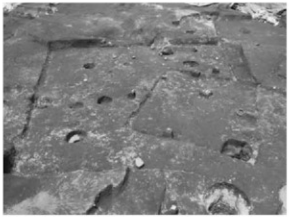
H -30 号住居跡全景（東から）

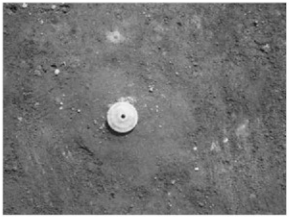
H -31 号住居跡カマド全景（西から）

H -36 号住居跡全景（西から）

Ｈ-36 号住居跡遺物出土状態（南西から）

Ｈ-39 号住居跡全景（西から）


Ｈ-44 号住居跡全景（南から）

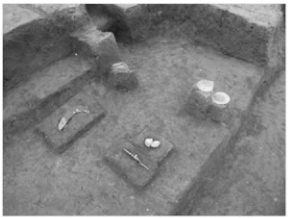

Ｈ-44 号住居跡遺物出土状態（東から）

Ｈ-52 号住居跡全景（西から）

Ｈ-52 号住居跡カマド全景（西から）

Ｈ-54 号住居跡全景（西から）

Ｈ-54 号住居跡カマド全景（西から）



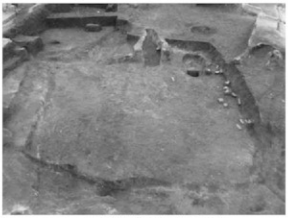
H -54 号住居跡遺物出土状態（南西から）

H -61 号住居跡全景（西から）

H -61 号住居跡遺物出土状態（南から）

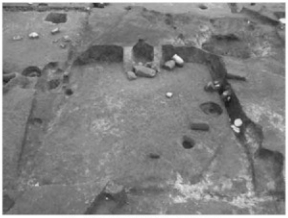
H -78 号住居跡全景（西から）

H -78 号住居跡カマド全景（西から）



H -80 号住居跡全景（西から）

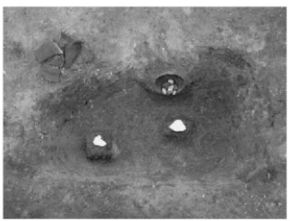
H -80 号住居跡遺物出土状態（北から）



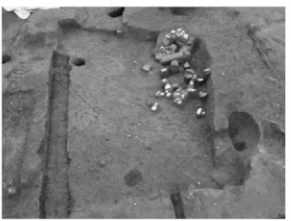
H -82 号住居跡全景（西から）

H-82 号住居跡カマド全景(西から)

H-85 号住居跡全景（西から）



H-85 号住居跡遺物出土状態（北から）

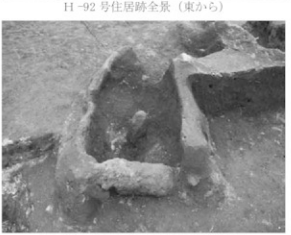


H-91 号住居跡全景（西から）

H-91 号住居跡カマド全景（西から）

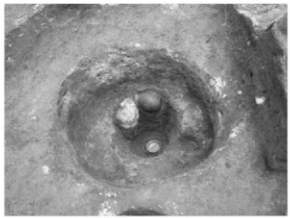
H-92 号住居跡全景（東から）

H-98 号住居跡全景（東から）



H-98 号住居跡カマド全景（東から）

H-100 号住居跡全景（西から）



H-100 号住居跡遺物出土状態（西から）

D-35 号土坑全景（南から）

D-42 号土坑全景（南から）

D-49 号土坑全景（西から）

I-1 号井戸断ち割り状態（東から）

W-5・6 号溝全景（南西から）

W-5・6 号溝馬骨検出状態（北東から）

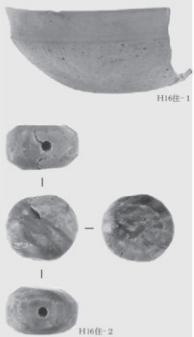
PL. 8

H-5号住居跡

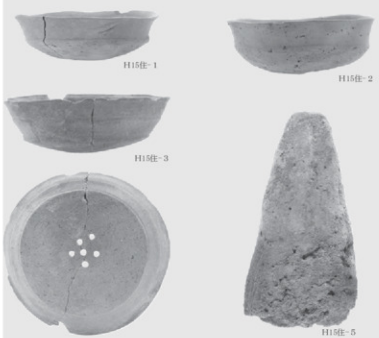
H-6号住居跡

H-12号住居跡

H-16号住居跡



H-15号住居跡



H-17号住居跡

H-21号住居跡

H-26号住居跡

H-27号住居跡

H-35号住居跡

H-40号住居跡

出土遺物（1）

H-30号住居跡

H30住-1

H30住-2

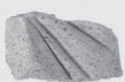
H30住-3

H30住-4

H30住-5

H30住-7

H30住-8


H30住-9

H30住-6

H-32号住居跡

H32住-1

H-36号住居跡

H36住-1

H36住-2

H36住-3

H36住-4

H36住-5

H36住-6

H36住-11

H36住-7

H36住-8

H36住-10

H36住-9

出土遺物（2）

H-41号住居跡

H41住-1

H41住-2

H-44号住居跡

H44住-1

H44住-5

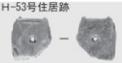
H44住-2

H44住-6

H44住-3

H44住-4

H-53号住居跡


H53住-5

H53住-1

H53住-2

H53住-3

H-56号住居跡

H56住-1

H-58号住居跡

H58住-1

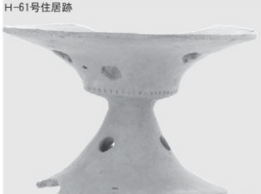
H58住-2

H58住-3

H58住-4

H53住-4

H-61号住居跡


H61住-1

H61住-2

H61住-3

H-72号住居跡

H72住-1

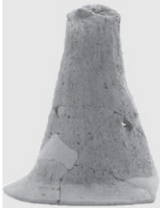
出土遺物（3）

H-74号住居跡

H74住-1

H74住-2

H74住-3


H74住-4

H74住-5

H74住-6

H74住-10

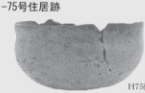
H74住-8

H74住-11

H74住-9

H74住-7

H-75号住居跡


H75住-1

H-78号住居跡

H78住-1

H78住-2

H78住-6

H78住-3

H78住-7

H78住-4

H78住-5

出土遺物（4）

PL. 12

H-80号住居跡

H80住-1

H80住-2

H80住-5

H80住-3

H80住-4

H80住-6

H80住-7

H80住-8

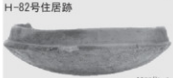
H80住-9

H80住-10

H-82号住居跡

H82住-2

H82住-3


H82住-1

H82住-4

H82住-5

H82住-6

H82住-7

H82住-8

H-84号住居跡

H84住-1

H-85号住居跡

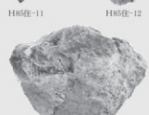
H85住-1

H85住-3

H85住-2

H85住-13

H85住-14


H85住-15

H85住-4

H85住-5

H85住-6

H85住-7

H85住-8

H85住-9

H85住-10

H85住-11

H85住-12

出土遺物（5）

H-96号住居跡

H96住-2

H-97号住居跡

H97住-1

H-98号住居跡

H98住-1

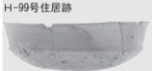
H98住-2

H98住-3

H98住-4

H98住-5

H-99号住居跡



H99住-1

H99住-2

H98住-6

H-100号住居跡

H100住-1

H100住-2

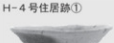
H100住-3

H-2号住居跡

H2住-1

H2住-2

H-4号住居跡①



H4住-1

H4住-2

H4住-3

H4住-5

H4住-6

H4住-15

H4住-4

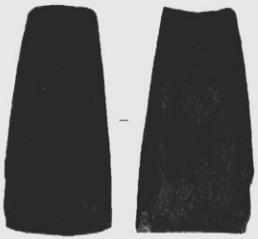
H4住-7

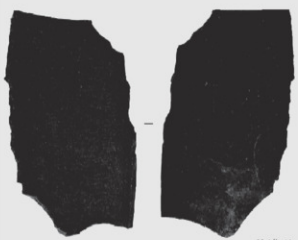
H4住-16

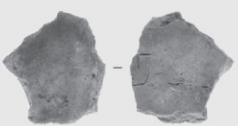
出土遺物（6）

H-4号住居跡②

H4住-8

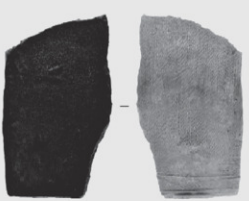

H4住-9


H4住-10


H4住-11

H4住-14

H4住-12


H4住-13

H-9号住居跡①

H9住-1

H9住-2

H9住-6

H9住-5

H9住-7・8

H9住-9

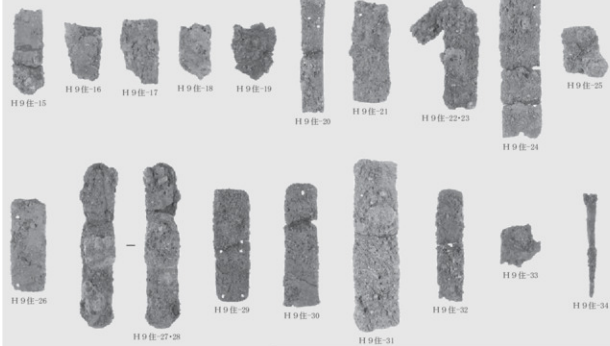
H9住-10・11・12

H9住-13

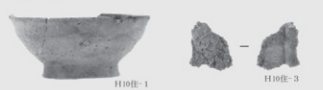
H9住-14

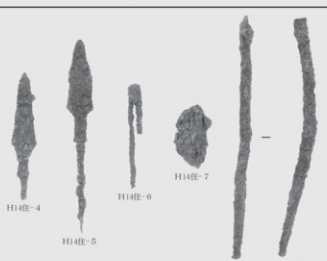
出土遺物（7）

H-9号住居跡②

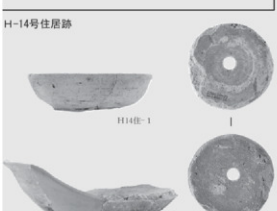


H-10号住居跡



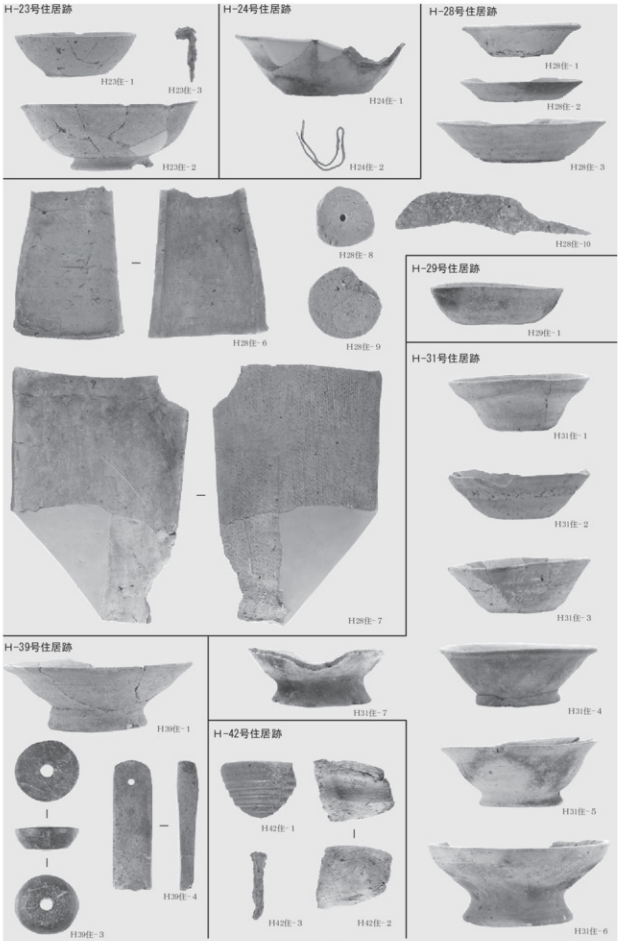


H-14号住居跡



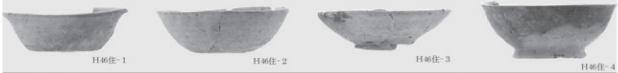
H-19号住居跡

出土遺物（8）


H-23号住居跡
H23住-1
H23住-3
H23住-2
H-24号住居跡
H24住-1
H24住-2
H-28号住居跡
H28住-1
H28住-2
H28住-3
H28住-10
H28住-8
H28住-6
H28住-9
H28住-7
H-29号住居跡
H29住-1
H-31号住居跡
H31住-1
H31住-2
H31住-3
H31住-7
H31住-4
H31住-5
H31住-6
H-39号住居跡
H39住-1
H39住-4
H39住-3
H-42号住居跡
H42住-1
H42住-3
H42住-2

出土遺物（9）

H-46号住居跡

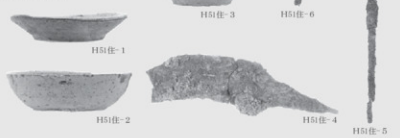


H46住-1　H46住-2　H46住-3　H46住-4

H-50号住居跡

H50住-1

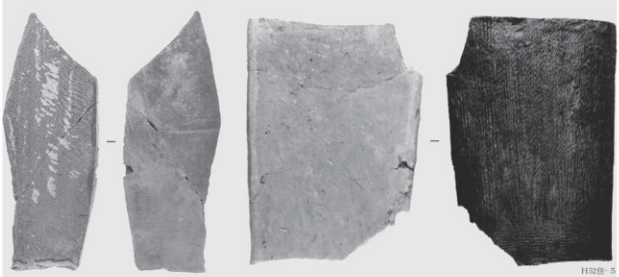
H-51号住居跡



H51住-1　H51住-2　H51住-3　H51住-4　H51住-5　H51住-6

H-52号住居跡

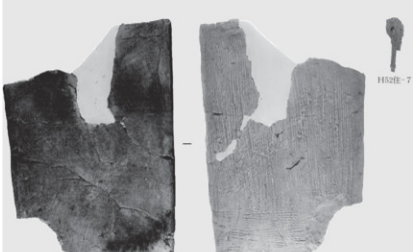
H52住-1　H52住-2　H52住-3



H52住-4　H52住-5

H-54号住居跡①

H54住-1　H54住-2　H54住-3　H54住-4



H52住-6　H52住-7

出土遺物（10）

H-54号住居跡②

H54住-5

H54住-6

H54住-7

H54住-8

H54住-9

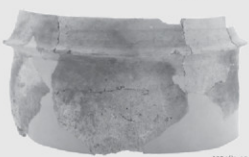
H54住-10

H54住-11

H54住-12

H54住-14

H54住-15



H54住-16

H54住-17

H54住-18

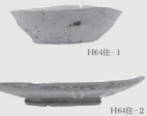
H54住-19

出土遺物（11）

H-62号住居跡

H62住-2

H-64号住居跡



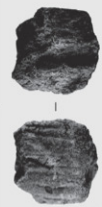
H64住-1

H64住-2

H-65号住居跡

H65住-1

H-68号住居跡



H68住-1

H-73号住居跡

H73住-1

H73住-2

H-79号住居跡

H79住-1

H-81号住居跡

H81住-1

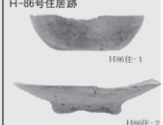
H-76号住居跡

H76住-1

H76住-2

H76住-3

H-86号住居跡



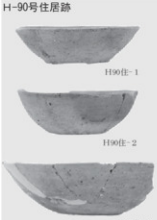
H86住-1

H86住-2

H-83号住居跡

H83住-1

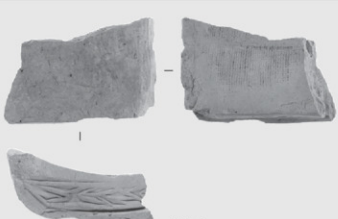
H-90号住居跡



H90住-1

H90住-2

H90住-3

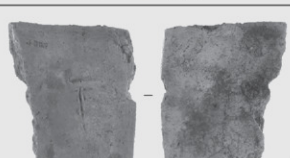


H90住-4

H90住-5

H-94号住居跡

H94住-1



H94住-2

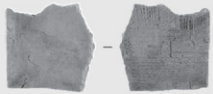
出土遺物（12）

P L . 20

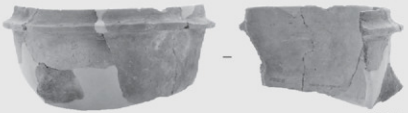
H-91号住居跡

H91住-1

H91住-2



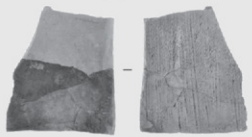
H91住-7



H91住-4

H91住-5

H91住-3



H91住-6

H-101号住居跡

H101住-1

D-15号土坑

D15土-1

D15土-2

D15土-3

D-35号土坑

D35土-1

D35土-4

D35土-2

D35土-5

D35土-6

D35土-3

出土遺物 (13)

D-26号土坑

D26土-1

D-37号土坑

D37土-1

D-42号土坑

D42土-1

D42土-2

D42土-3

D42土-4

D42土-5

D-49号土坑

D49土-1

D49土-2

D49土-7

D49土-3

D49土-4

D49土-5

D49土-6

D49土-8

遺構外出土遺物

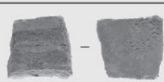
外-1

外-2

外-3

外-4

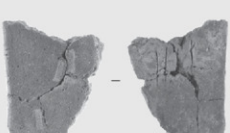
外-5



外-6

外-7

外-8



外-9

外-10

外-11

外-12

外-13

外-14

外-15

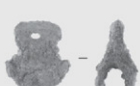
外-16

外-17

外-18

外-19

外-20



外-21

外-22

外-23

出土遺物（14）

抄　録

フリガナ	モトソウジャオウミイセキグン 39
書名	元総社蒼海遺跡群（39）
副書名	前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	
編著者名	福田貫之　伊藤順一
編集機関	有限会社毛野考古学研究所
編集機関所在地	〒 379-2146　群馬県前橋市公田町 1002 番地 1　　TEL　027-265-1804
発行機関	前橋市教育委員会
発行機関所在地	〒 371-0018　群馬県前橋市三俣町二丁目 10- 2　　TEL　027-231-9531
発行年月日	西暦 2013 年 3 月 22 日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 （日本測地系）	東経 （日本測地系）	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
もとそうじゃあおうみ 元総社蒼海	群馬県前橋市総社	10201	23 A 130-39	36°	139°	20120316	793	前橋都市計画事業
いせきぐん 遺跡群（39）	まえばしそうじゃ 町総社 3097、3098			22′	02′	～		元総社蒼海土地区
				52″	15″	20120625		画整理事業

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項
元総社蒼海	集落	古墳	竪穴住居跡	93 軒	土師器	古墳時代後期か
遺跡群（39）		奈良	溝	10 条	須恵器	ら平安時代の集
		平安	土坑	39 基	羽釜	落を確認
		中世	ピット	54 基	灰釉陶器	
			井戸	1 基	緑釉陶器	10 世紀代と想定
					鉄製品	される住居跡か
					石製品	ら小札が出土
					瓦	

元総社蒼海遺跡群（39）
前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

平成25年3月18日印刷
平成25年3月22日発行

編　集／有限会社毛野考古学研究所
発　行／前橋市教育委員会
前橋市三俣町二丁目10－2
℡　027-231-9531
印　刷／朝日印刷工業株式会社